

大洗町地域公共交通計画
町民アンケート調査
集計結果

令和6年3月

目次

1. 目的	3
2. 実施方法	3
3. 単純集計	8
3.1. 集計方法	8
3.2. 個人属性	8
3.3. 身体状況について	11
3.4. 自動車の運転状況	13
3.5. 公共交通の利用頻度	15
3.6. 日常的な外出について	17
3.7. 大洗町の公共交通の維持に対する考え	31
3.8. 公共交通の現状に対する評価	32
3.9. バスを利用してよいと思う水準	40
3.10. タクシーを利用してよいと思う水準	44
3.11. 日常的な外出で困ること	46
3.12. 移動を公共交通に変える場合、必要な条件	53
3.13. 送迎	54
3.14. 自由意見	56
4. アンケートから把握する事項(事前に設定した事項)	57
5. 町民アンケートから把握できる特性	58
5.1. 生活サービス施設間の移動性	58
5.2. 南部エリアの交通サービス水準	62
5.3. 新市街地でのバスの運行可能性	67
5.4. 狹隘道路地区での公共交通の必要性	72
5.5. 地区別居住者特性まとめ	77
5.6. 高齢者層・若年層のニーズ	78
5.7. 高齢者の移動特性	81
5.8. 新たな交通サービス・施策の可能性	85
5.9. 公共交通の利用促進への要件	90
5.10. まとめ	107

1. 目的

「大洗町地域公共交通計画」を策定するにあたり、令和4年度「大洗町地域公共交通基礎調査業務」のデータから整理された課題の検証、および今後の方向性を明らかにするため、町民アンケート・観光客アンケートを実施しました。

アンケートから移動実態とニーズ(潜在需要)を把握した上で、現行の公共交通のサービス状況に照らし合わせ、改良の可能性を分析し、具体的な交通施策につなげることにします。

2. 実施方法

実施時期	2023年7月19日(水) 郵送発送 (回答者には夏休み前の日常的な状況について回答するよう要請)
配布物	○町民アンケート ・発送用封筒(角2) …1枚 ・送付状 …1枚 ・アンケート票 …2票 ・返信用封筒(長3) …1枚 ・返信用封筒(長3) …1枚(郵送回答者のみ)
配布数	3,300 世帯 6,600 枚 15歳以上の町民からランダム抽出し配布 1世帯に2票配布し、宛名の人物と、世帯の中で高齢の方に回答してもらうよう要請 郵送回答もしくはWEB回答
回収数	752 世帯 1,305 票(うち WEB 回答 211 票)
回収率	世帯単位での回収率 22.8%(WEB 回答を含まず) 配布数単位での回収率 19.8%(1人世帯にも2票配布しているため、 値が低くなります)
信頼度	15歳以上人口 14,613 人に対し、回収数 1,305 票 ⇒信頼度 99.9%
年齢層別の信頼度	・若年層(15~29歳) 人口 2,173 人に対し、回収数 109 票 ⇒信頼度 71.5% ・中間層(30~64歳) 人口 6,944 人に対し、回収数 457 票 ⇒信頼度 97.3% ・高齢者層(65歳以上) 人口 5,496 人に対し、回収数 734 票 ⇒信頼度 99.6%

大洗町 公共交通に関する町民アンケート票

WEB 回答用



設問は①～④ページまであります。各設問について、当てはまる番号に○をつけてください。
また、回答欄に がある箇所については、直接 内にご記入ください。

問1 あなた自身のことをお答えください。	
① 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50～54歳 6. 55～59歳 (満年齢) 7. 60～64歳 8. 65～69歳 9. 70～74歳 10. 75～79歳 11. 80歳以上
② 性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
③ 住所 (大字)	1. 磯浜町 2. 港中央 3. 東光台 4. 和銅 5. 五反田 6. 磯道 7. 桜道 8. 大貫町 9. 神山町 10. 成田町
④ 町内会(送付した封筒の宛名ラベルに記載している、お住まいの地域の町内会名をご記入ください。)	<input type="text"/>
⑤ 職業	1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 無職 6. 高校生 7. 大学生・その他の学生 8. その他()
⑥ お住まいの地区はバスが入れる道幅ですか。	1. バスが入れる道幅 2. バスが入れないほど狭い
⑦ スマートフォンを持っていますか。	1. 持っている 2. 持っていない
⑧ 鉄道やバスの経路検索アプリを使っていますか。	1. 使っている 2. 使っていない
問2 お身体の状況から難しいかどうかお聞きします。	
① 日常的な外出にひとりで行くことはできますか。	1. できる 2. できない
② タクシー車両に自力で乗降することはできますか。	1. できる 2. できない
③ バス車両に自力で乗降することはできますか。	1. できる 2. できない
④ 自宅の近く(約300m以内)にバス停があると仮定した場合、そのバス停まで歩いて行き、バスを待つことはできますか。	1. できる 2. できない
問3 自動車の運転状況についてお答えください。	
① 自動車・バイクの運転免許を持っていますか。	1. 持っている 2. 以前持っていたが返納した 3. 持っていない →「2. 以前持っていたが返納した」「3. 持っていない」をご回答の方は問4へお進みください。
② 自動車・バイクを運転していますか。	1. 不安なく運転している 2. 不安に思いながら運転している 3. 運転していない
③ ご高齢になったときの自動車・バイクの運転免許の返納の考えをお答えください。	1. <input type="text"/> 歳頃になったら返納する 2. 時期は未定だが返納を考えている 3. 返納は考えていない
問4 現在の公共交通の利用頻度についてお答えください。	
① 大洗鹿島線	1. 週 <input type="text"/> 回程度 2. 月 <input type="text"/> 回程度 3. 年 <input type="text"/> 回程度 4. 1年以上利用していない 5. 利用したことがない
② 路線バス	1. 週 <input type="text"/> 回程度 2. 月 <input type="text"/> 回程度 3. 年 <input type="text"/> 回程度 4. 1年以上利用していない 5. 利用したことがない
③ 町内循環バス(海遊号・なっちゃん号)	1. 週 <input type="text"/> 回程度 2. 月 <input type="text"/> 回程度 3. 年 <input type="text"/> 回程度 4. 1年以上利用していない 5. 利用したことがない
④ タクシー	1. 週 <input type="text"/> 回程度 2. 月 <input type="text"/> 回程度 3. 年 <input type="text"/> 回程度 4. 1年以上利用していない 5. 利用したことがない

裏面に続きます。

問5 日常的な外出についてお答えください。

それぞれの目的ごとに、最も多い外出先について、交通手段、来訪頻度、外出・帰宅時刻とあわせてお答えください。(外出先が特に決まっていない場合は、最近の外出についてお答えください。また、該当する回答内容がない場合は、空欄で結構です。)

以下の交通手段から番号を選びご記入ください。利用手段すべてを回答してください。

- | | | | |
|----------------|-----------------------|---------------|-----------------|
| 1. 鉄道 | 2. 路線バス | 3. 町内循環バス海遊号 | 4. 町内循環バスなっちゃん号 |
| 5. 高速バス | 6. フェリー | 7. タクシー | 8. 施設の送迎車 |
| 9. 自家用車(自分で運転) | 10. 自家用車(家族や知人等による送迎) | 11. バイク | 12. 自転車 |
| | 13. 徒歩 | 14. その他(自由記述) | |

24時間表記。午後4時は16時と記入。

目的	外出先(施設名が答えにくい場合は住所)	交通手段	来訪頻度	外出・帰宅時刻
<記入例>	施設名 ○○病院 / スーパー△△ □□店 (住所 ×× (町)市・村 □□町3丁目)	1, 3	1. 平日ほぼ毎日 ② 週 2 回 3. 月 回	外出 9 時台 帰宅 16 時台
通勤	住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
通学	学校名() 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
買物 (食料品等)	店舗名() 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
通院	病院名() 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
金融機関 利用	金融機関名・郵便局名() (支店名まで) 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
レジャー (映画・ジム・ 温泉等)	施設名() 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台
その他 (知人と会う・ 習い事等)	施設名() 住所(町・市・村)		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回	外出 時台 帰宅 時台

【町内循環バス(海遊号・なっちゃん号)の現状】

大洗町では、高齢者や本町を訪れる観光客の移動手段及び児童の通学支援など町内の交通手段を確保するため、町内循環バス(海遊号・なっちゃん号)の運行費用を補助しています。令和4年度は1,538万円を町が負担しており、今後も同額程度の支出が見込まれています。



ここからは、大洗町の公共交通についてお答えください。

問6 大洗町の公共交通の維持に対するお考えについてお答えください。

公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の維持・確保のために、町が負担(税金の投入)することについてどう思いますか。(1つお答えください。)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 税金の投入額を増やしてもさらに公共交通を充実させるべき | 2. 税金の投入はやむを得ない |
| 3. 税金は投入すべきではない | 4. どちらとも言えない |

問7 大洗町の公共交通の現状に対する評価をお答えください。

現状の大洗鹿島線、路線バス、町内循環バス(海遊号・なっちゃん号)、タクシーに対する評価をお答えください。

以下の選択肢から番号を選びご記入ください。(複数回答可)

1. 始発が遅い 2. 最終便が早い 3. 便数 4. 遅れが生じる 5. 遅れの状況が分かりづらい 6. 運賃 7. 支払い方法
8. 自宅の近くから乗れない 9. 行きたい場所に行かない 10. 案内がわかりにくい 11. 車内混雑 12. 車内が暑い・寒い
13. 乗り心地 14. 待合環境 15. 乗務員の態度 16. その他(自由意見欄にご記入ください)

① 大洗鹿島線	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	不満な点
	自由意見	
② 路線バス	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	不満な点
	自由意見	
③ 町内循環バス (海遊号・なっちゃん号)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	不満な点
	自由意見	
④ タクシー	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	不満な点
	自由意見	

問8 日常生活で町内の移動にバスを利用することを考えた場合、利用してもよいと思う水準をお答えください。

- ① 許容できる待ち時間 1. 2時間 2. 1時間 3. 30分 4. 20分 5. 15分 6. 10分
7. いずれにしても利用しない
- ② 必要な運行時間帯 時から 時まで 24時間表記。午後4時は16時と記入。
- ③ バス停までの徒歩時間の限度 1. 30分 2. 15分 3. 10分 4. 5分 5. 1分 6. いずれにしても利用しない
- ④ 町内の移動での運賃の限度額 1. 1,000円 2. 500円 3. 300円 4. 200円 5. 170円
6. 100円 7. いずれにしても利用しない
- ⑤ バスで行きたい場所 施設名 又は 住所 大洗町
- ⑥ これまで以上にバスの利用を多くするためにはどのようなことが必要ですか。(複数回答可)
1. 近くにバス停を設置する 2. 自分の行き先へバス路線を配置する 3. 早く移動できる
4. 運行本数を多くする 5. 始発の時間を早くする 6. 最終バスの時間を遅くする
7. 遅れが生じないようにする 8. 料金を安くする 9. 大洗駅での乗継を良くする
10. 他の交通機関への乗継を良くする 11. 路線図や時刻表、乗り方を町民に広く周知する
12. 今よりもバスの情報をスマホで把握できるようにする
13. その他()

問9 日常生活で町内の移動にタクシーを利用することを考えた場合、利用してもよいと思う水準をお答えください。

- ① 必要な運行時間帯 時から 時まで 24時間表記。午後4時は16時と記入。
- ② 町内の移動での運賃の限度額 1. 2,000円 2. 1,000円 3. 500円 4. 300円 5. 200円
6. 100円 7. いずれにしても利用しない
- ③ タクシーで行きたい場所 施設名 又は 住所 大洗町
- ④ 通常のタクシーより安く移動できるなら、相乗りでも利用しますか。 1. 利用する 2. 利用しない

問10 日常的な外出で困ることについてお答えください。

① 普段、外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか。

1. 困ることがよくある 2. 困ることがたまにある 3. 困ることはない

→「3. 困ることはない」をご回答の方は問11へお進みください。

② 困る時の外出目的と行先(ご自身が困っているものをご記入ください・複数回答可)

1. 通勤 …………… 住所 ()町・市・村()
 2. 通学 …………… (学校名) ……………住所 ()町・市・村()
 3. 買物(食料品等) …………… (店舗名) ……………住所 ()町・市・村()
 4. 通院 …………… (病院名) ……………住所 ()町・市・村()
 5. 金融機関利用 …………… (金融機関名) ……………住所 ()町・市・村()
 6. レジャー(映画・ジム・温泉等) …… (施設名) ……………住所 ()町・市・村()
 7. その他(知人と会う・買い物等) …… (施設名) ……………住所 ()町・市・村()
 8. 町内でのイベント …………… (施設名) ……………住所 大洗町 ()

**③ 困った時の対応
(複数回答可)**

1. タクシーを利用する 2. 家族(親族)に送迎してもらう
 3. 友人・知人に送迎してもらう 4. 徒歩または自転車で移動する
 5. 外出するのをあきらめる 6. その他()

④ 適切なサービス水準で運行されていれば困らずに済む交通手段(複数回答可)

1. 予約なしで、最寄りの停留所から目的地近くの停留所まで相乗りで乗車できるもの(バス等)
 2. 予約をして、今いる場所から目的地の前まで、相乗りで乗車できるもの(予約制の相乗りタクシー等)
 3. 予約をして、今いる場所から目的地の前まで、ひとりで直接行けるもの(タクシー等)
 4. ご自身による簡単な操作で、安全にひとりで移動できるもの(シニアカー、電動キックボード、レンタサイクル等)
 5. その他()

問11 自家用車(送迎含む)を利用している方にお聞きします。→利用していない方は問13へお進みください。

あなたが自家用車でやっている移動を公共交通に変える場合、必要となる条件は何ですか。(複数回答可)

1. 自家用車で行くより所要時間が短い 2. 自家用車を利用・維持するより費用が安い 3. 待ち時間が少ない
 4. 自分がいる場所や目的地のすぐそばで乗降できる 5. 遅れず時間が読める 6. 車内で座れる
 7. 車内が混雑していない 8. 車内の気温や乗り心地が快適 9. 乗換回数が少ない 10. バリアフリーである
 11. 雨に濡れない 12. 待合環境が充実している 13. 運行内容や利用方法の情報が得やすい
 14. キャッシュレス決済が充実している 15. 車の運転ができなくなったら公共交通で移動する
 16. 自家用車でやっている移動を公共交通に変えるつもりはない 17. その他()

問12 家族等を送迎することがある方はお答えください。→送迎していない方は問13へお進みください。

① 家族等を送迎する頻度 1. 週 回程度 2. 月 回程度 3. 年 回程度

② 主な送迎の行先 1. 大洗駅 2. 町内の目的地へ直接 3. 町外の目的地へ直接 4. その他()

**③ 主な送迎の目的
(1つお答えください。)** 1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 金融機関利用 6. レジャー
 7. その他()

④ 家族等を送迎することについての思い(1つお答えください。)

1. 特に何も思わない 2. 負担はあるが仕方がない 3. 負担が大きく、できれば回数を減らしたい
 4. その他()

問13 大洗町の公共交通についてのアイデアやご意見があればご自由に記入ください。

Blank area for writing ideas and opinions.

3. 単純集計

3. 1. 集計方法

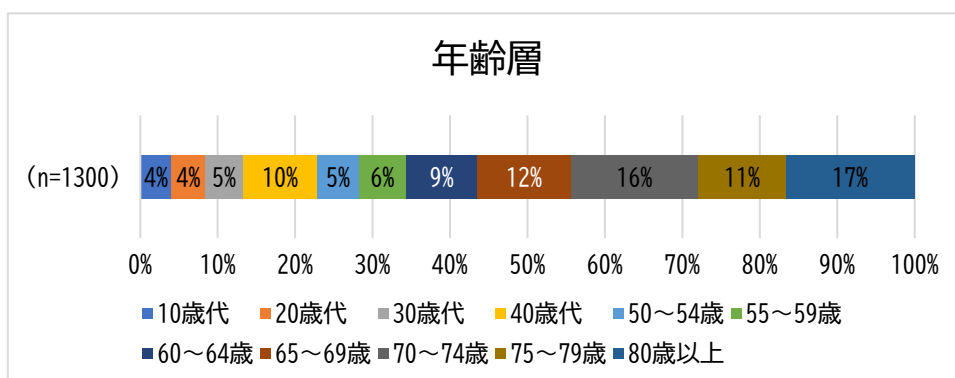
集計結果を示すグラフについては、単一回答の設問は 100%積み上げ棒グラフ、複数回答の設問や自由記述の集計では集合棒グラフとしています。

また、回答者がみられる選択肢であっても、四捨五入により0%と表示されている場合があります。

3. 2. 個人属性

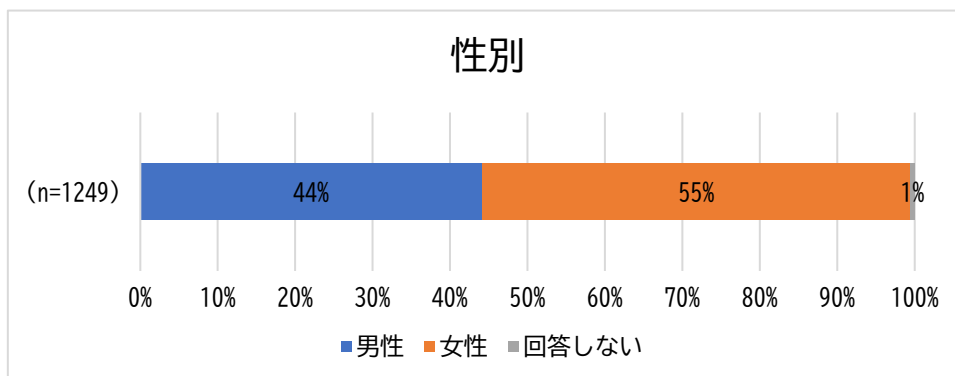
①年齢層

年齢層は、65歳以上が過半数となっています。



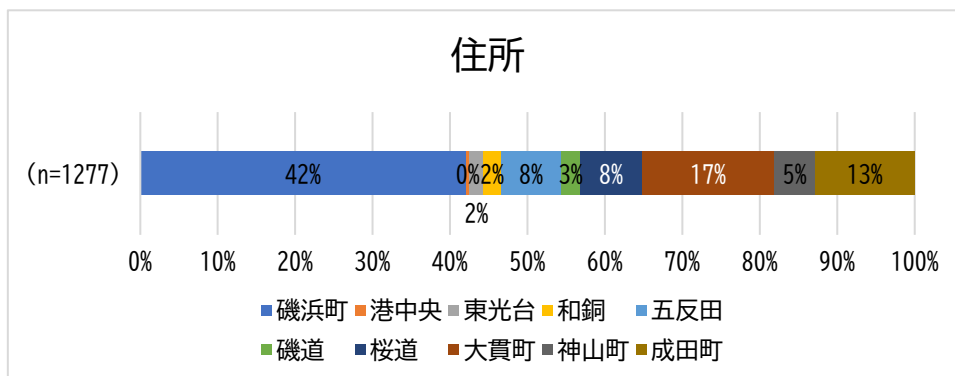
②性別

性別は、女性が55%と若干多くなっています。



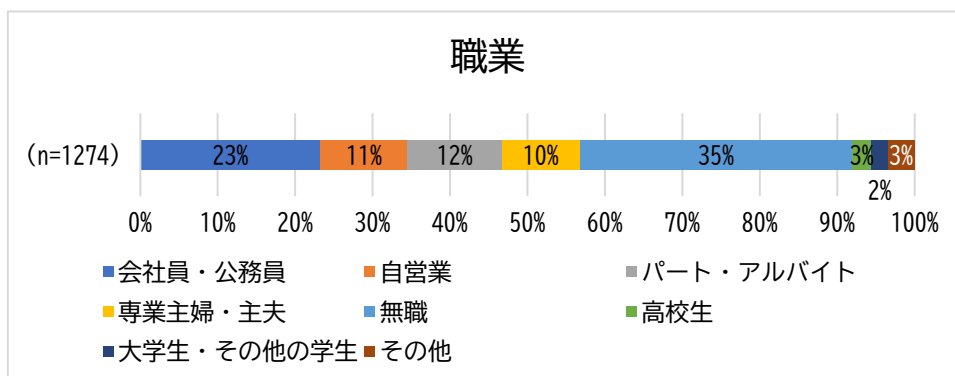
③住所

住所は、磯浜町が42%と最も多く、次いで大貫町が17%と多くなっています。



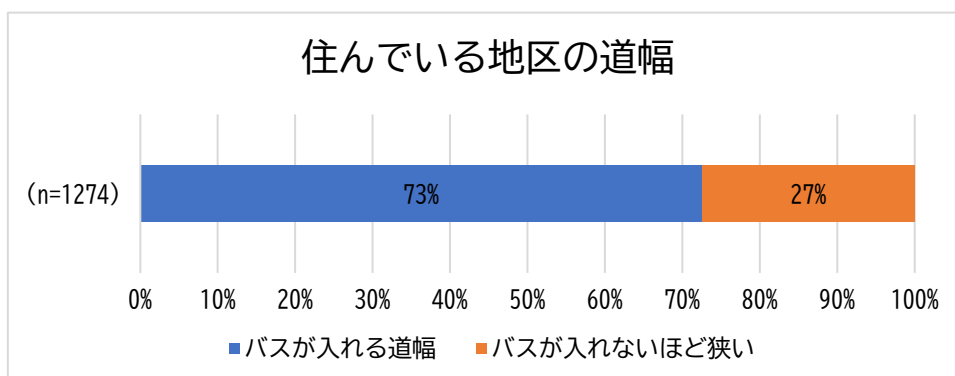
④職業

職業は、無職が35%と最も多くなっています。



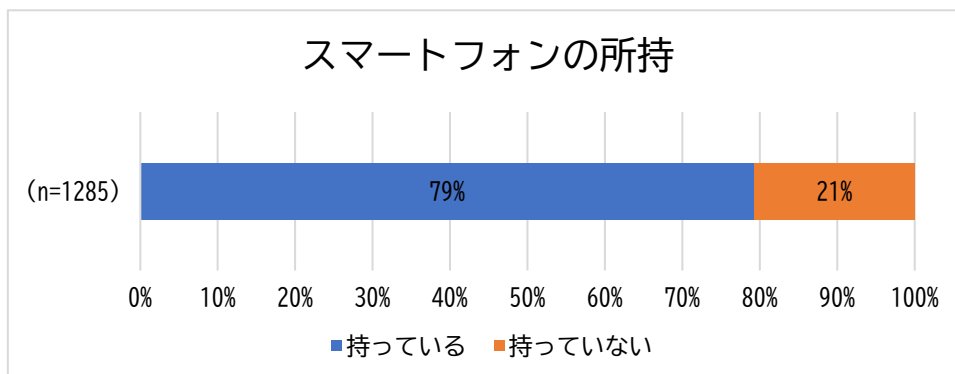
⑤住んでいる地区の道幅

住んでいる地区の道幅が、バスが入れないほど狭い回答者が27%みられます。



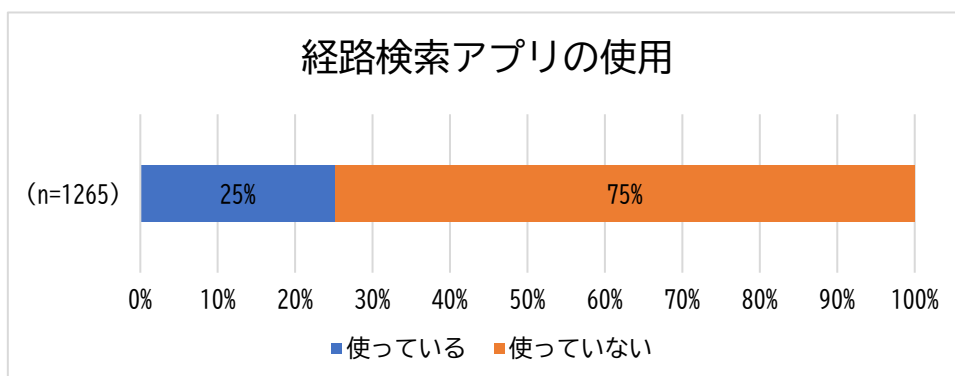
⑥スマートフォンの所持

回答者の79%はスマートフォンを所持しています。



⑦経路検索アプリの使用

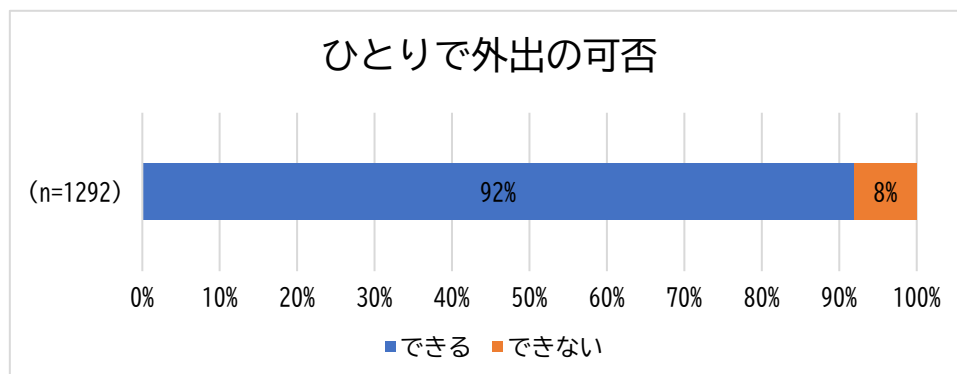
経路検索アプリを使用している回答者は25%で、スマートフォンを所持していても経路検索アプリを使用していない方が多くなっています。



3. 3. 身体状況について

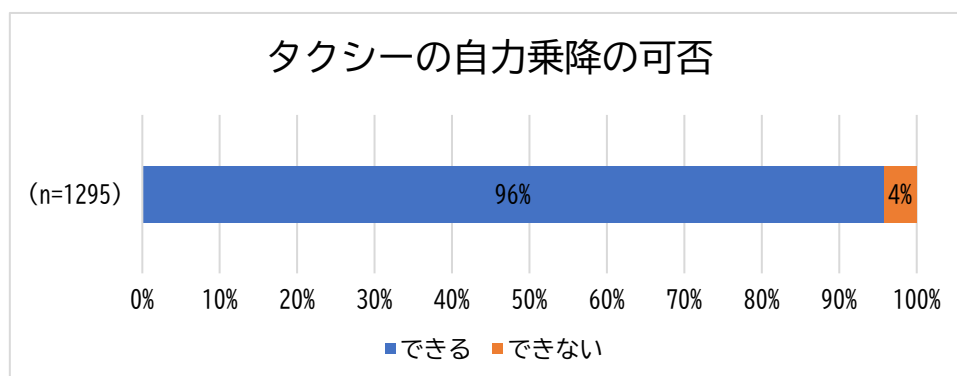
①ひとりで外出の可否

ひとりで外出の可否については、できない回答者が8%みられます。



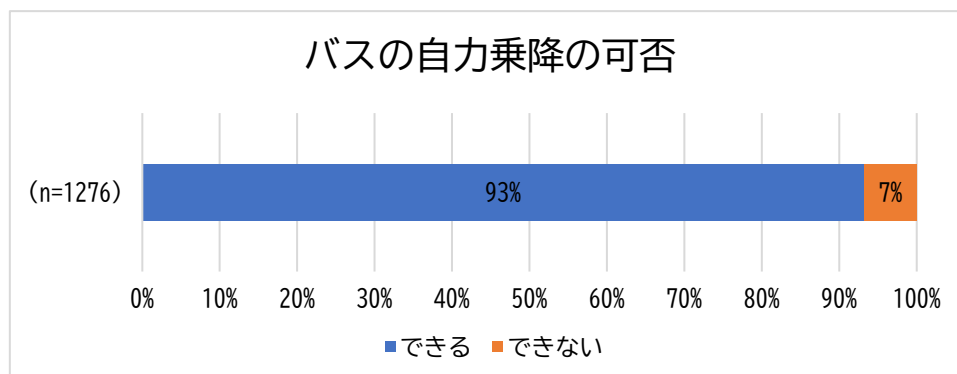
②タクシーの自力乗降の可否

タクシーの自力乗降の可否については、できない回答者が4%みられます。



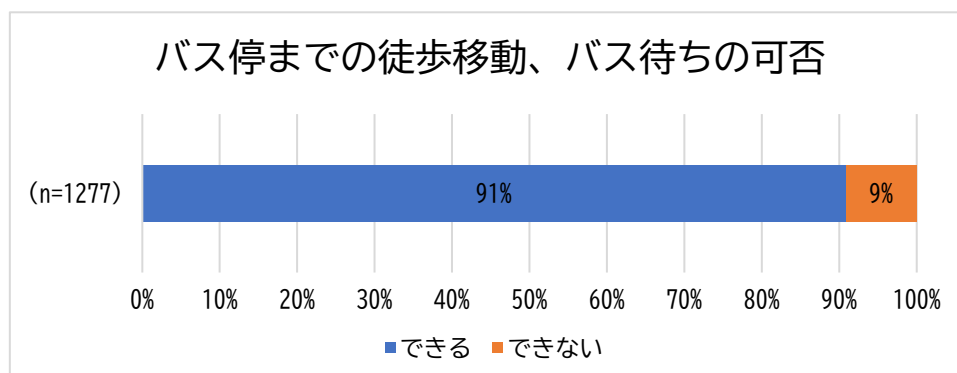
③バスの自力乗降の可否

バスの自力乗降の可否については、できない回答者が7%みられます。



④バス停までの徒歩移動、バス待ちの可否

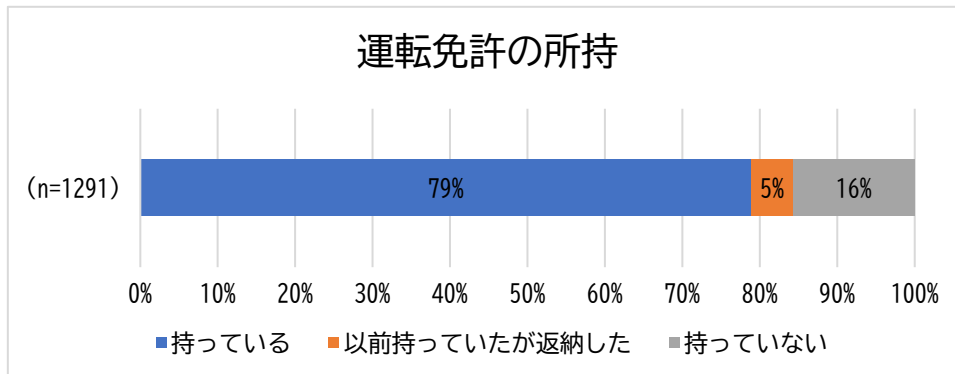
バス停までの徒歩移動、バス待ちの可否については、できない回答者が9%みられます。



3. 4. 自動車の運転状況

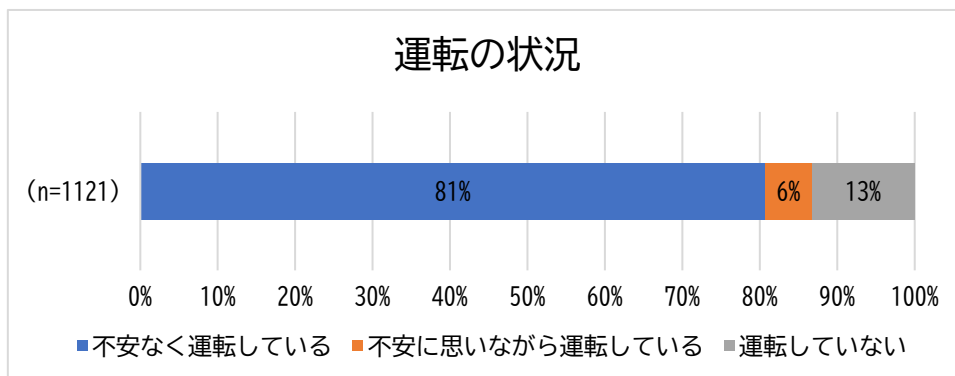
①運転免許の所持

回答者の79%が運転免許を所持しており、所持していない回答者が21%となっています。



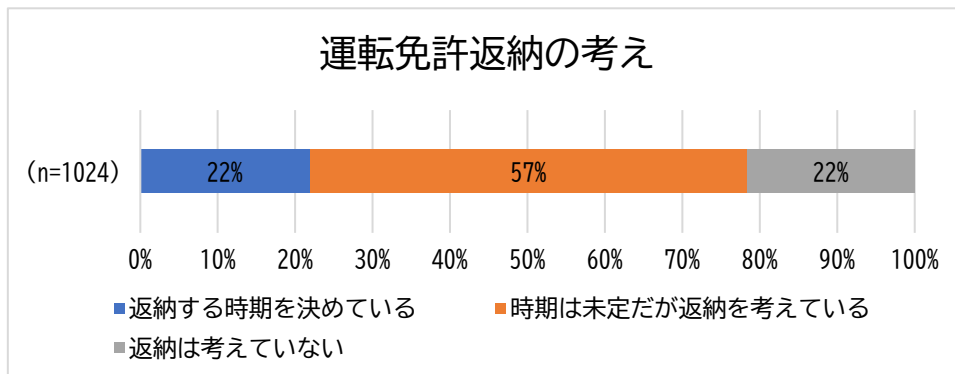
②運転の状況

運転については、回答者の6%が不安に思いながら運転しています。

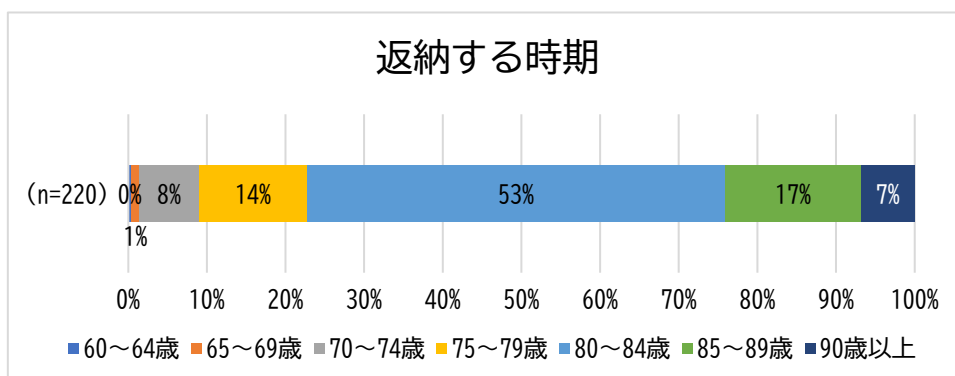


③運転免許返納の考え

運転免許返納の考えについては、回答者の 22%が返納する時期まで決めており、57%が時期は未定だが返納を考えており、合わせて 79%が返納を考えています。



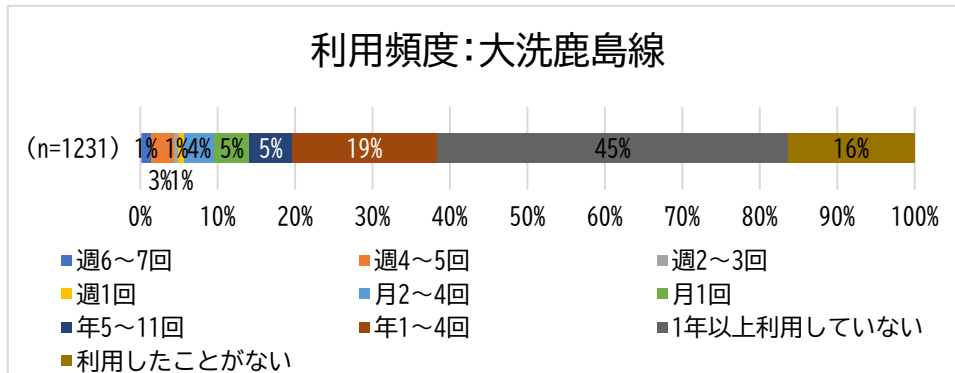
返納する時期を決めている人の回答では、80～84歳で返納しようと考えている回答者が 53%と最も多くなっています。



3. 5. 公共交通の利用頻度

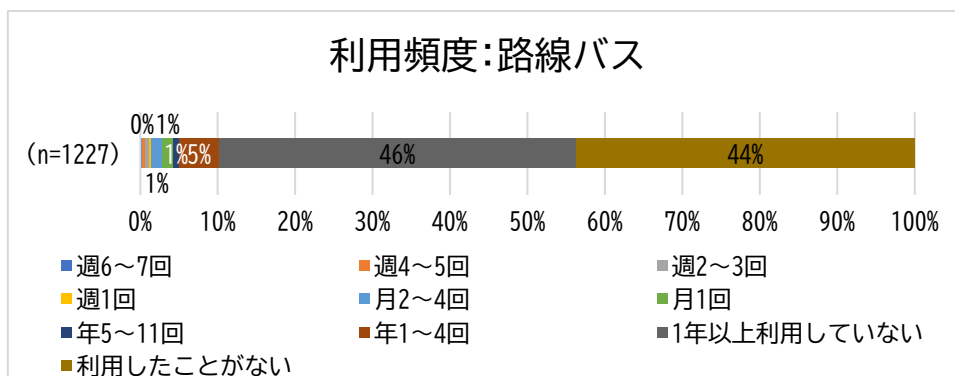
①大洗鹿島線

大洗鹿島線の利用頻度は、1年以上利用していない回答が45%と最も多くなっています。利用している回答の中では、年1~4回が19%と多くなっていますが、利用頻度の高い回答者もみられます。



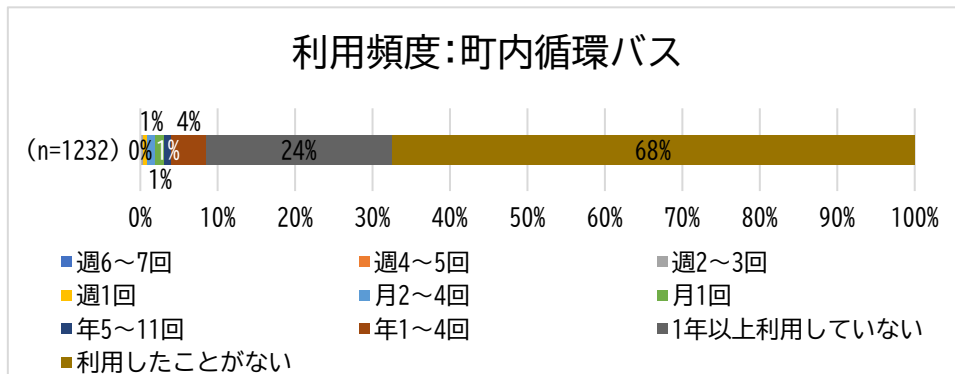
②路線バス

路線バスの利用頻度は、1年以上利用していない回答が46%、利用したことがないという回答が44%と多くなっており、年1回以上利用している回答者は約10%となっています。



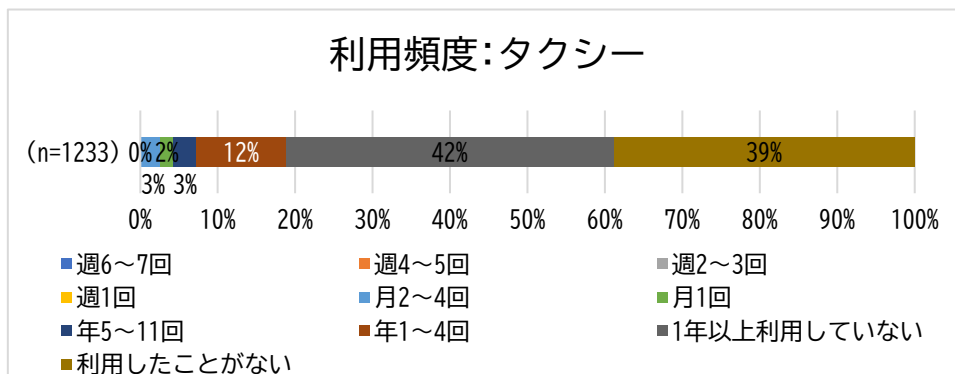
③町内循環バス

町内循環バスの利用頻度は、利用したことがないという回答が68%と最も多く、次いで1年以上利用していない回答が24%と多くっており、年1回以上利用している回答者は約8%となっています。



④タクシー

タクシーの利用頻度は、1年以上利用していない回答が42%、利用したことがないという回答が39%と多くなっています。利用している回答の中では、年1~4回が12%と多くなっています。

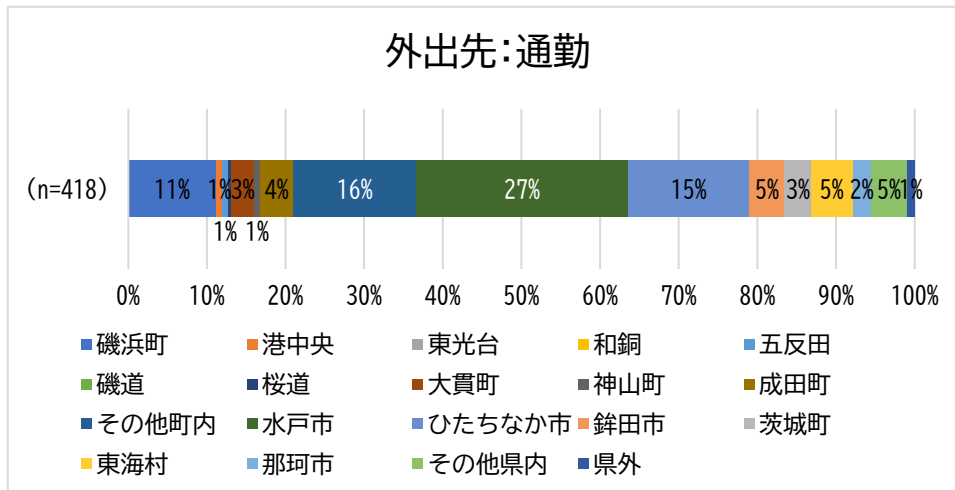


3. 6. 日常的な外出について

①通勤

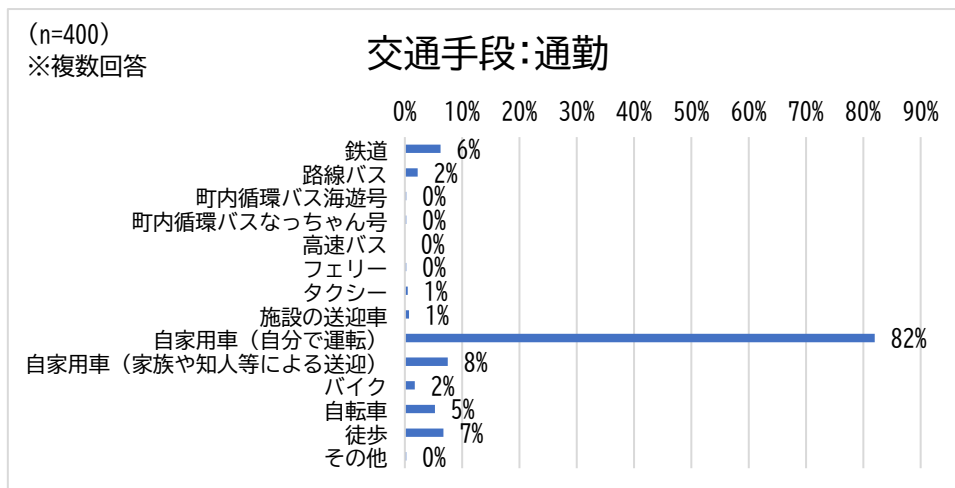
I. 外出先

通勤の外出先は、町内が合計 37%と最も多く、次いで水戸市が 27%、ひたちなか市が 15%と多くなっています。町内では磯浜町が 11%と多くなっています。



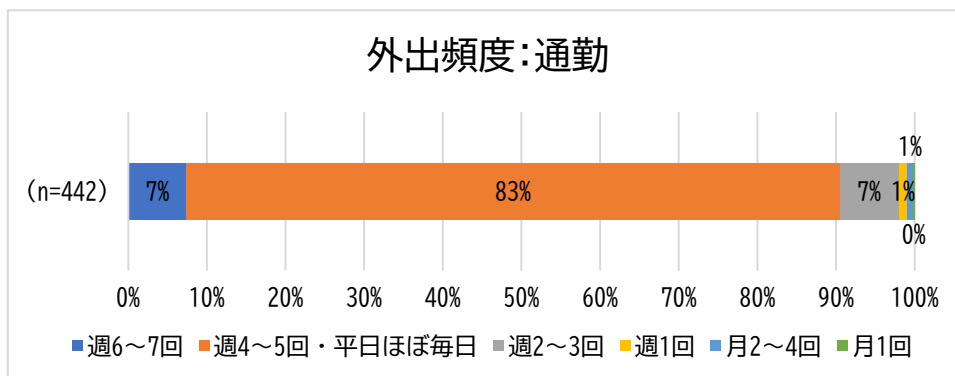
II. 交通手段

通勤の交通手段は、自家用車(自分で運転)が 82%と最も多くなっています。公共交通機関の中では、鉄道が 6%みられます。



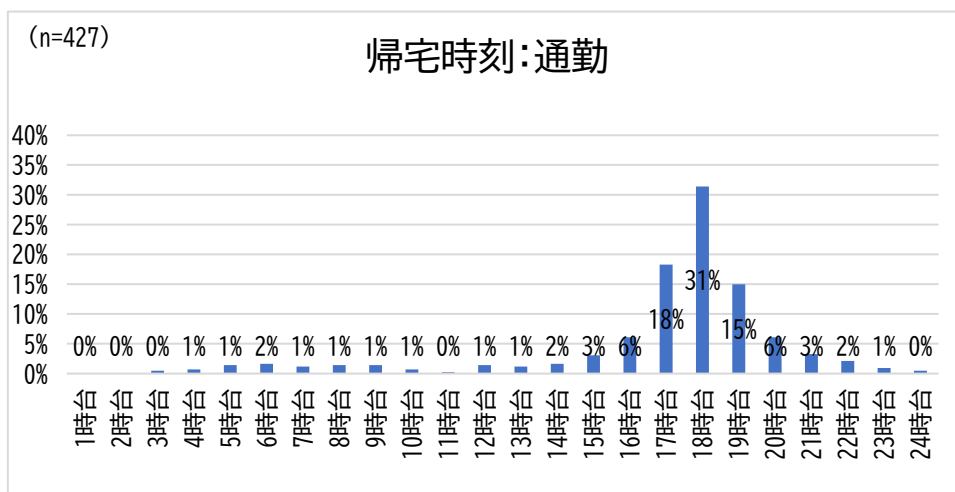
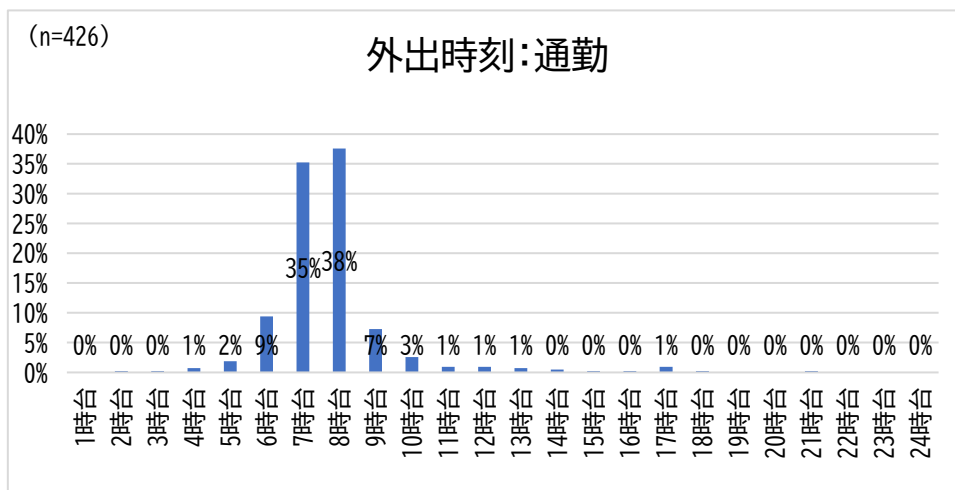
Ⅲ. 外出頻度

通勤の外出頻度は、週4～5日・平日ほぼ毎日が 83%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

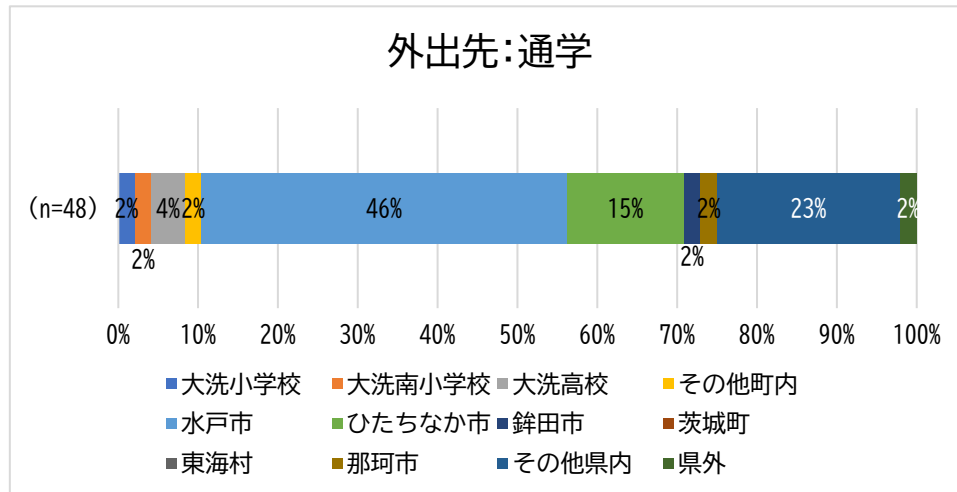
通勤の外出時刻は、7～8時台が多くなっています。帰宅時刻は 18 時台を中心に 17～19 時台で多くなっています。



②通学

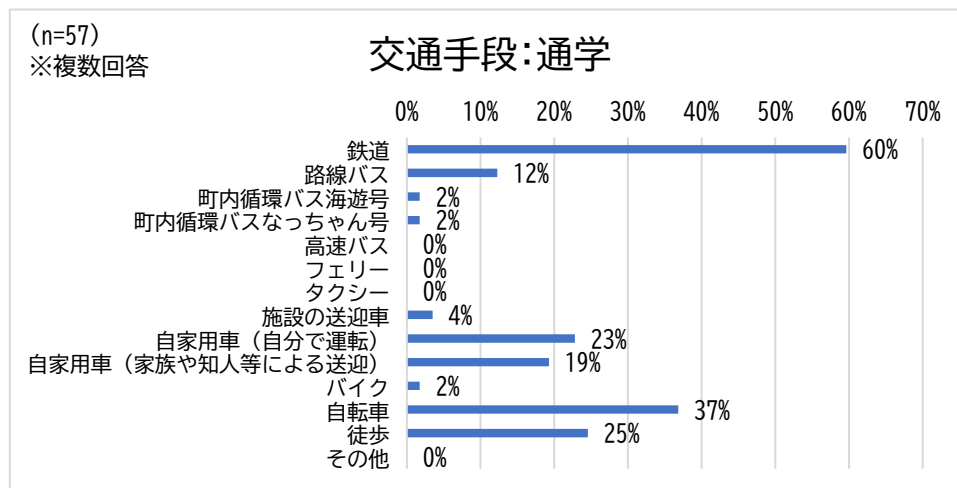
I. 外出先

通学の外出先は、水戸市が46%と最も多く、次いでひたちなか市が15%と多くなっています。



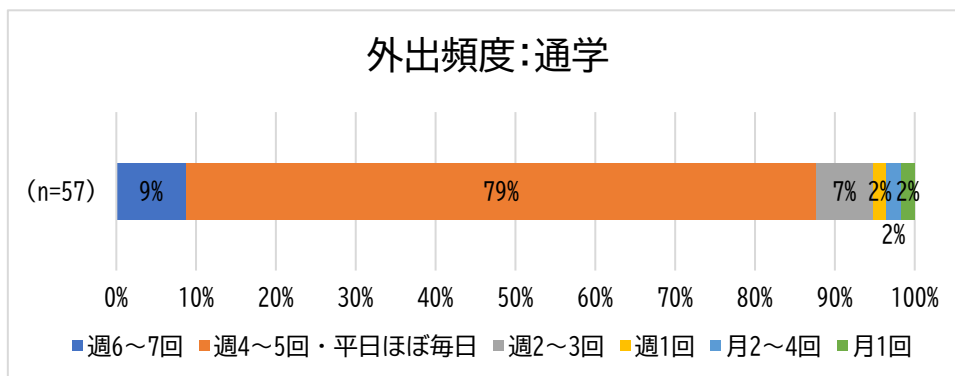
II. 交通手段

通学の交通手段は、鉄道が60%と最も多く、次いで自転車が37%と多くなっています。自家用車を利用している回答者もみられ、送迎してもらっている回答が19%みられます。



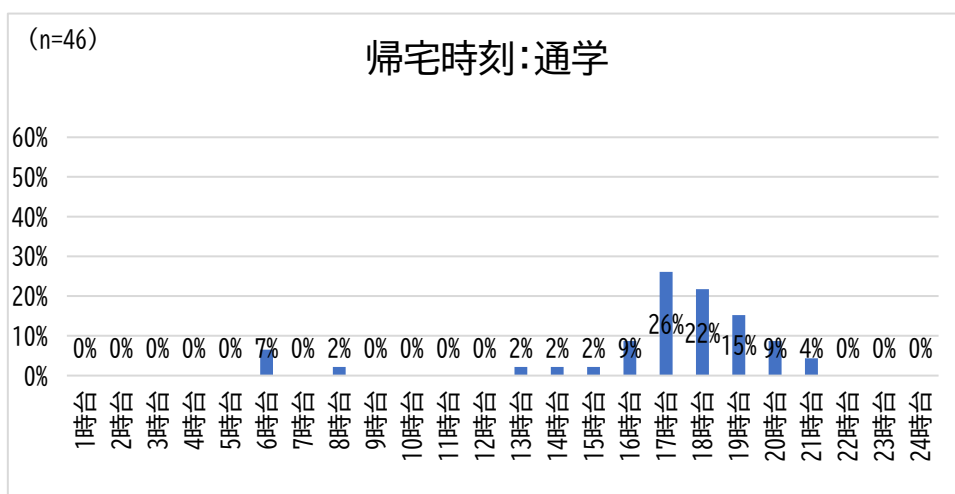
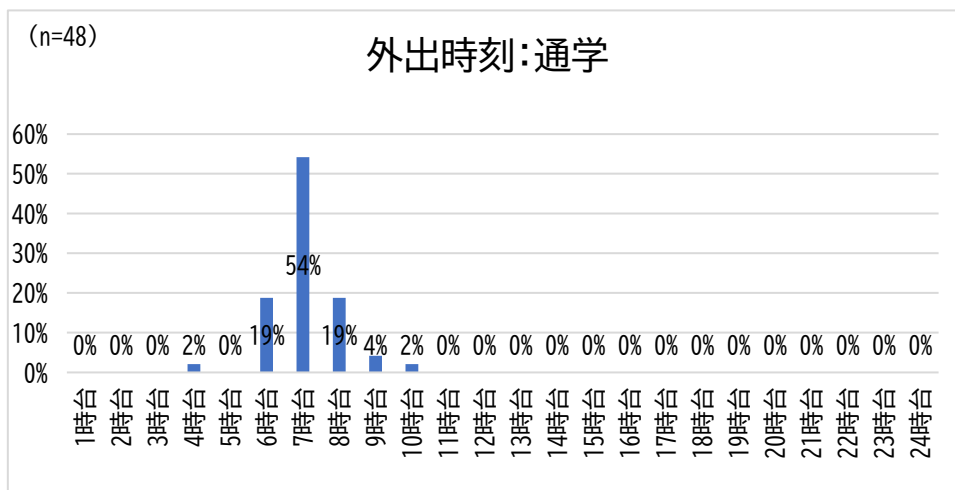
Ⅲ. 外出頻度

通学の外出頻度は、週4～5回・平日ほぼ毎日が79%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

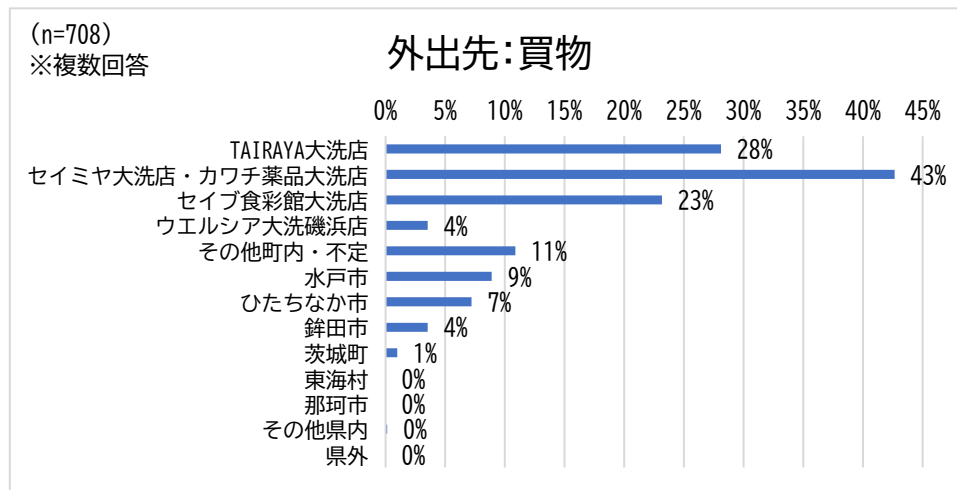
通学の外出時刻は、7時台を中心に6～8時台が多くなっています。帰宅時刻は16～20時台が多くなっています。



③買物

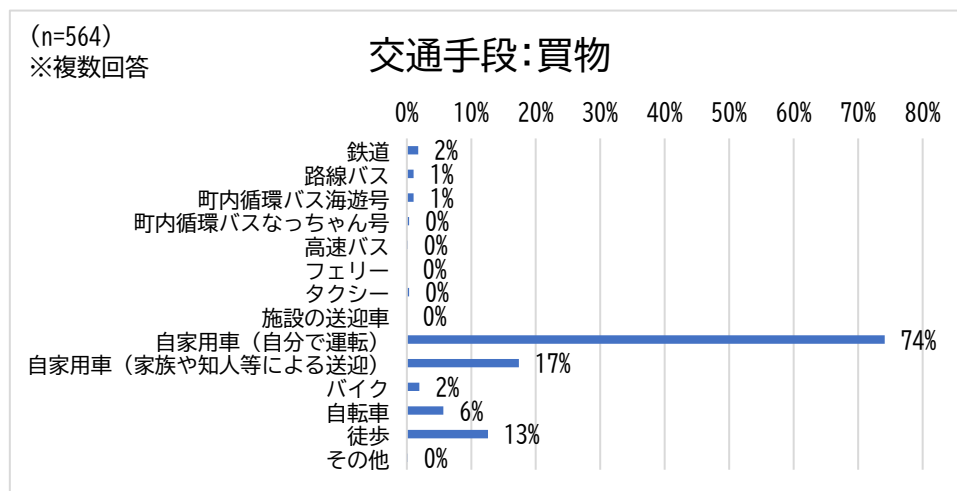
I. 外出先

買物の外出先は、セイミヤ大洗店・カワチ薬品大洗店が43%と最も多く、次いでTAIRAYA大洗店が28%、セイブ食彩館大洗店が23%と多くなっています。町外については水戸市が9%、ひたちなか市が7%と多くなっています。



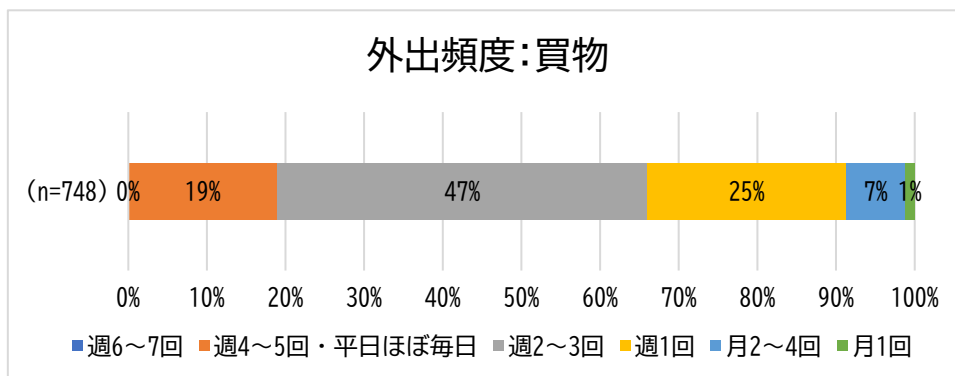
II. 交通手段

買物の交通手段は、自家用車(自分で運転)が74%と最も多くなっています。



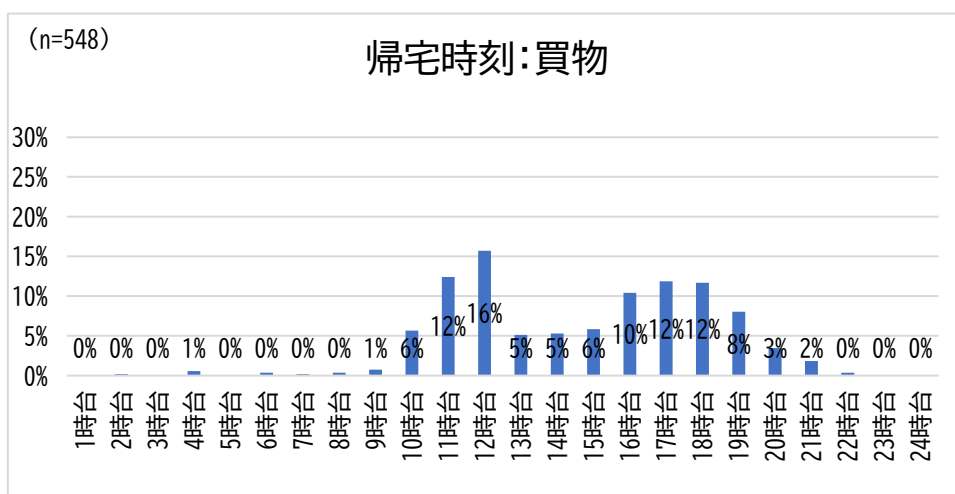
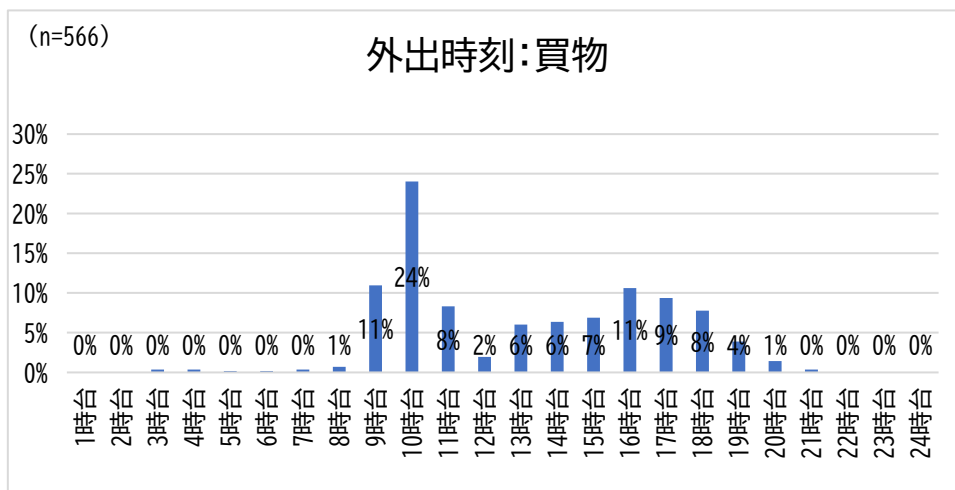
Ⅲ. 外出頻度

買物の外出頻度は、週2～3回が47%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

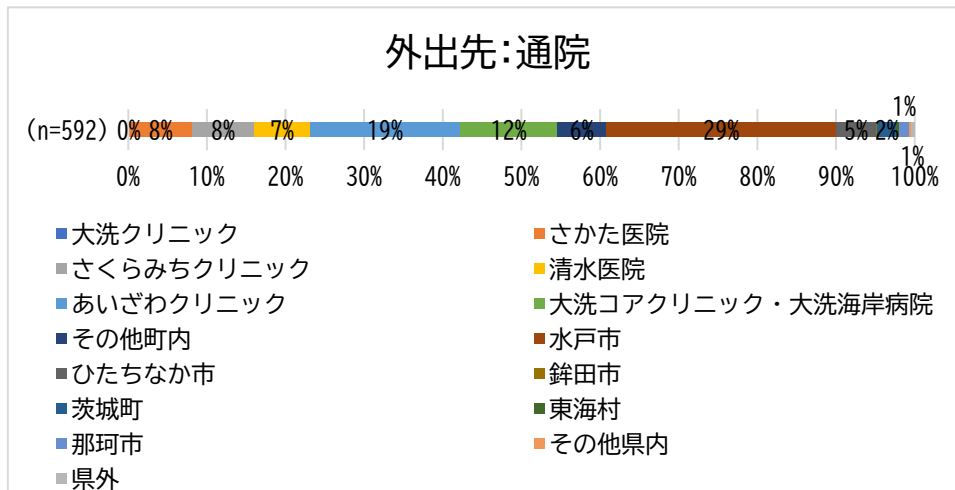
買物の外出時刻は、10時台が多くなっている他、午後にもみられます。帰宅時刻は12時台が多くなっている他、午後にもみられます。



④通院

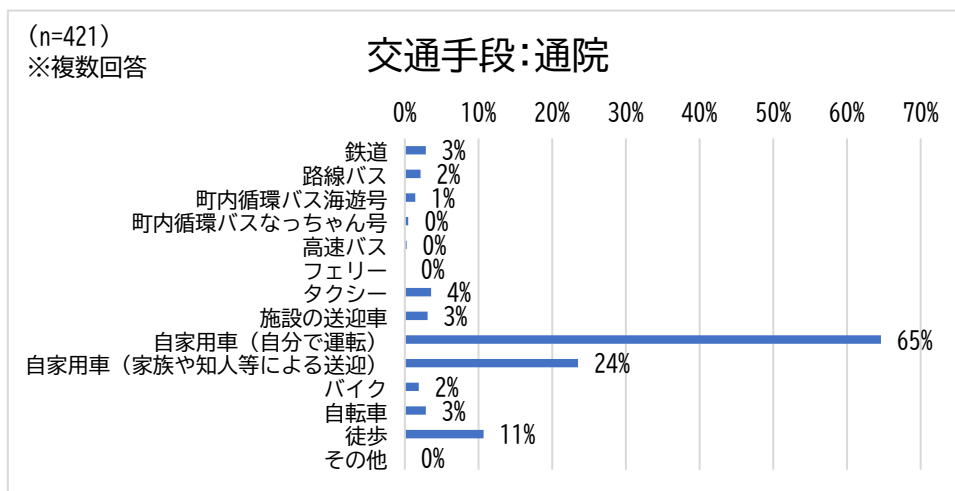
I. 外出先

通院の外出先は、町内が約 60%を占め、その中ではあいざわクリニックが 19%と最も多くなっています。町外については水戸市が 29%と多くなっています。



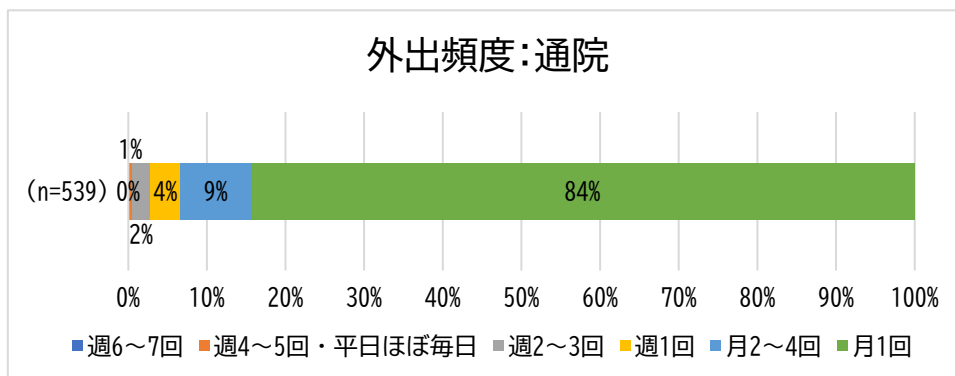
II. 交通手段

通院の交通手段は、自家用車(自分で運転)が 65%と最も多くなっています。自家用車(家族や知人等による送迎)も 24%と多くなっており、また公共交通機関等の利用もみられます。



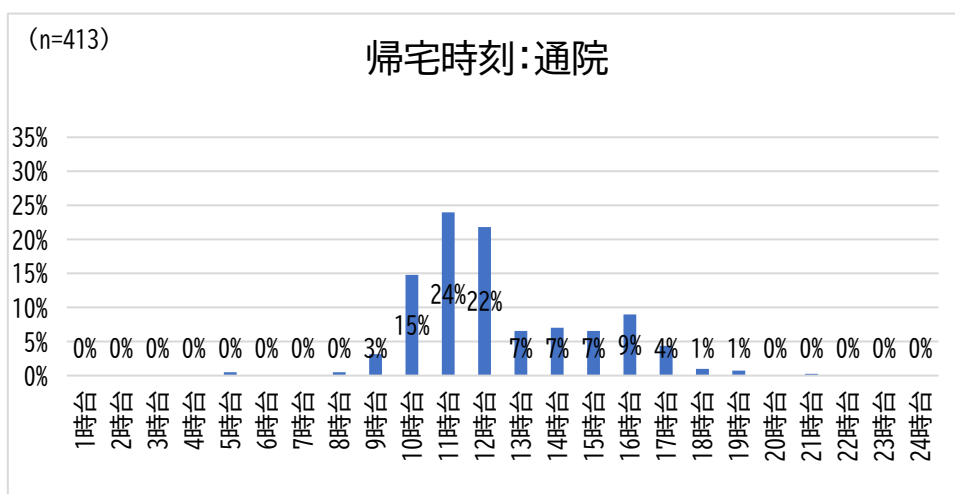
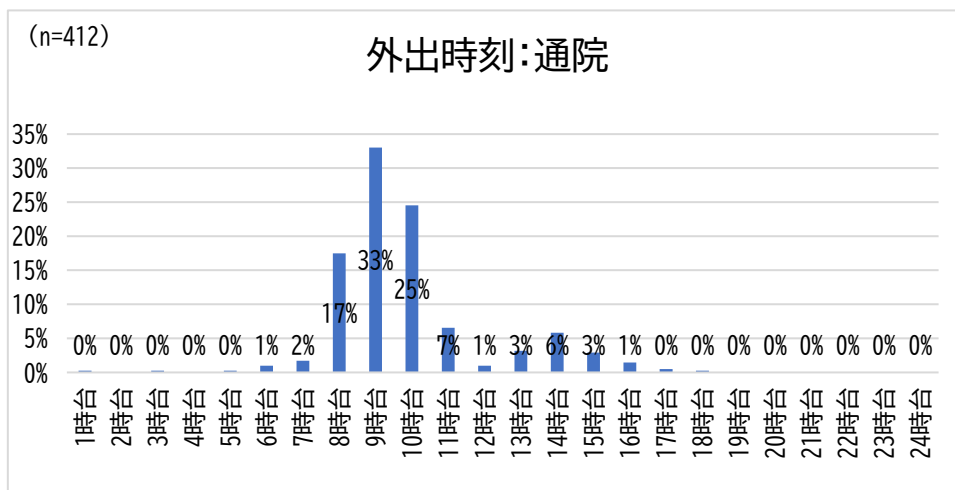
Ⅲ. 外出頻度

通院の外出頻度は、月1回が84%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

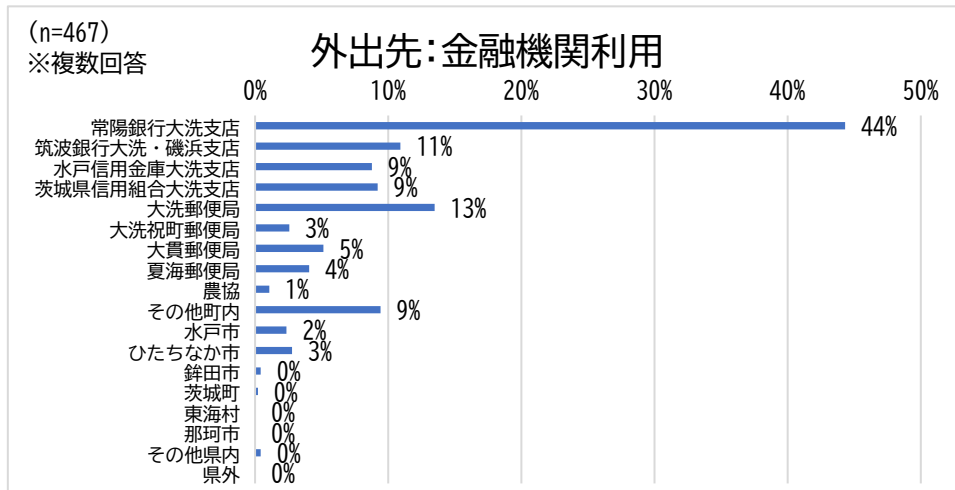
通院の外出時刻は、9時台を中心に8~10時台が多くなっています。帰宅時刻は10~12時台が多くなっています。



⑤金融機関利用

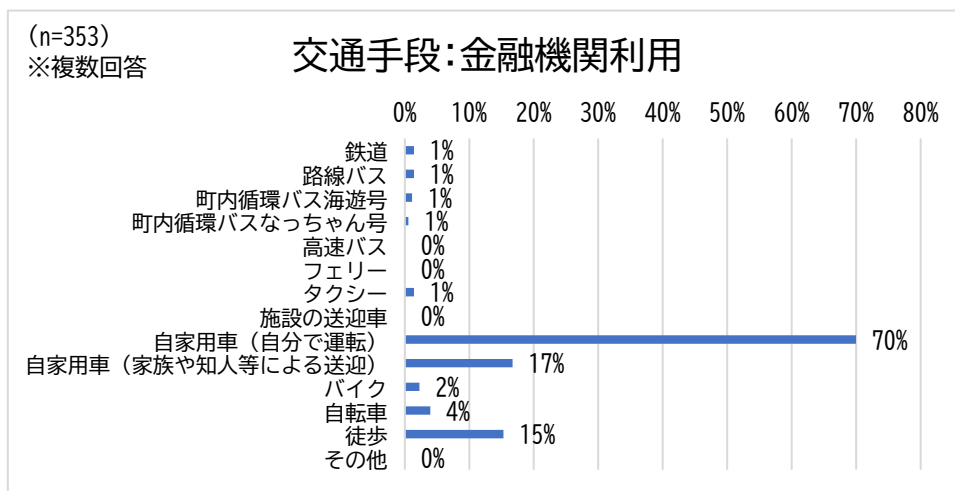
I. 外出先

金融機関利用の外出先は、常陽銀行大洗支店が44%と最も多くなっています。次いで大洗郵便局が13%、筑波銀行大洗・磯浜支店が11%、水戸信用金庫大洗支店が9%、茨城県信用組合大洗支店が9%と多くなっています。



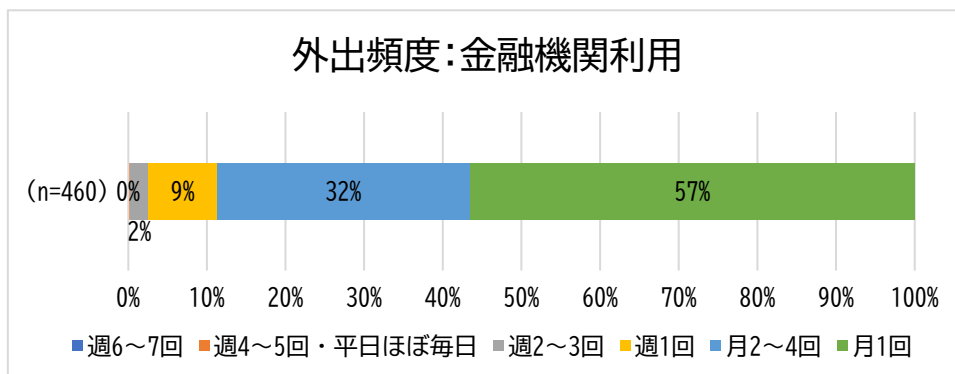
II. 交通手段

金融機関利用の交通手段は、自家用車(自分で運転)が70%と最も多くなっています。



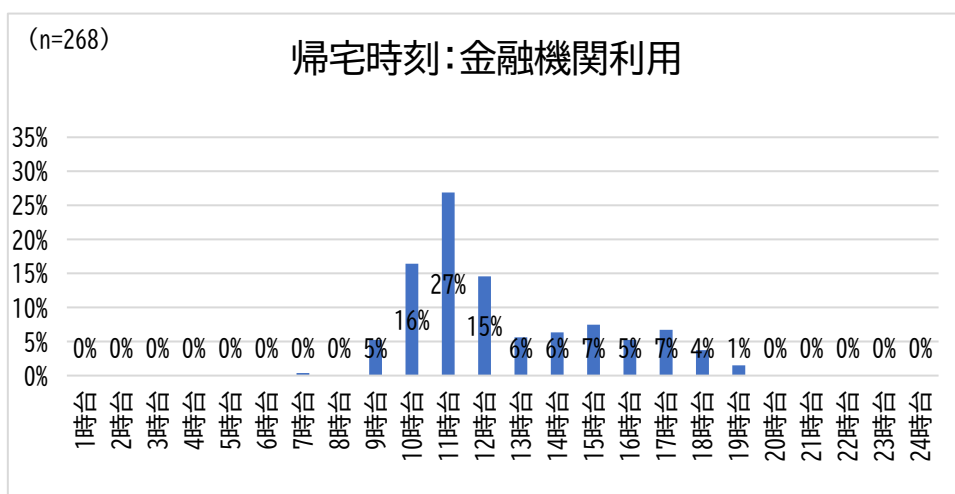
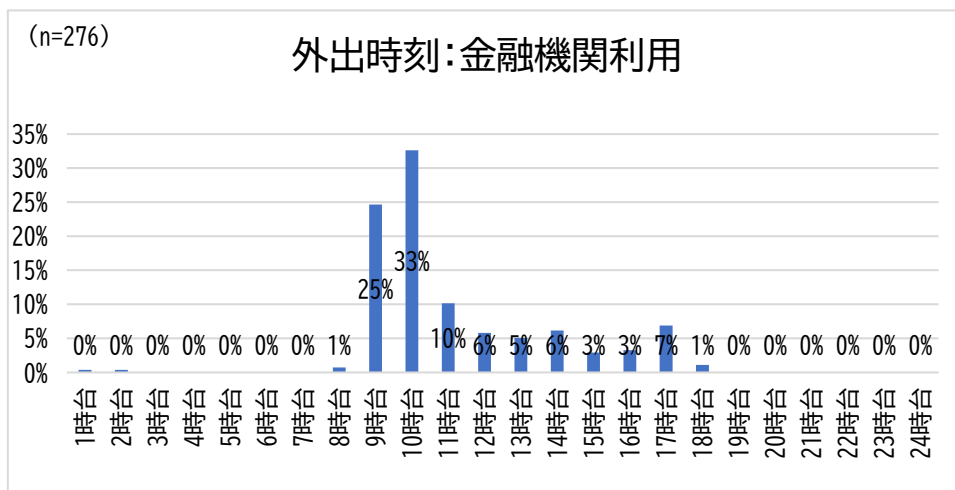
Ⅲ. 外出頻度

金融機関利用の外出頻度は、月1回が57%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

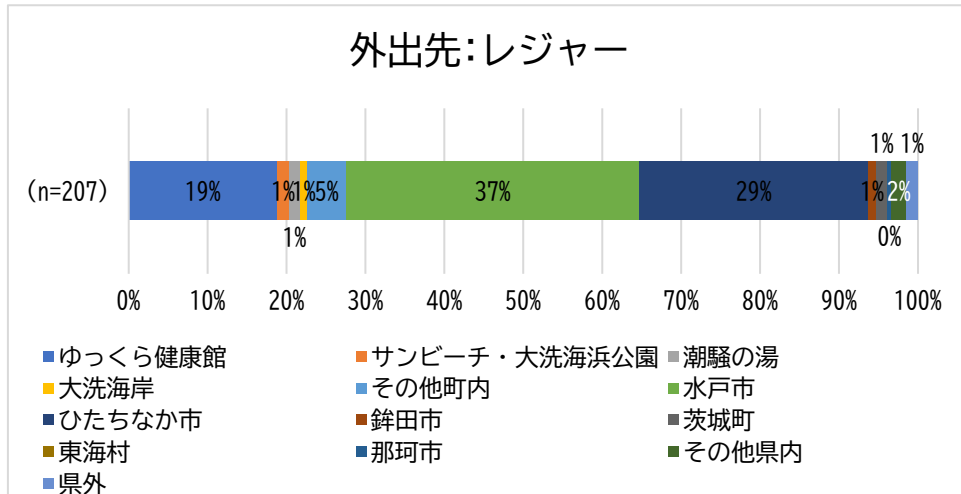
金融機関利用の外出時刻は、9~10時台が多くなっています。帰宅時刻は11時台を中心に10~12時台が多くなっています。



⑥レジャー

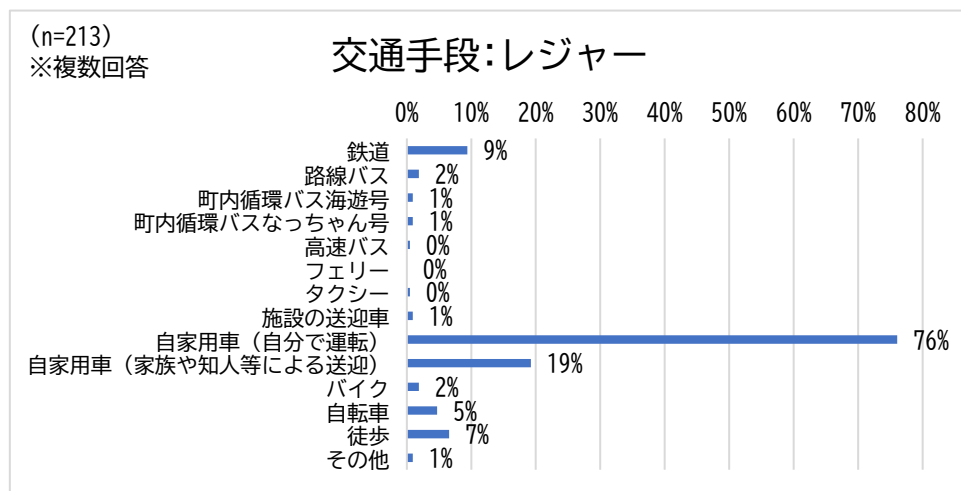
I. 外出先

レジャーの外出先は、水戸市が37%と最も多く、次いでひたちなか市が29%と多くなっています。町内ではゆっくら健康館が19%と多くなっています。



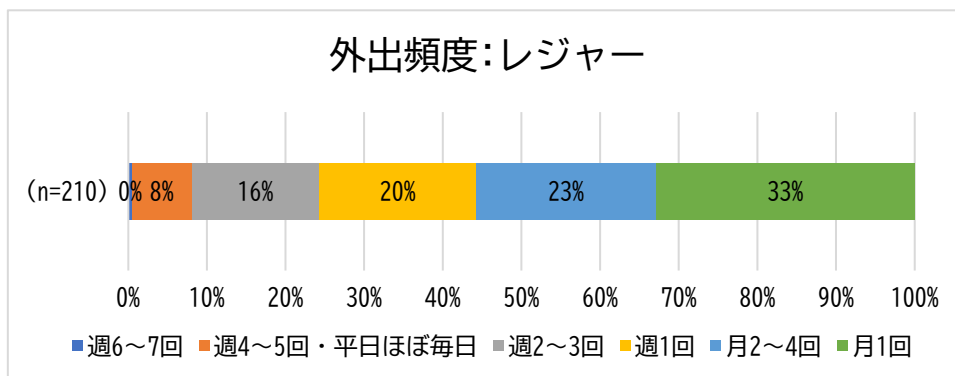
II. 交通手段

レジャーの交通手段は、自家用車(自分で運転)が76%と最も多くなっています。公共交通機関の中では、鉄道が9%と多くなっています。



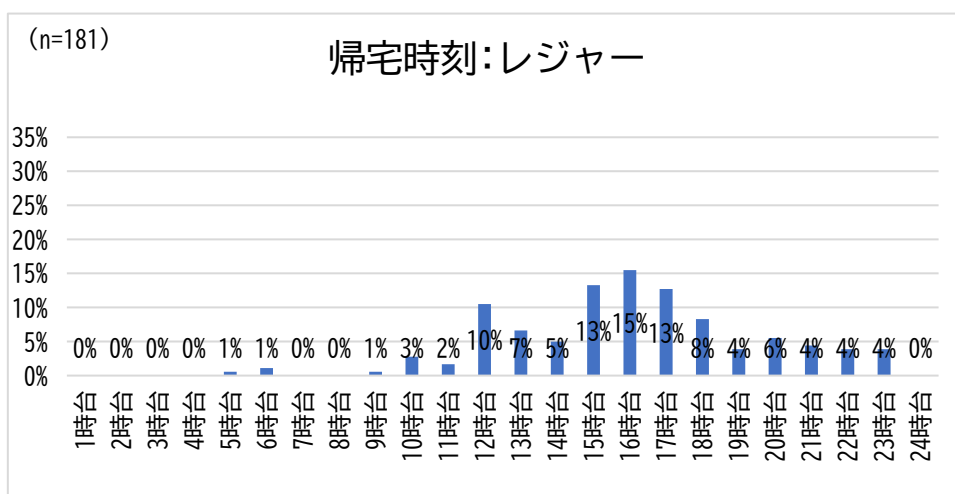
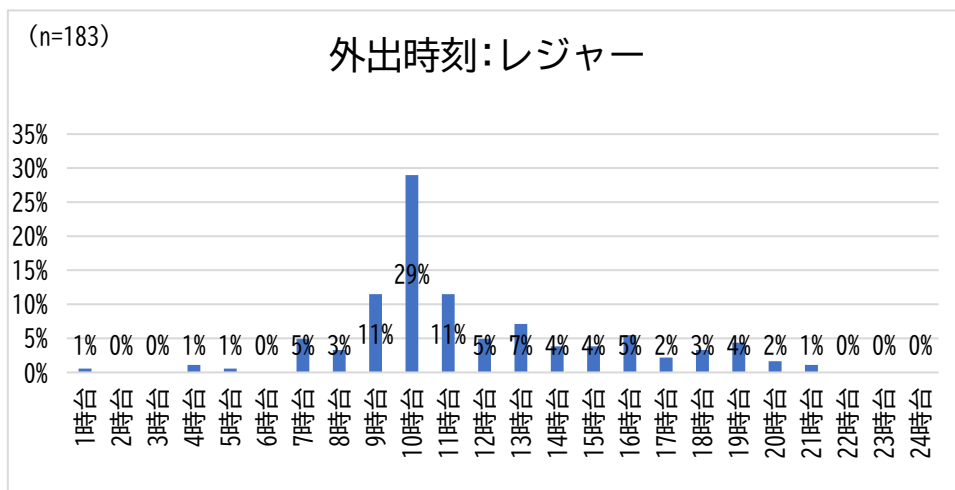
Ⅲ. 外出頻度

レジヤの外出頻度は、月1回が33%と最も多くなっています。



Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

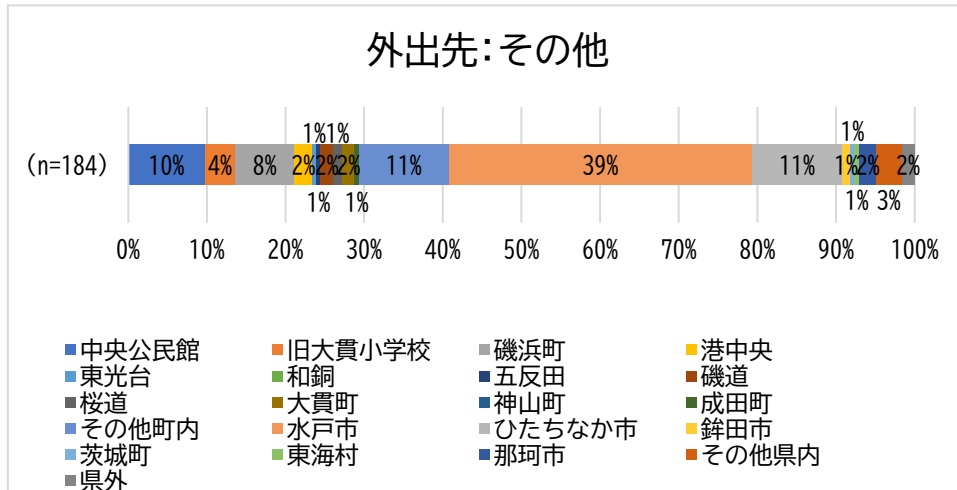
レジヤの外出時刻は、10時台が多くなっています。帰宅時刻は15~17時台が多くなっています。



⑦その他

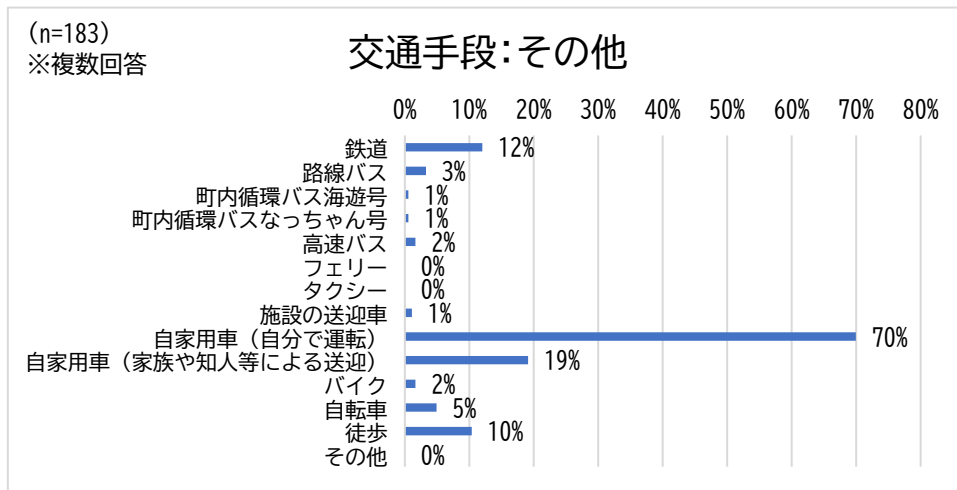
I. 外出先

その他の外出先は、町内が合計 41%と最も多く、次いで水戸市が 39%と多くなっています。町内では中央公民館が 10%と多くなっています。



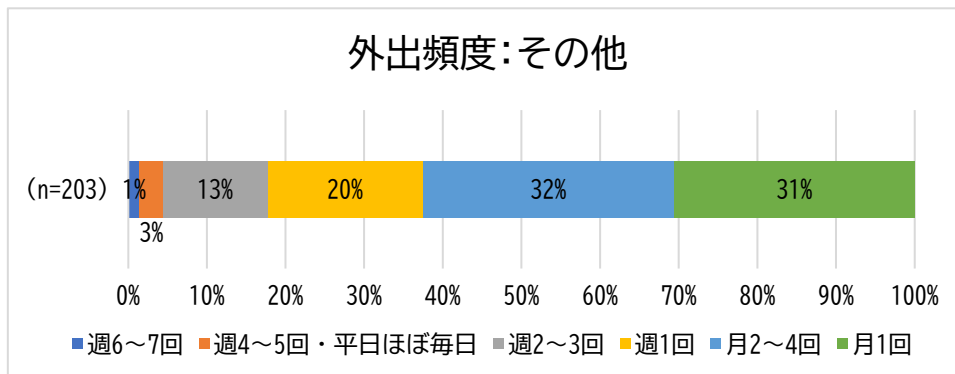
II. 交通手段

その他の交通手段は、自家用車(自分で運転)が 70%と最も多くなっています。公共交通機関の中では、鉄道が 12%と多くなっています。



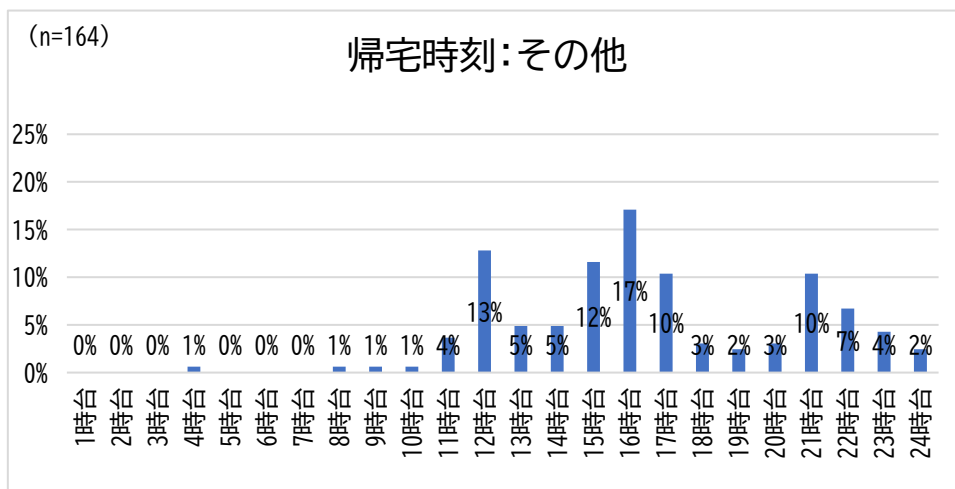
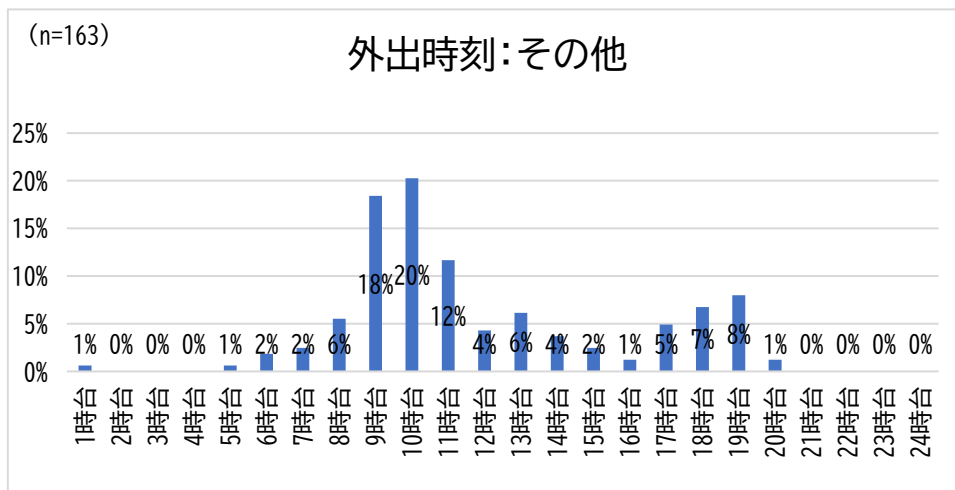
Ⅲ. 外出頻度

その他の外出頻度は、月2～4回が32%と最も多くなっています。



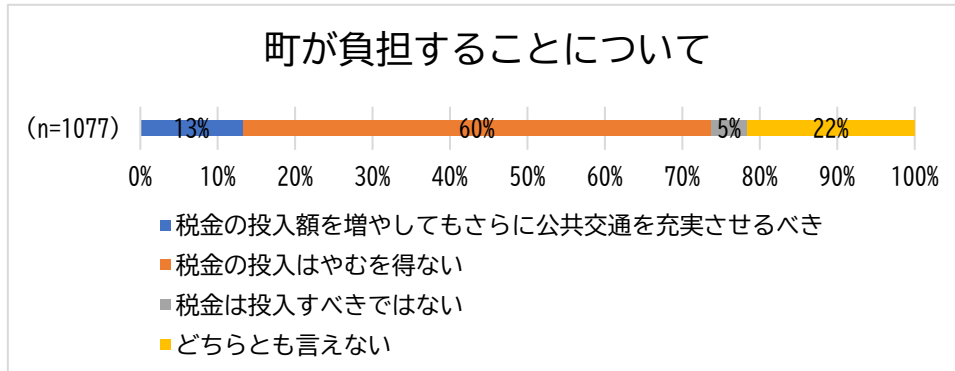
Ⅳ. 外出時刻・帰宅時刻

その他の外出時刻は、9～11時台が多くなっています。帰宅時刻はばらつきがあります。



3. 7. 大洗町の公共交通の維持に対する考え

公共交通の維持・確保のために町が負担(税金の投入)することについての考えは、60%の回答者が税金の投入はやむを得ないとしており、税金の投入額を増やしてもさらに公共交通を充実させるべきという回答の13%と合わせて、73%が税金の投入を認めています。

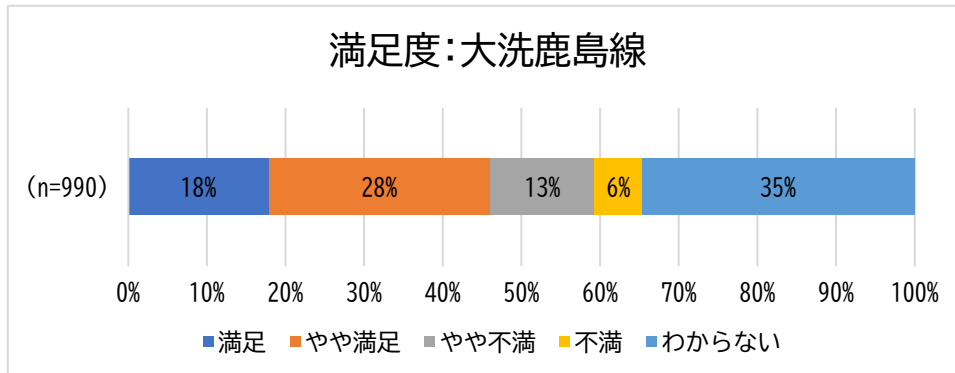


3. 8. 公共交通の現状に対する評価

①大洗鹿島線

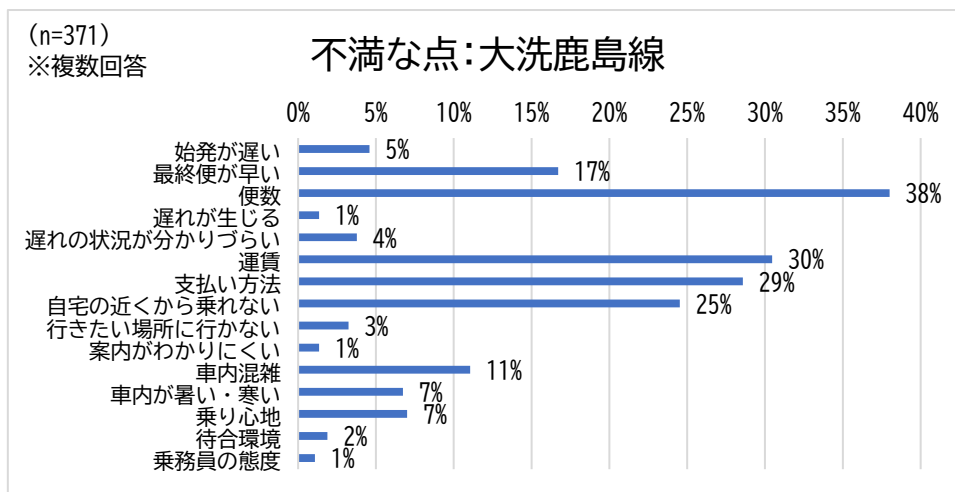
I. 満足度

大洗鹿島線に対する満足度は、満足・やや満足が合計 46%となっており、やや不満・不満より多くなっています。また、わからないという回答が 35%と多くなっています。



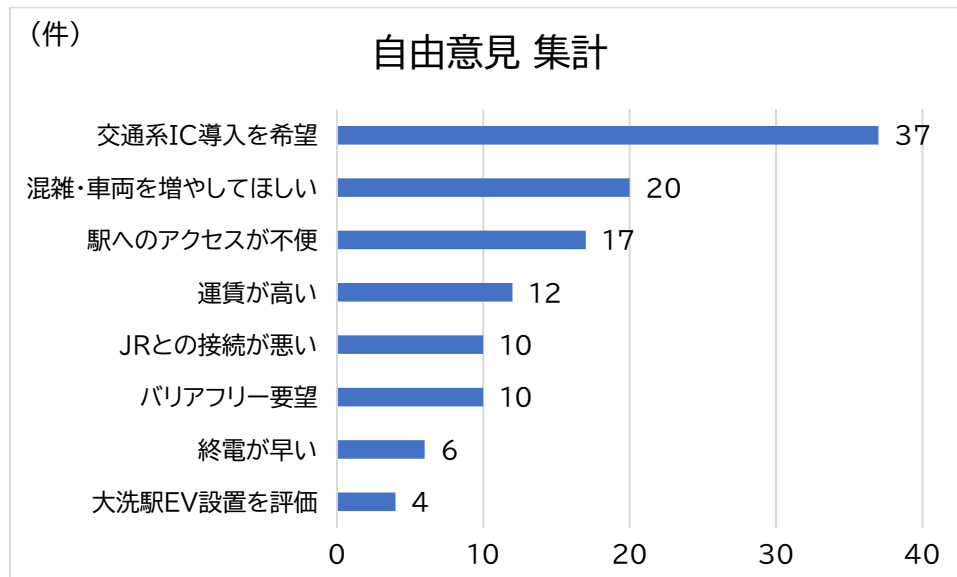
II. 不満な点

大洗鹿島線に対する不満な点は、「便数」「運賃」「支払い方法」「自宅の近くから乗れない」「最終便が早い」「車内混雑」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

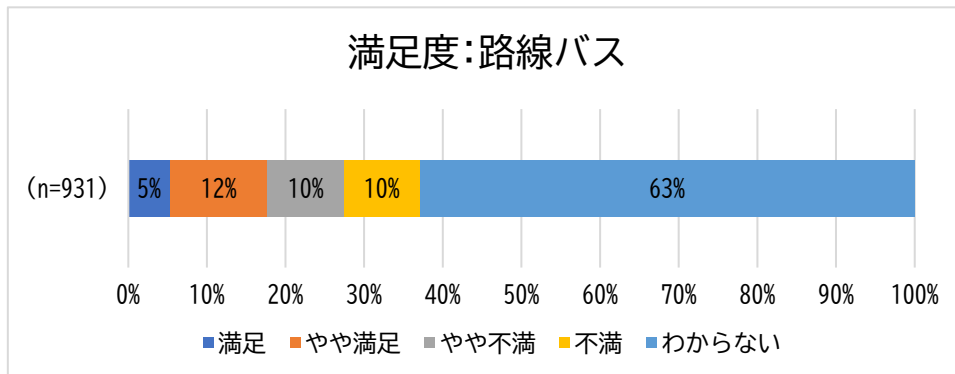
大洗鹿島線に対する自由意見は183件ありました。複数みられた意見を集計して示します。交通系IC導入を希望する意見や、混雑の指摘・車両を増やしてほしいという意見が多くみられました。



②路線バス

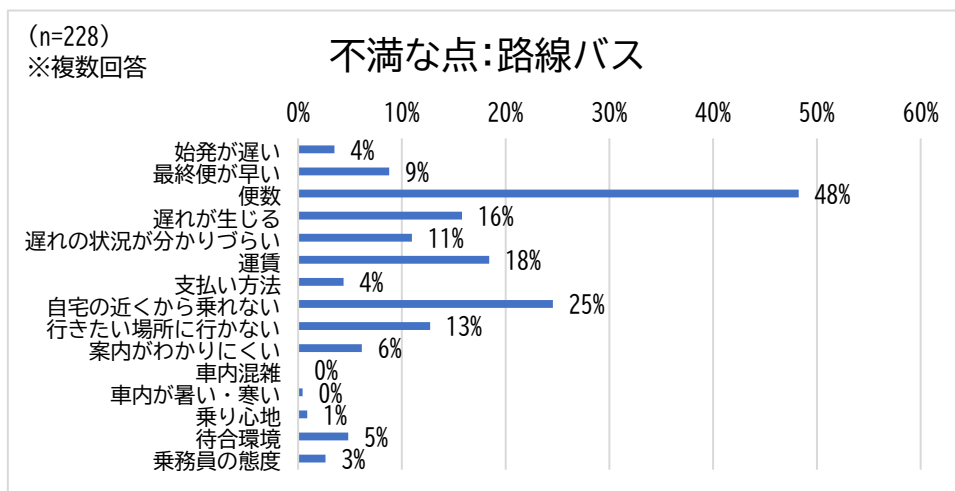
I. 満足度

路線バスに対する満足度は、やや不満・不満が合計 20%となっており、満足・やや満足より多くなっています。また、わからないという回答が 63%と多くなっています。



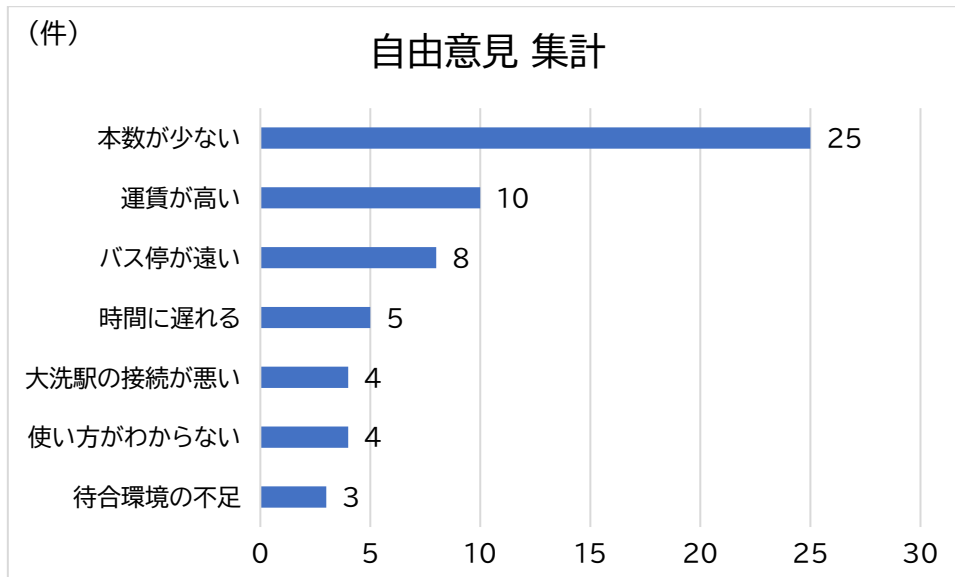
II. 不満な点

路線バスに対する不満な点は、「便数」「自宅の近くから乗れない」「運賃」「遅れが生じる」「行きたい場所に行かない」「遅れの状況が分かりづらい」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

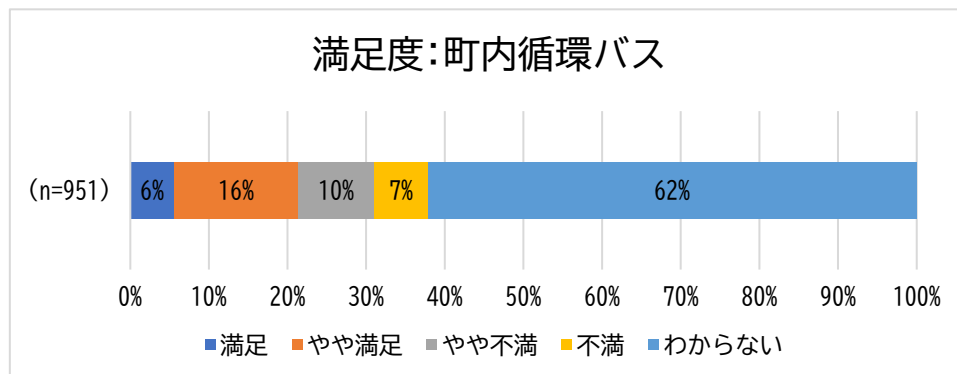
路線バスに対する自由意見は 88 件ありました。複数みられた意見を集計して示します。本数が少ないという意見や、運賃が高いという意見が多くみられました。



③町内循環バス

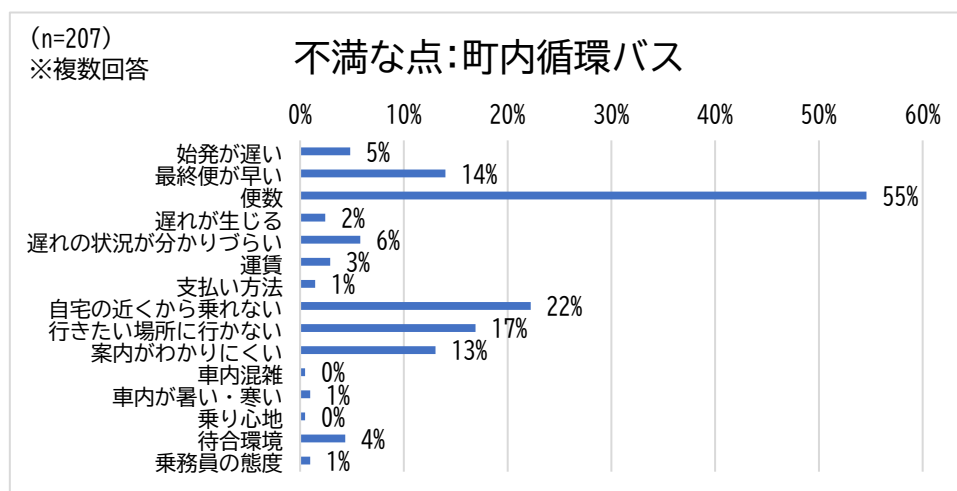
I. 満足度

町内循環バスに対する満足度は、満足・やや満足が合計 22%となっており、やや不満・不満より多くなっています。また、わからないという回答が 62%と多くなっています。



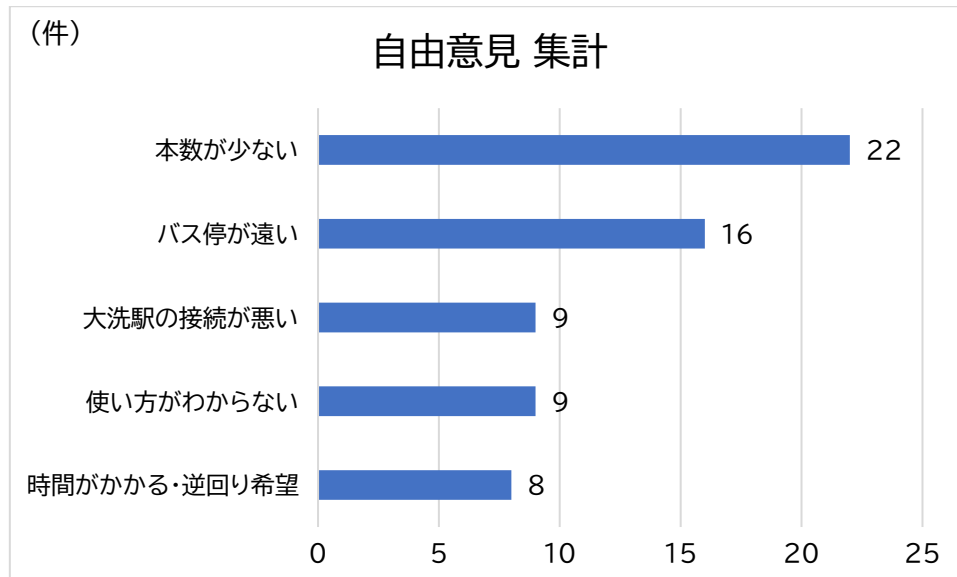
II. 不満な点

町内循環バスに対する不満な点は、「便数」「自宅の近くから乗れない」「行きたい場所に行かない」「最終便が早い」「案内がわかりにくい」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

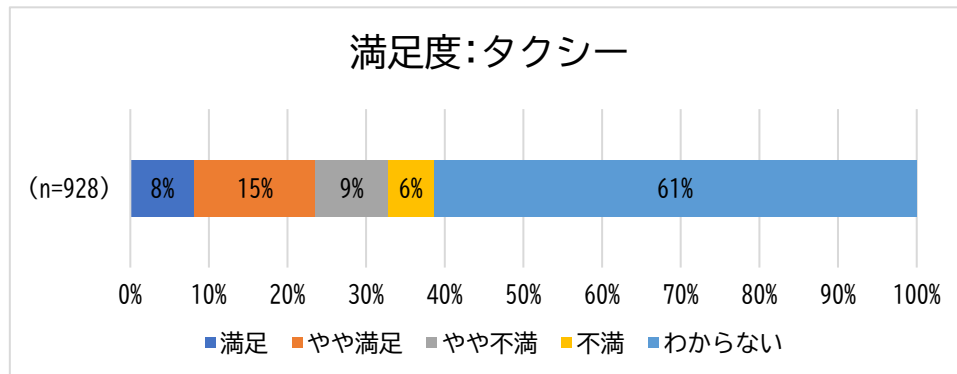
町内循環バスに対する自由意見は100件ありました。複数みられた意見を集計して示します。本数が少ないという意見や、バス停が遠いという意見が多くみられました。



④タクシー

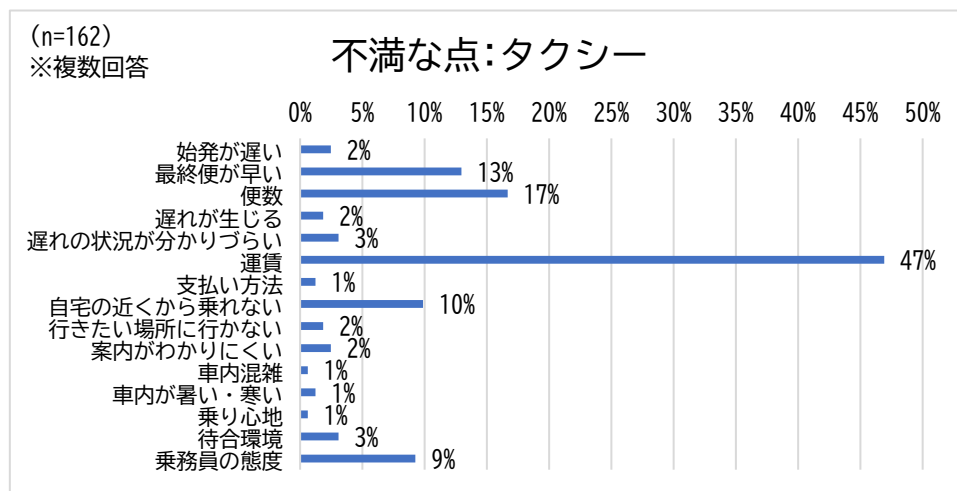
I. 満足度

タクシーに対する満足度は、満足・やや満足が合計 23%となっており、やや不満・不満より多くなっています。また、わからないという回答が 61%と多くなっています。



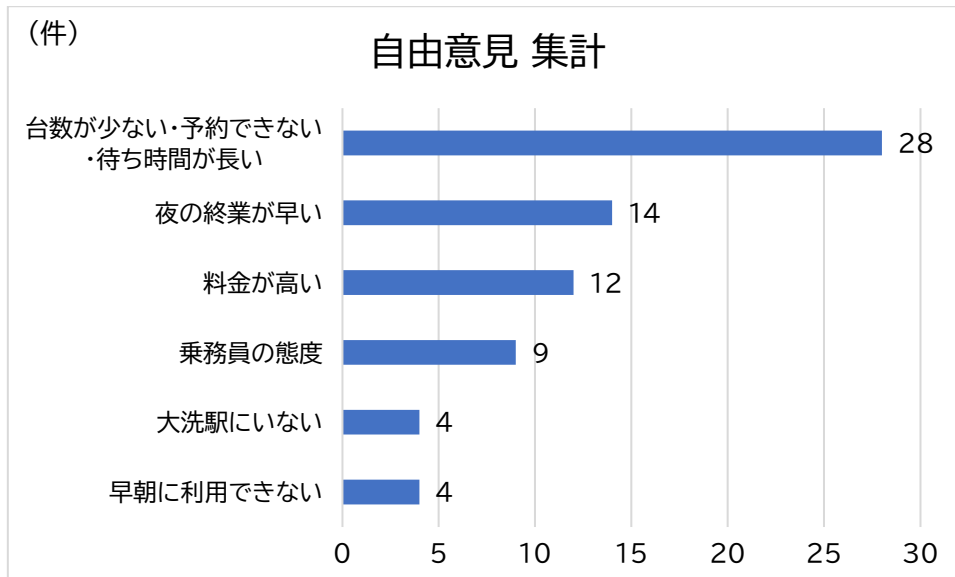
II. 不満な点

タクシーに対する不満な点は、「運賃」「便数」「最終便が早い」「自宅の近くから乗れない」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

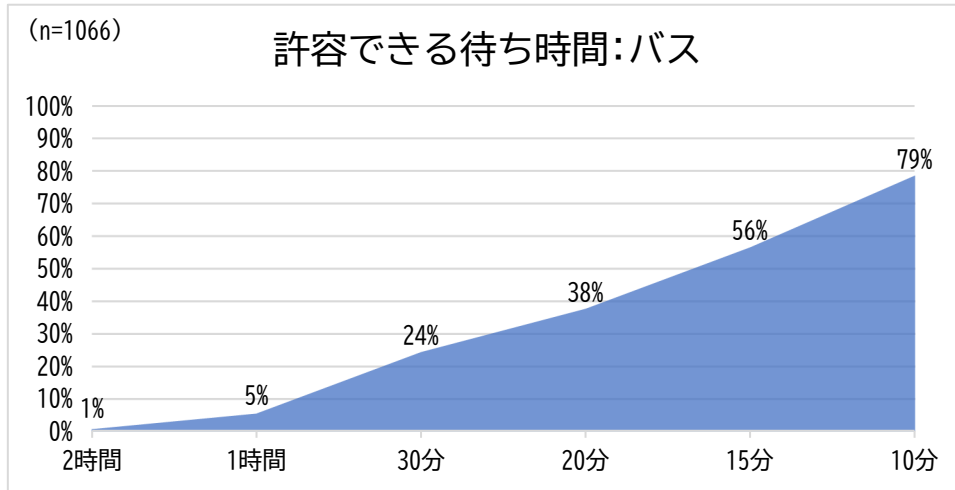
タクシーに対する自由意見は 99 件ありました。複数みられた意見を集計して示します。台数が少ないという意見や、夜の終業が早いという意見が多くみられました。



3. 9. バスを利用してよいと思う水準

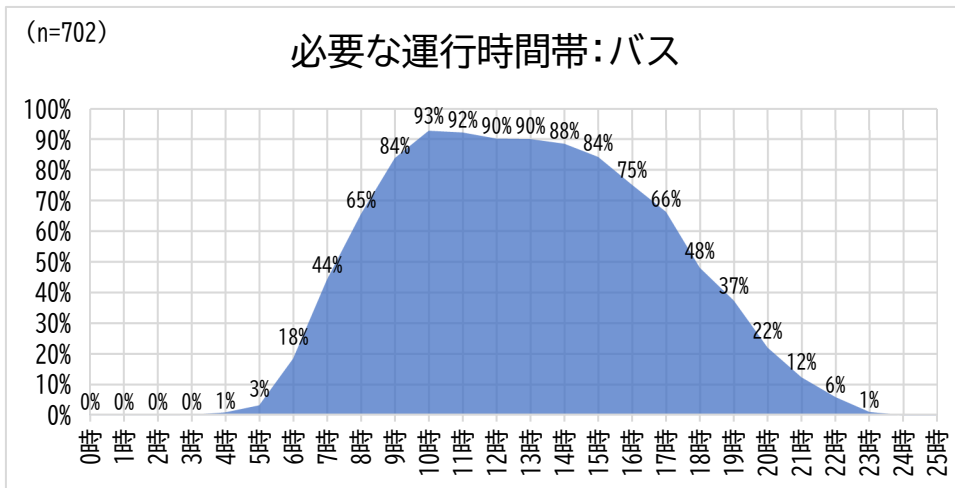
①許容できる待ち時間

バスに対して許容できる待ち時間は、回答者の約半数が待てるのは15分までとなりました。



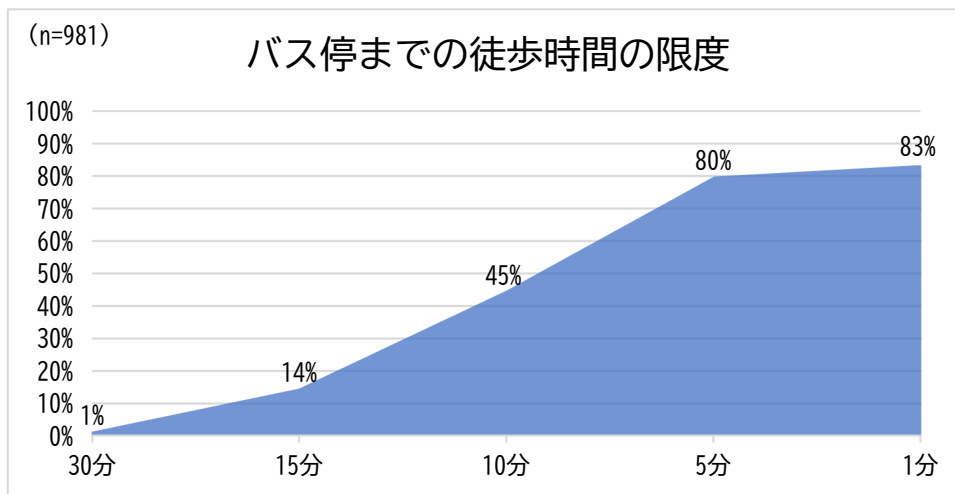
②必要な運行時間帯

バスの必要な運行時間帯は、回答者の約半数以上が必要と回答したのは8時から17時となりました。



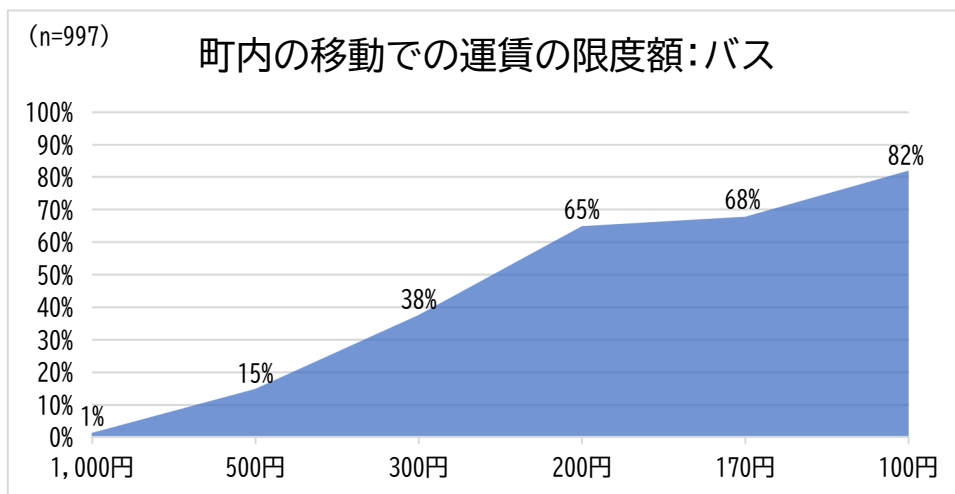
③バス停までの徒歩時間の限度

バス停までの徒歩時間の限度は、回答者の約半数が10分となりました。



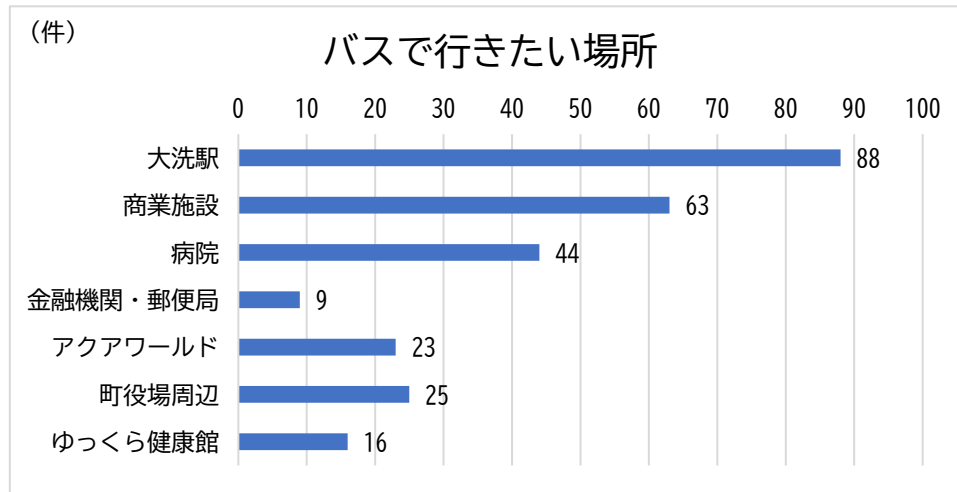
④町内の移動での運賃の限度額

町内の移動での運賃の限度額は、回答者の約半数以上が200円となりました。



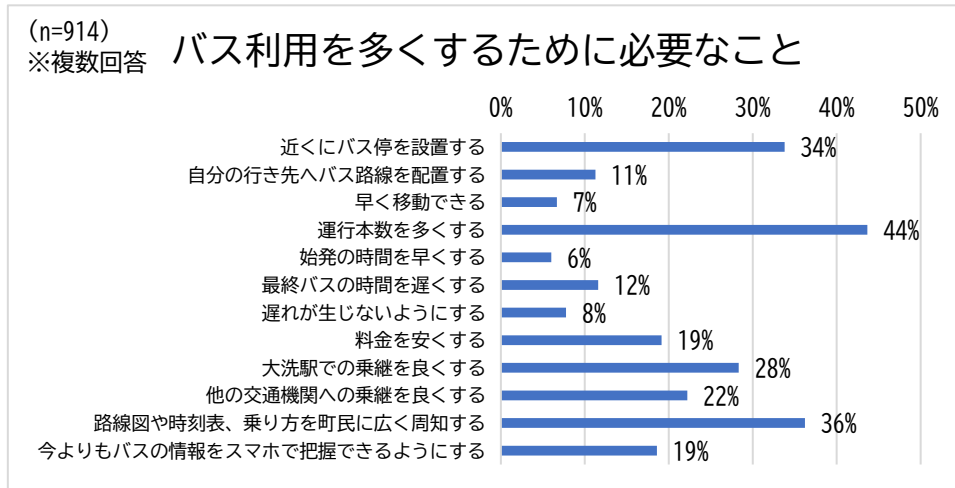
⑤バスで行きたい場所

バスで行きたい場所は、多かったものを集計すると、大洗駅が 88 件、商業施設が 63 件、病院が 44 件等となりました。



⑥バス利用を多くするために必要なこと

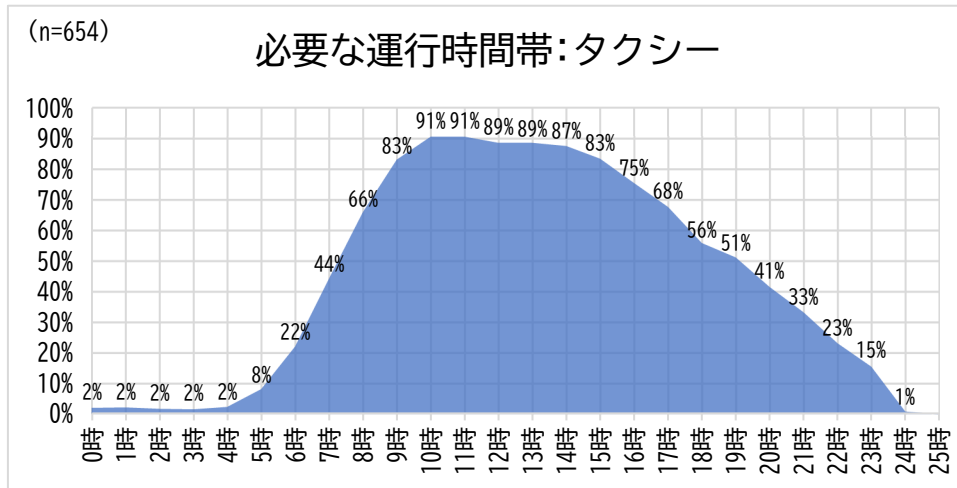
バス利用を多くするために必要なことは、「運行本数を多くする」「路線図や時刻表、乗り方を町民に広く周知する」「近くにバス停を設置する」「大洗駅での乗継を良くする」「他の交通機関への乗継を良くする」の回答が多くなっています。



3. 10. タクシーを利用してよいと思う水準

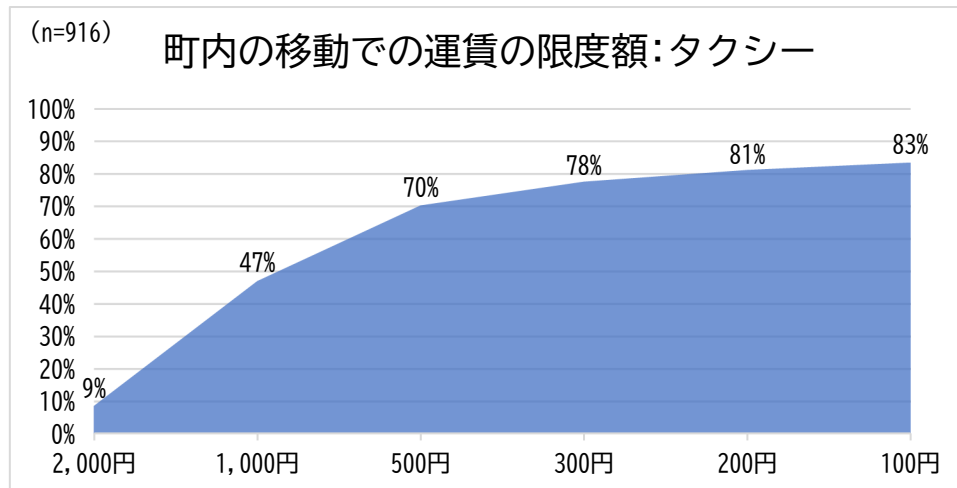
①必要な運行時間帯

タクシーの必要な運行時間帯は、回答者の約半数以上が必要と回答したのは8時から19 時となりました。



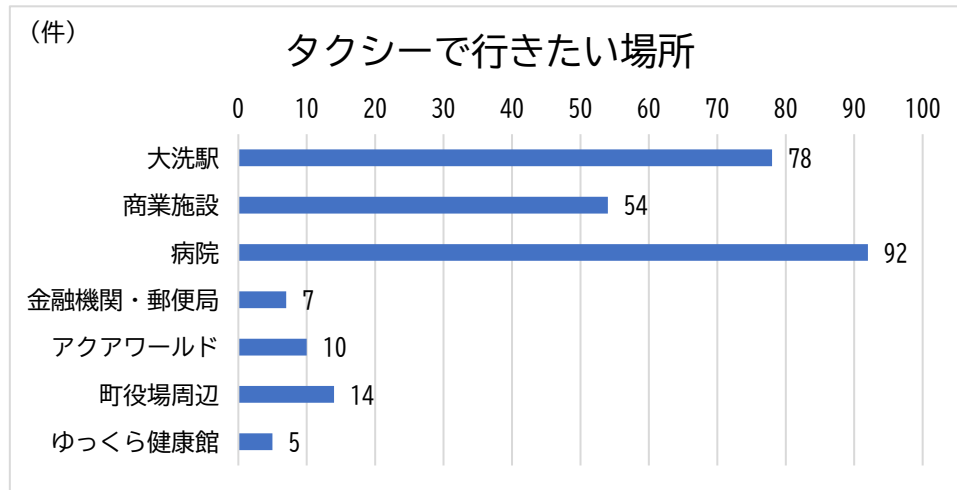
②町内の移動での運賃の限度額

町内の移動での運賃の限度額は、回答者の約半数が1,000円となりました。



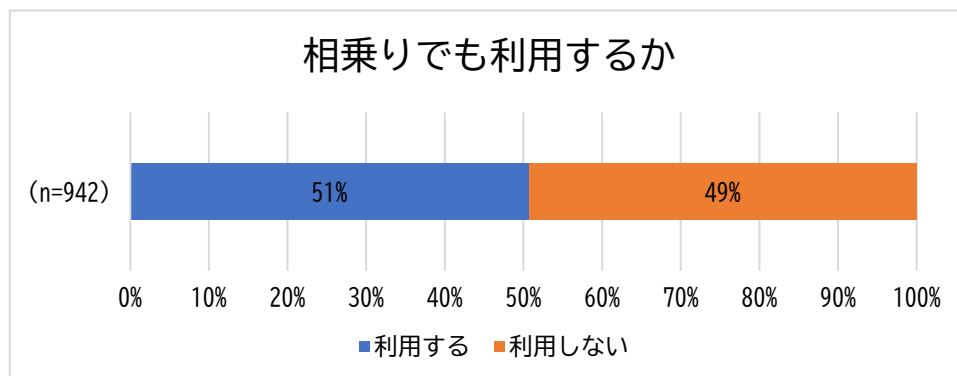
③タクシーで行きたい場所

タクシーで行きたい場所は、多かったものを集計すると、病院が92件、大洗駅が78件、商業施設が54件等となりました。



④相乗りでも利用するか

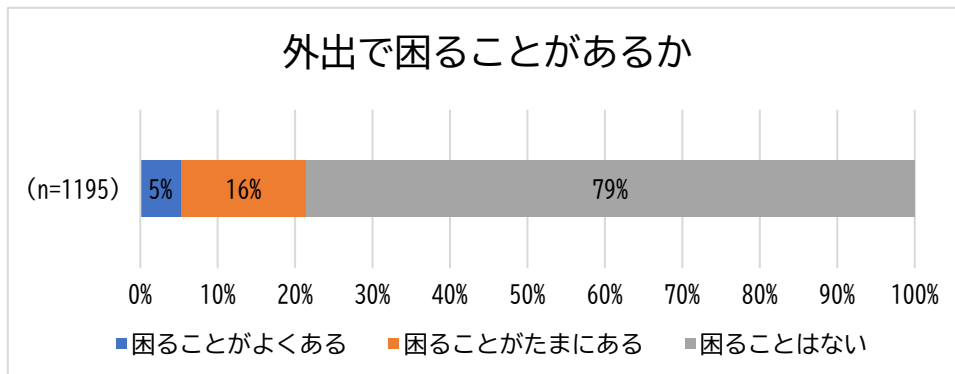
通常のタクシーより安価に移動できるなら、相乗りでも利用するかについては、回答者の51%が利用すると回答しました。



3. 1 1. 日常的な外出で困ること

①困ることがあるか

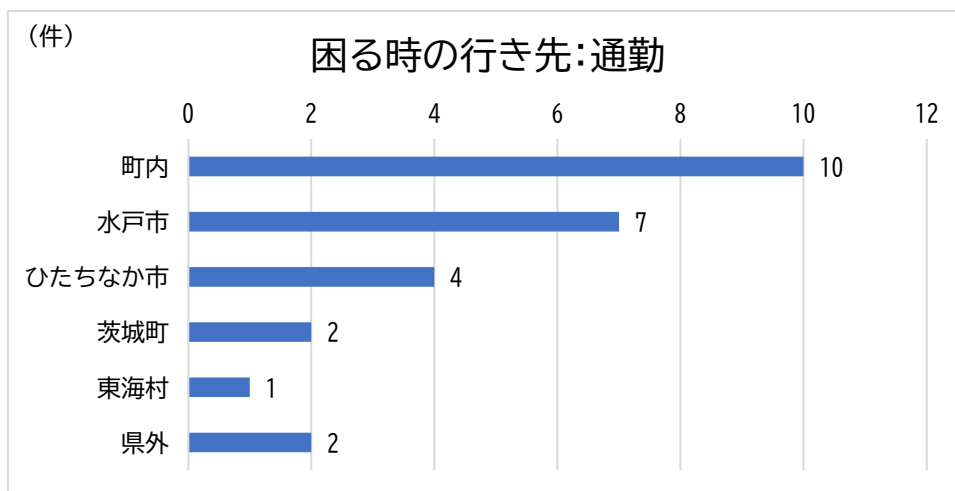
日常的な外出で困ることがあるかについては、困ることがよくある、たまにある回答者が 21%みられます。



②困る時の行き先

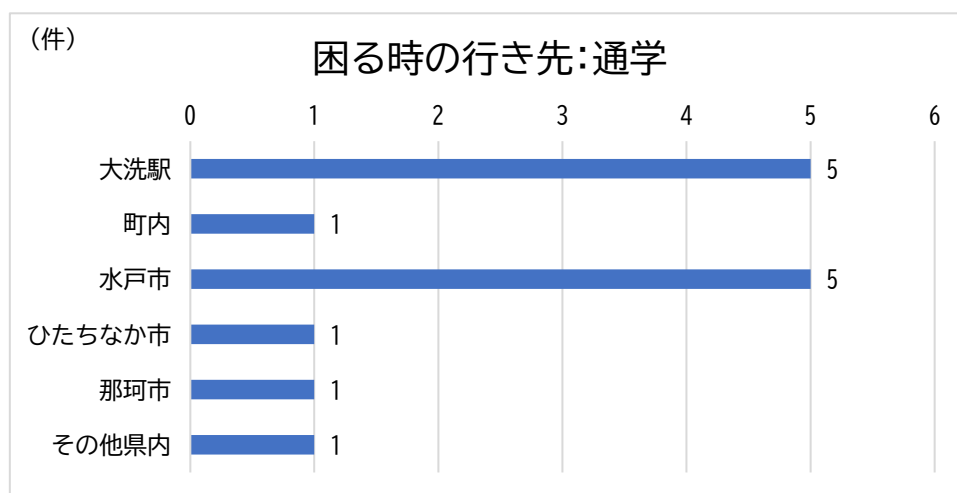
I. 通勤

通勤について困る時の行き先は、町内が 10 件、水戸市が 7 件等となっています。



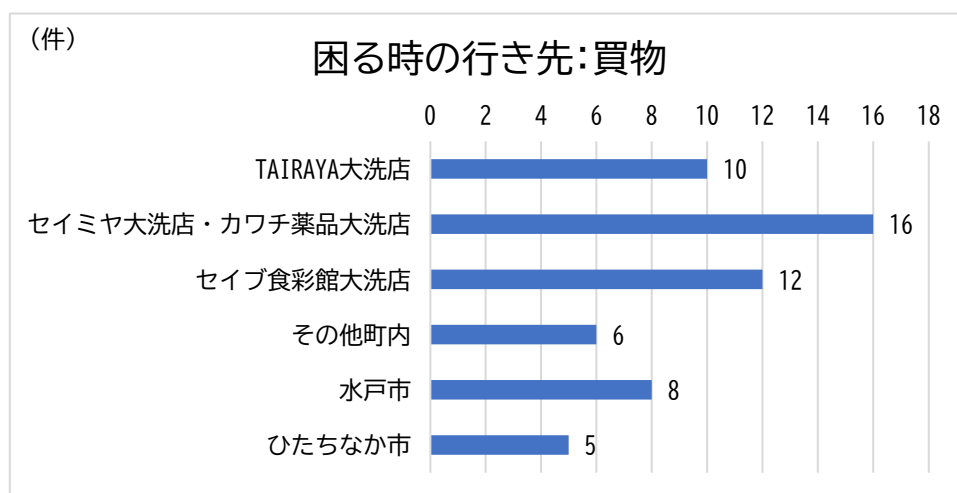
II. 通学

通学について困る時の行き先は、大洗駅が5件、水戸市が5件等となっています。



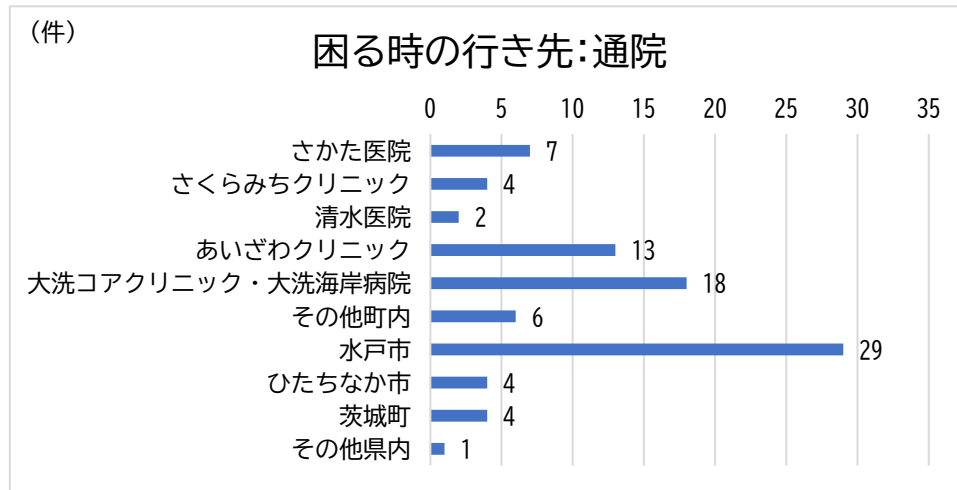
III. 買物

買物について困る時の行き先は、セイミヤ大洗店・カワチ薬品大洗店が16件、セイブ食彩館大洗店が12件、TAIRAYA大洗店が10件等となっています。



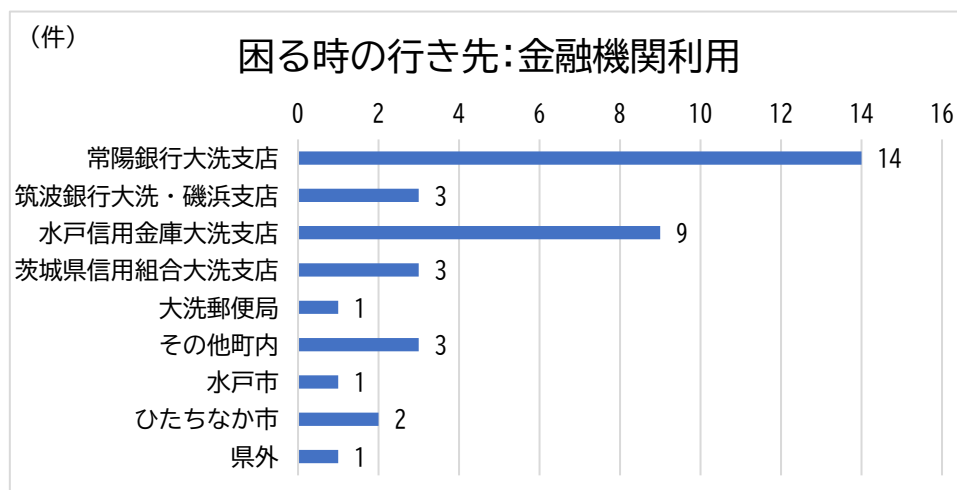
IV. 通院

通院について困る時の行き先は、水戸市が 29 件、大洗コアクリニック・大洗海岸病院が 18 件、あいざわクリニックが 13 件等となっています。



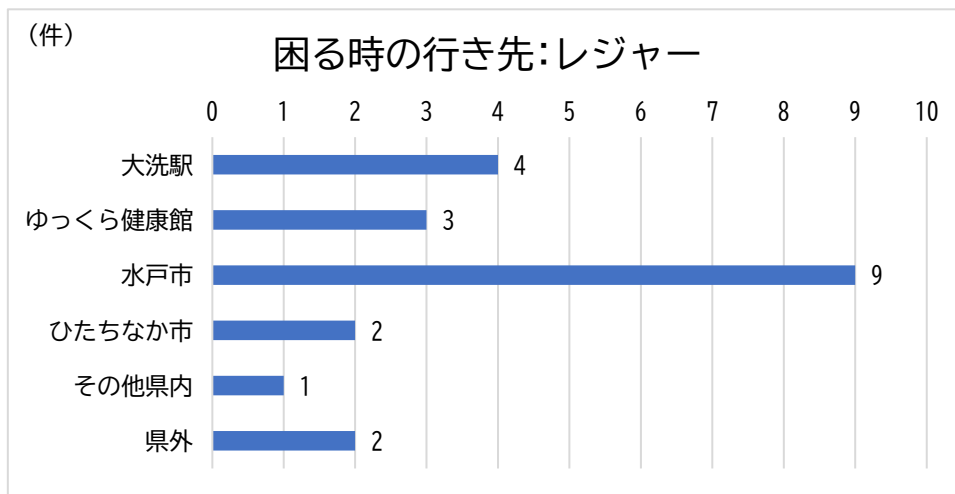
V. 金融機関利用

金融機関利用について困る時の行き先は、常陽銀行大洗支店が 14 件、水戸信用金庫大洗支店が 9 件等となっています。



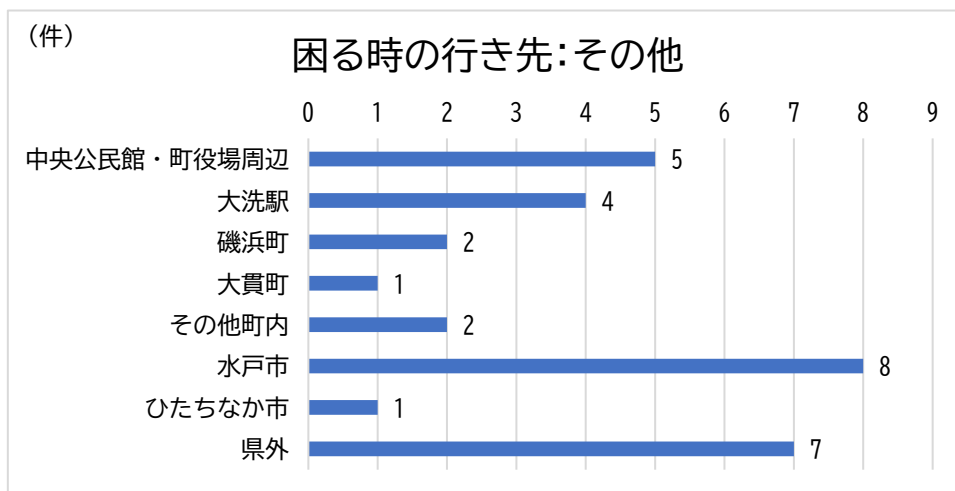
VI. レジャー

レジャーについて困る時の行き先は、水戸市が9件、大洗駅が4件等となっています。



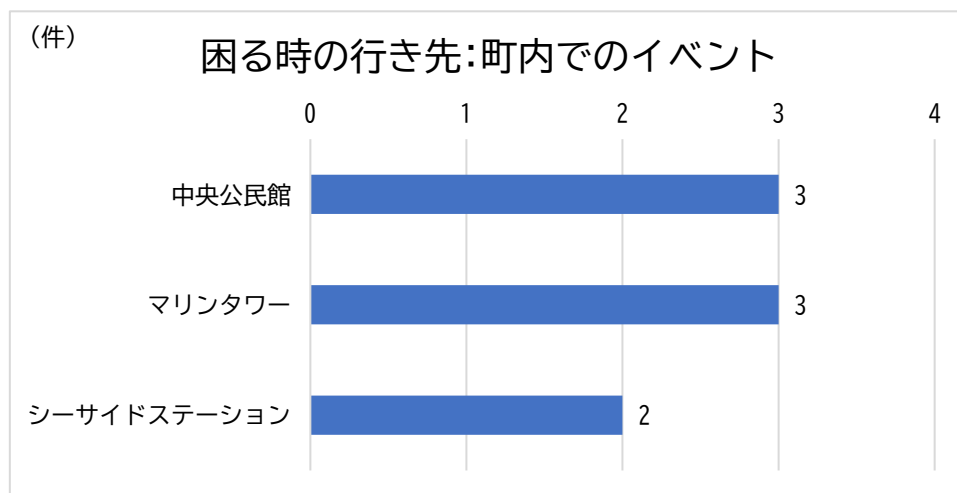
VII. その他

その他について困る時の行き先は、水戸市が8件、県外が7件等となっています。



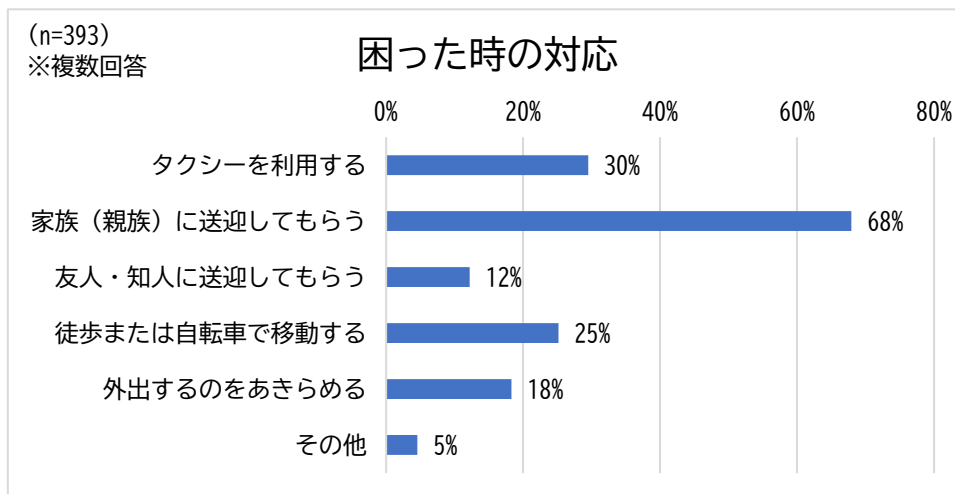
Ⅷ. 町内でのイベント

町内でのイベントについて困る時の行き先は、中央公民館が 3 件、マリントワーが 3 件等となっています。



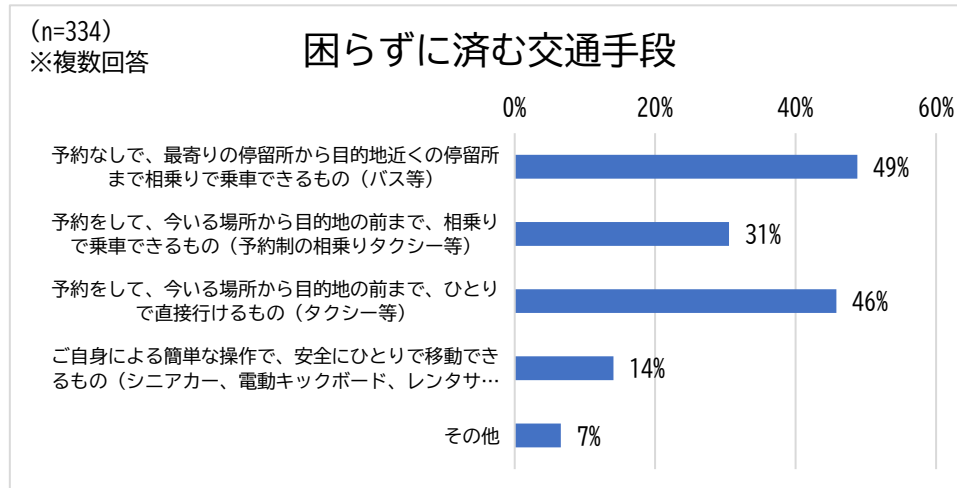
③困った時の対応

困った時の対応は、家族(親族)に送迎してもらうという回答が68%と最も多くなっています。



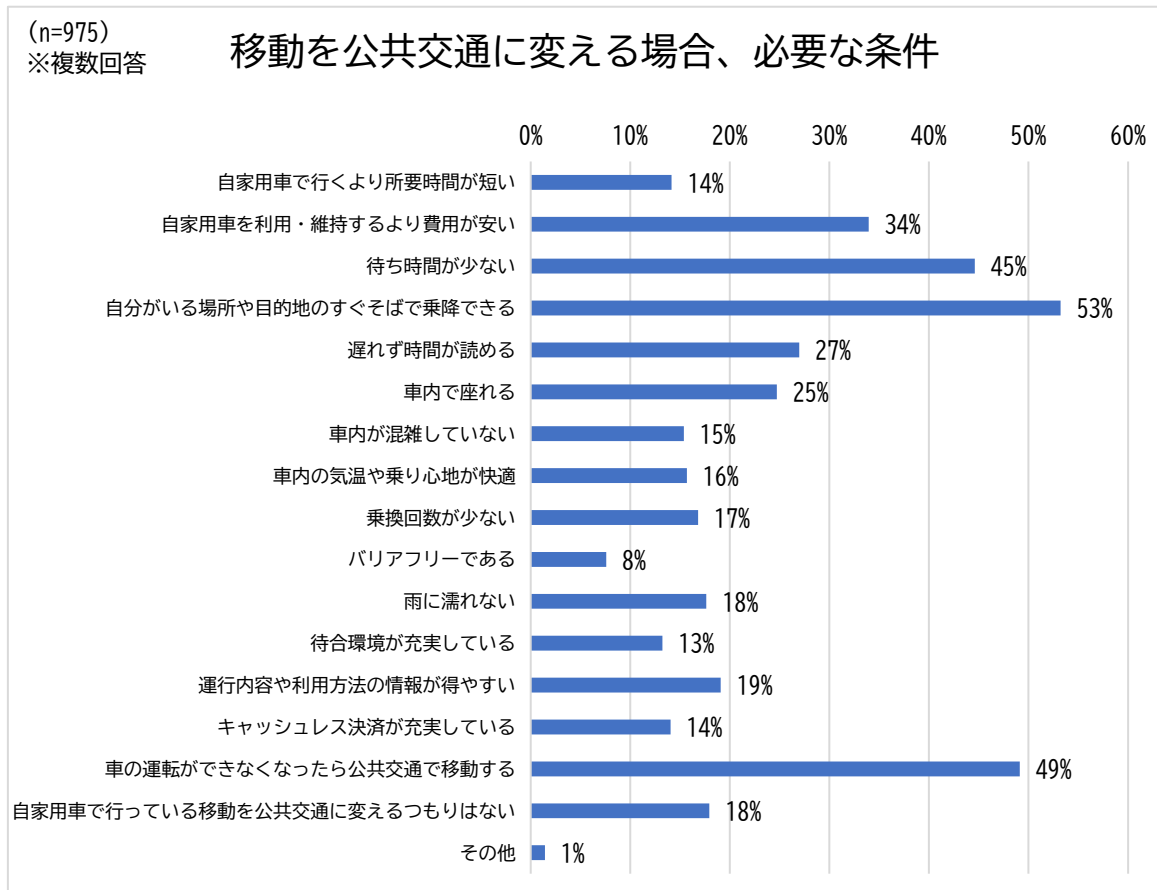
④ 困らずに済む交通手段

適切なサービス水準で運行されていれば困らずに済む交通手段は、「予約なしで、最寄りの停留所から目的地近くの停留所まで相乗りで乗車できるもの(バス等)」が 49%と最も多くなっています。



3. 1 2. 移動を公共交通に変える場合、必要な条件

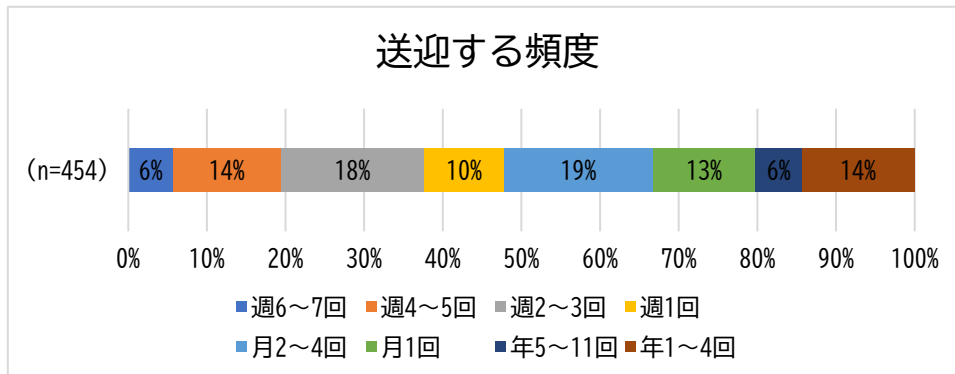
自家用車でやっている移動を公共交通に変える場合に必要な条件は、「自分がいる場所や目的地のすぐそばで乗降できる」「車の運転ができなくなったら公共交通で移動する」「待ち時間が少ない」「自家用車を利用・維持するより費用が安い」が多くなっています。



3. 13. 送迎

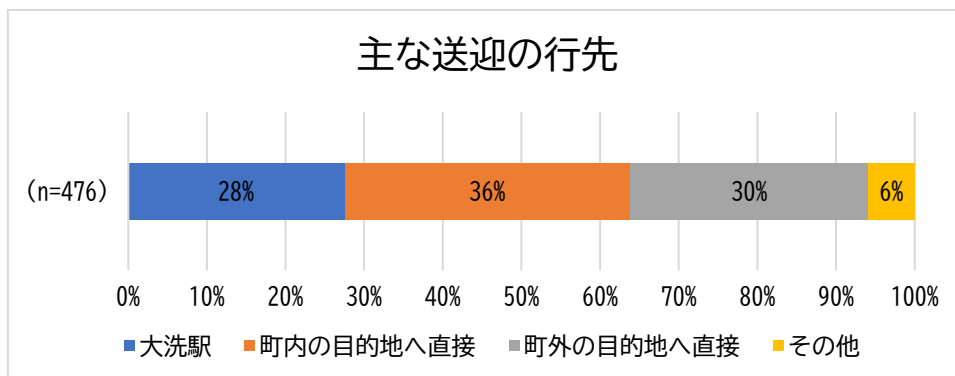
①送迎する頻度

送迎する頻度は、週1回以上送迎している回答者が約半数みられます。



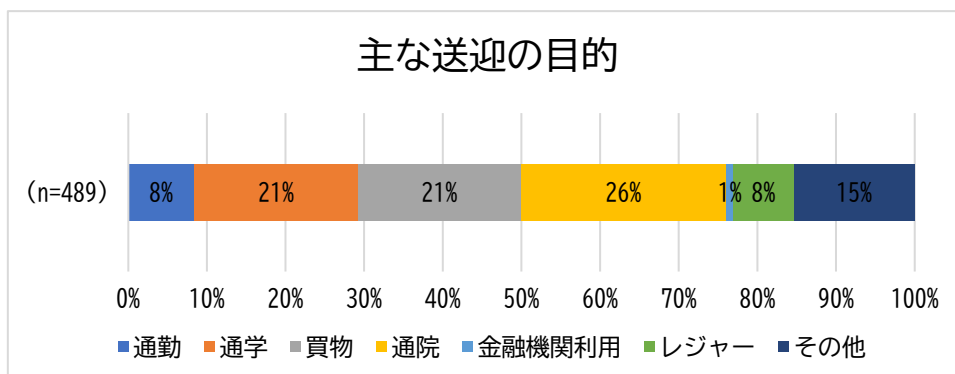
②主な送迎の行先

主な送迎の行先は、町内の目的地に直接送迎するという回答が36%と最も多くなっています。



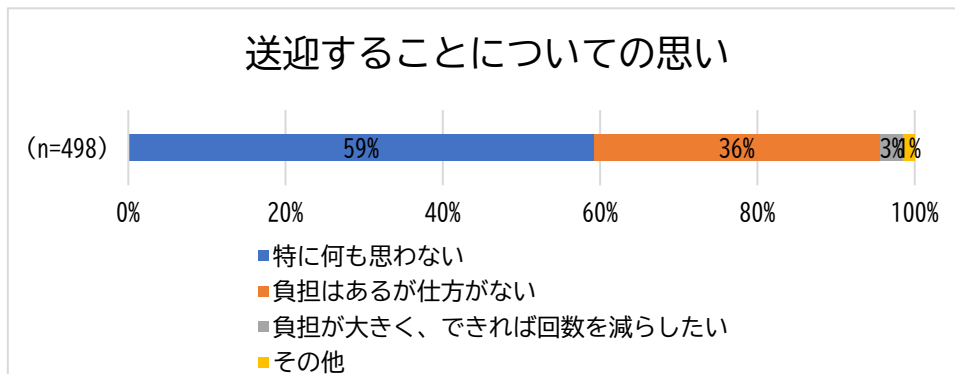
③主な送迎の目的

主な送迎の目的は、通院が26%と最も多くなっています。



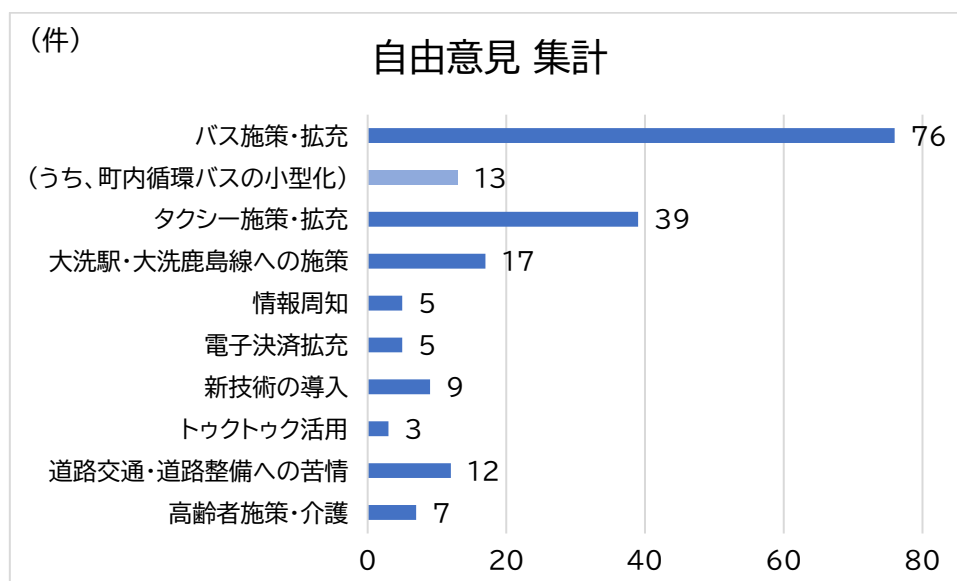
④送迎することについての思い

送迎することについての思いは、特に何も思わないという回答が59%と最も多くなっています。

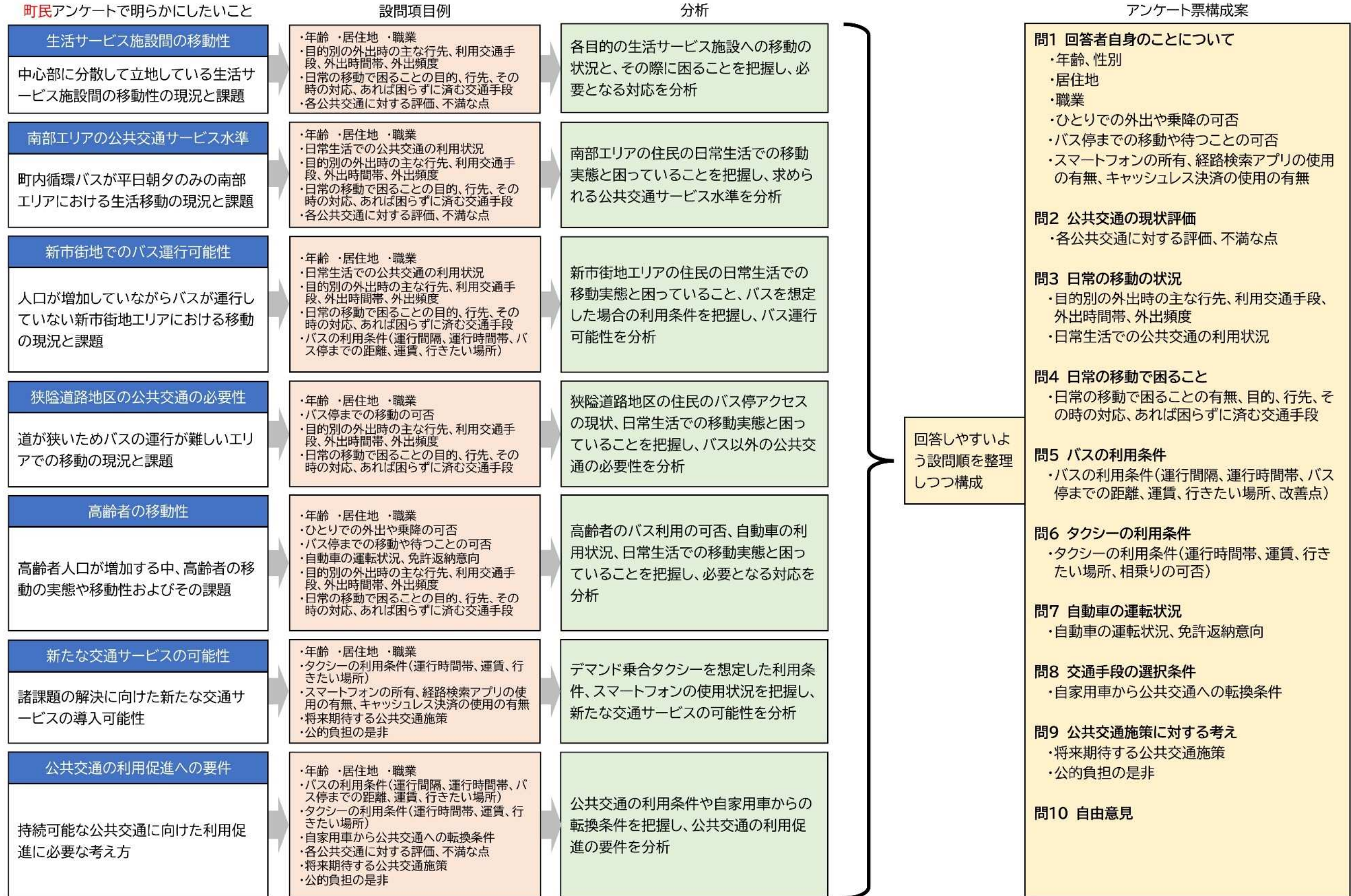


3. 14. 自由意見

自由意見のうち主なものを集計して示します。バスに関する施策や拡充を求める意見が76件と最も多く、次いでタクシーに関する施策・拡充を求める意見が39件と多くなっています。



4. アンケートから把握する事項（事前に設定した事項）



5. 町民アンケートから把握できる特性

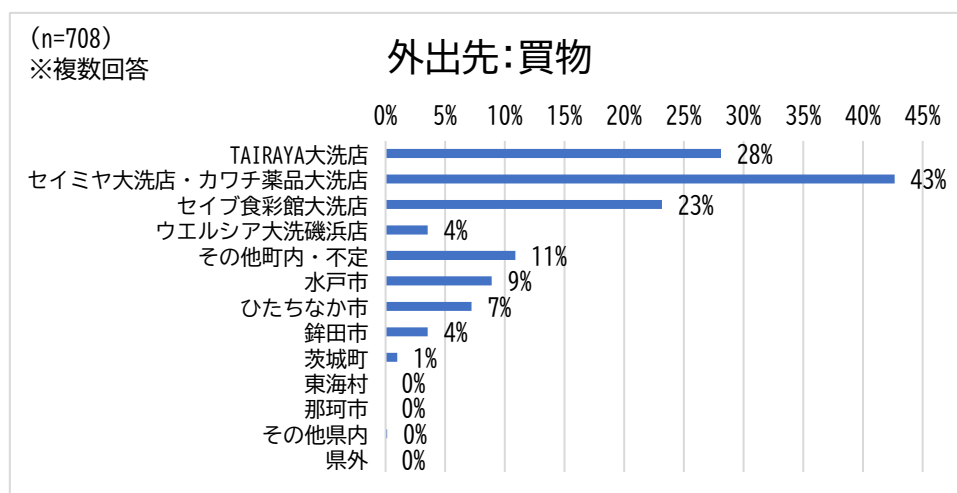
5. 1. 生活サービス施設間の移動性

町民が日常生活で訪れる生活サービス施設は、下図のとおりです。

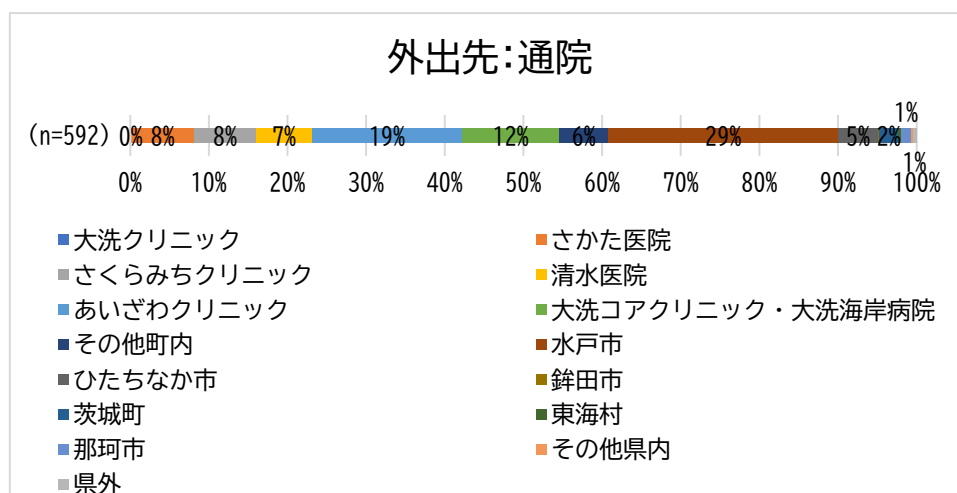
これらの生活サービス施設は、近くにバス停があり、バスで訪れることができる施設ばかりではありません。また、バスがあったとしても路線が限られ、町内各地から訪れることができるとは限りません。

住宅地とこれらの施設を結ぶ、公共交通を確保することが、町民の生活利便性につながります。

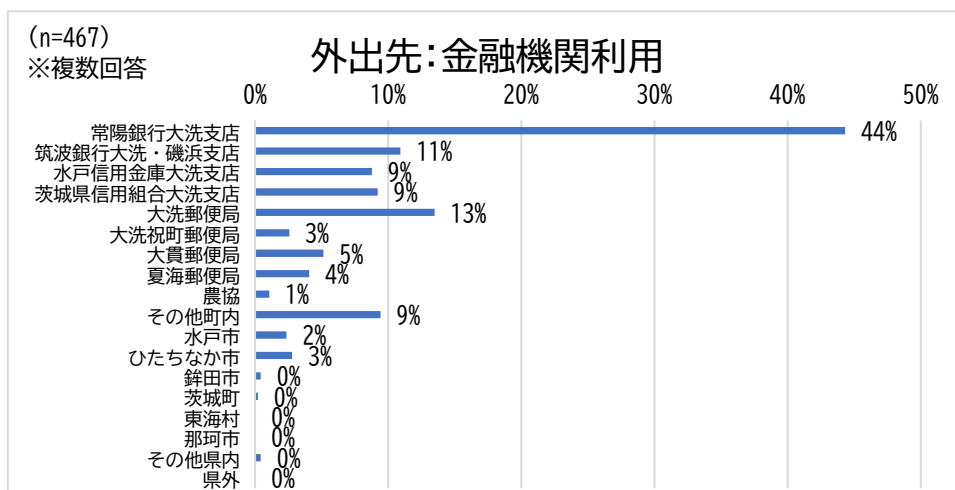
<買物先>



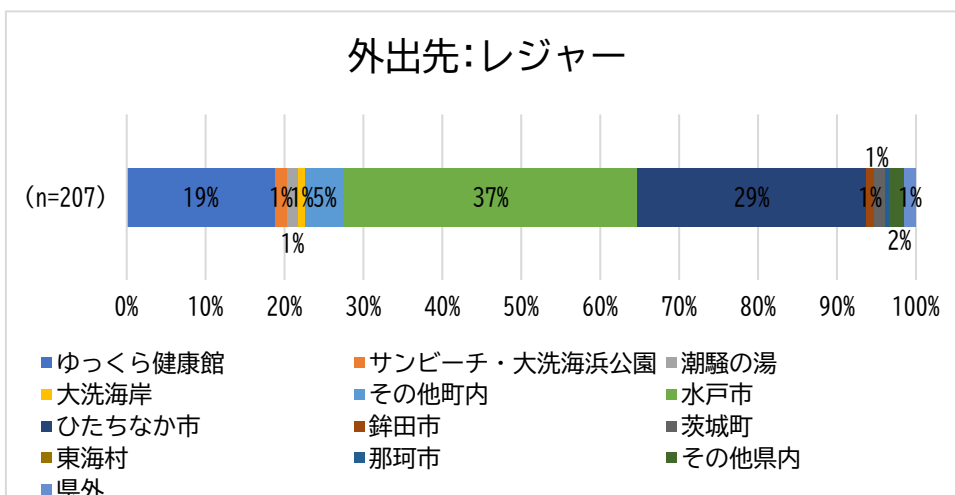
<通院先>



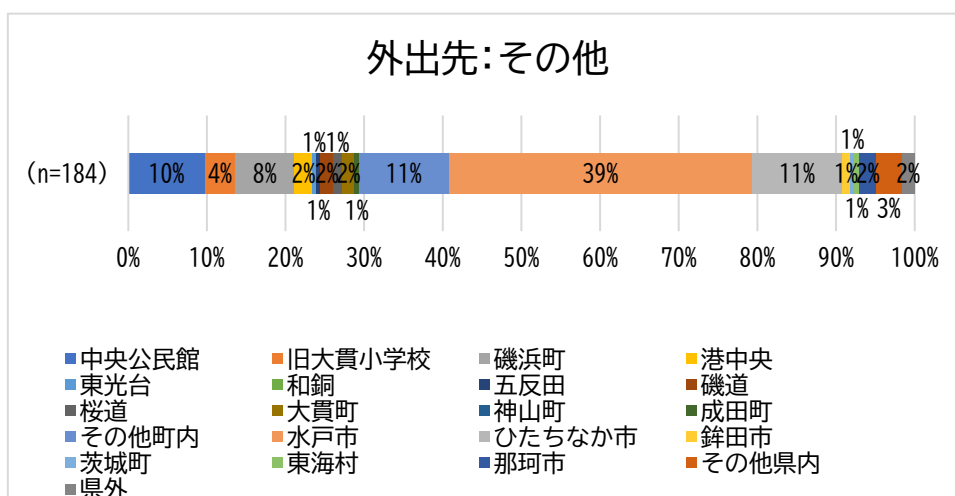
<訪れる金融機関>



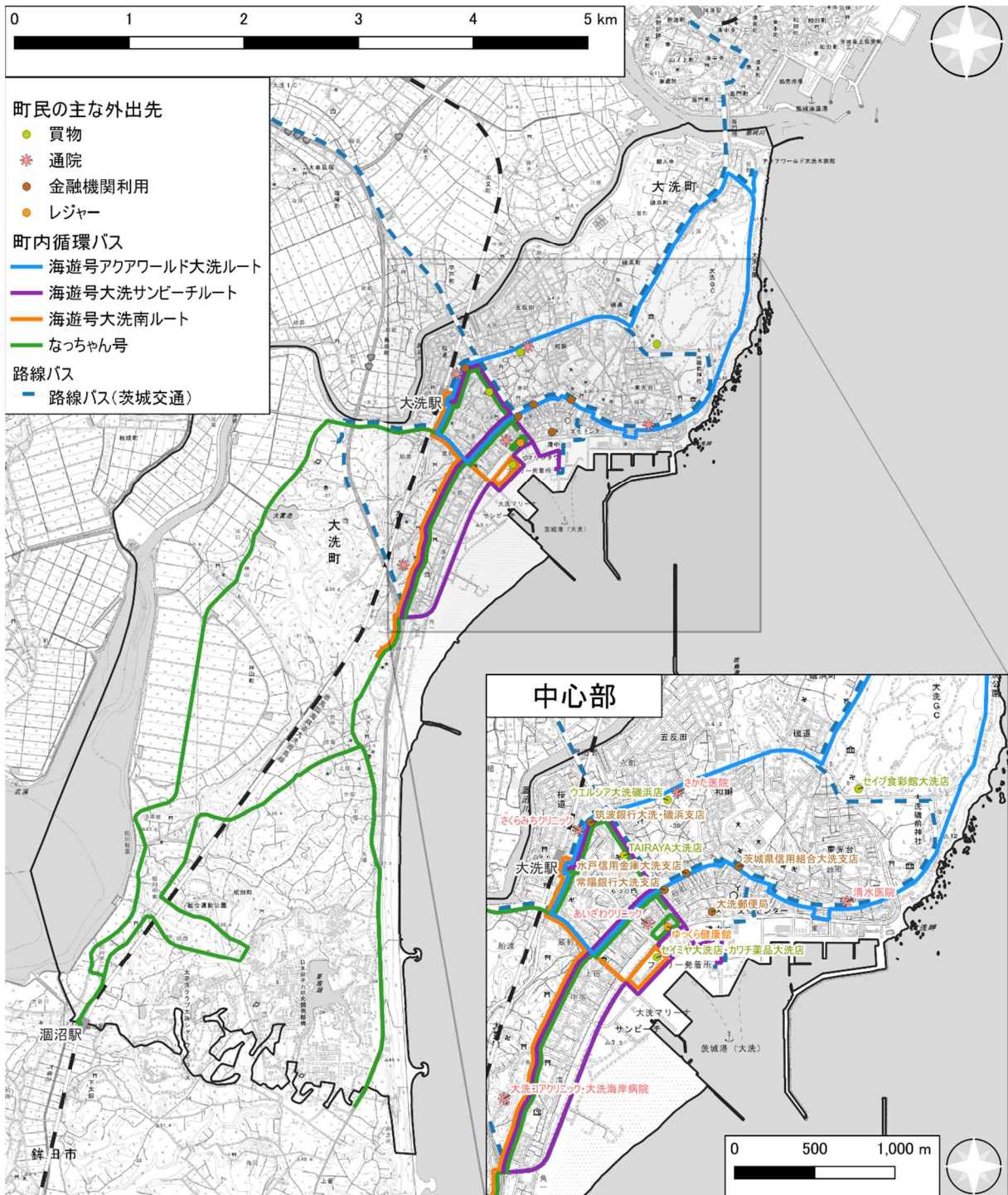
<レジャーの行先>



<その他の行先>



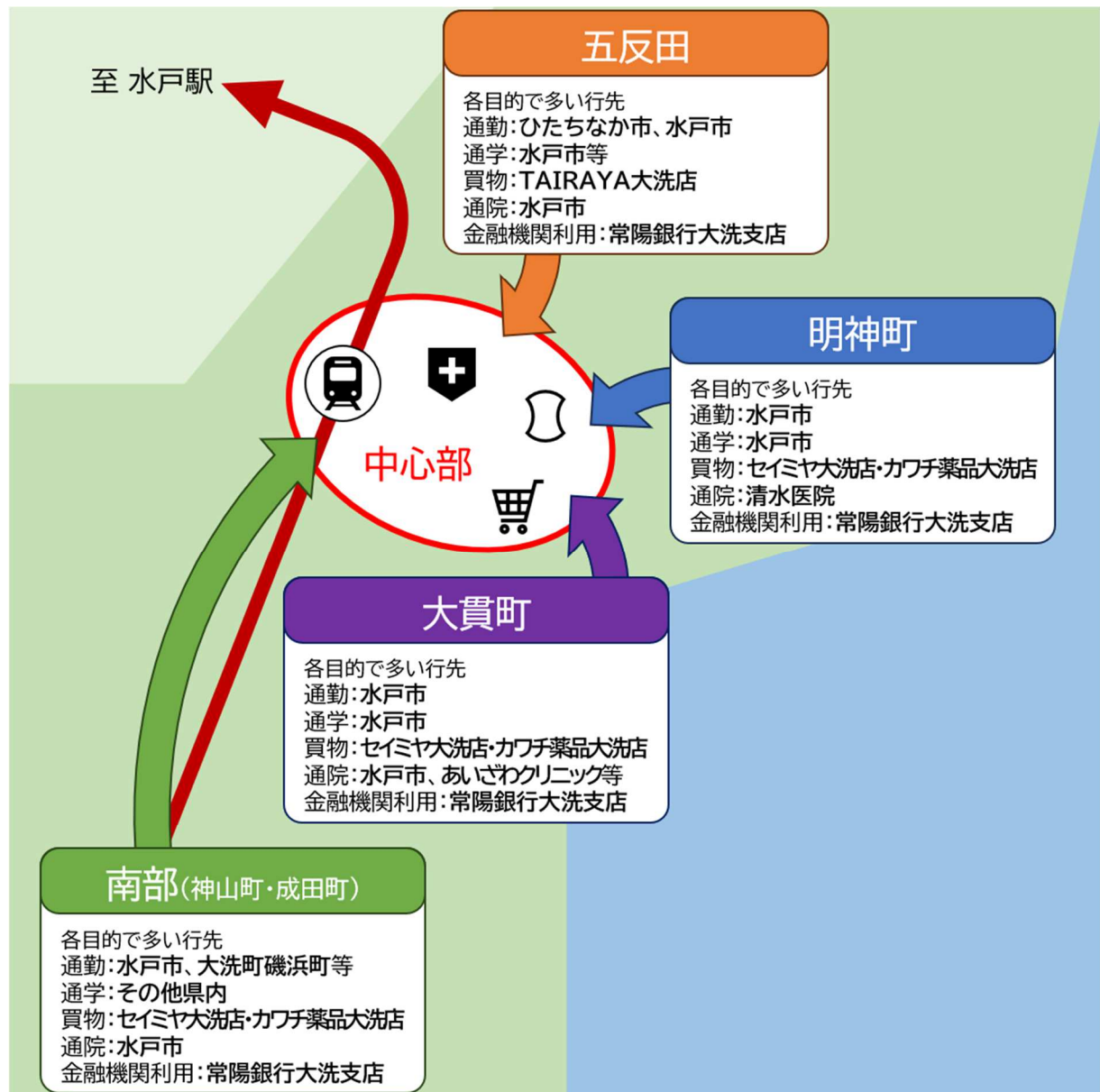
<バス路線と生活サービス施設の位置>



また、課題のある地区として、バスの通っていない新市街地である五反田、道が狭隘でバスの乗り入れが難しい明神町、高齢化率の高い大貫町、人口密度が低く高齢化率の高い南部をピックアップし、各地区別に行きたい場所のニーズをみると、下図のとおりとなります。

いずれも大洗駅周辺の市街地(中心部)にある生活サービス施設へのニーズが高くなっています。

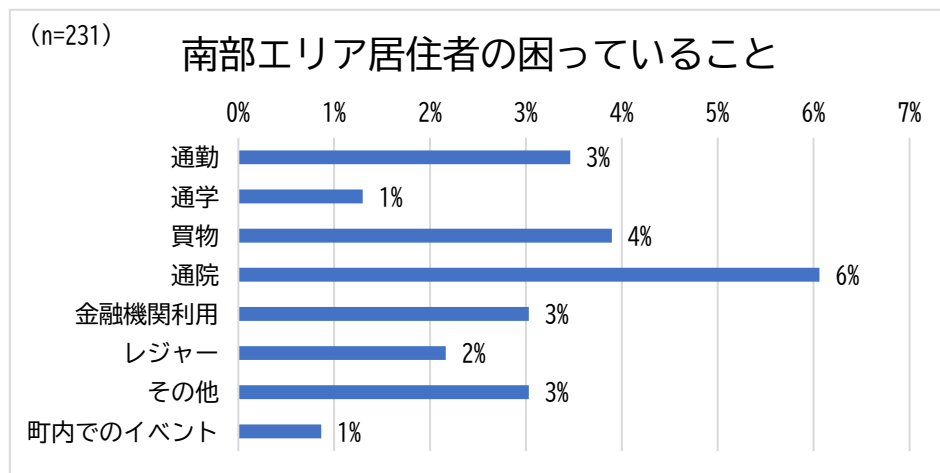
<課題のある各地区のニーズ>



5. 2. 南部エリアの交通サービス水準

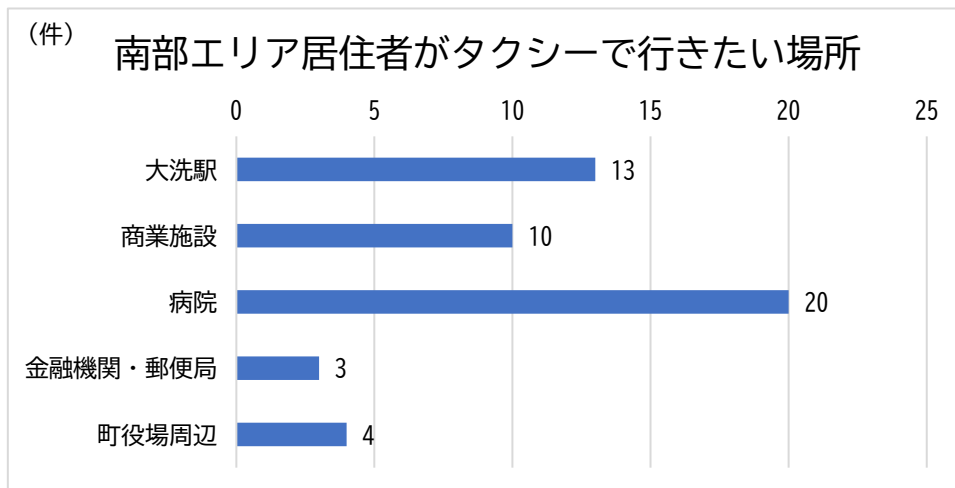
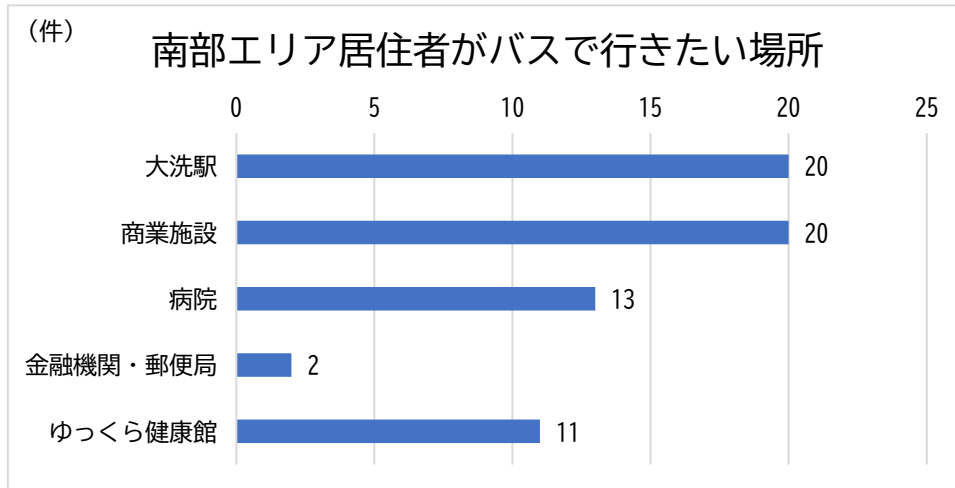
(1) 南部エリア居住者の困っていること

人口密度が低く高齢化率が高い、南部エリア(神山町・成田町)居住者が日常的な外出で困っていることを集計すると下図のとおりとなります。通院、買物、通勤、金融機関利用、その他が多くなっています。したがって、南部エリアと、病院、スーパー、駅、銀行といった生活サービス施設を結ぶ交通機関が求められます。



(2) 南部エリア居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所

南部エリア居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所を集計すると、バスについては大洗駅や商業施設、タクシーについては病院が多くなっています。目的や行先に適した公共交通を配置することが考えられます。



(3) サービス水準のニーズ

適切なサービス水準で効率的に公共交通を運行するため、サービス水準のニーズについて全町的な集計結果と南部エリア居住者の集計結果を比較します。

まずバスについて見てみます。

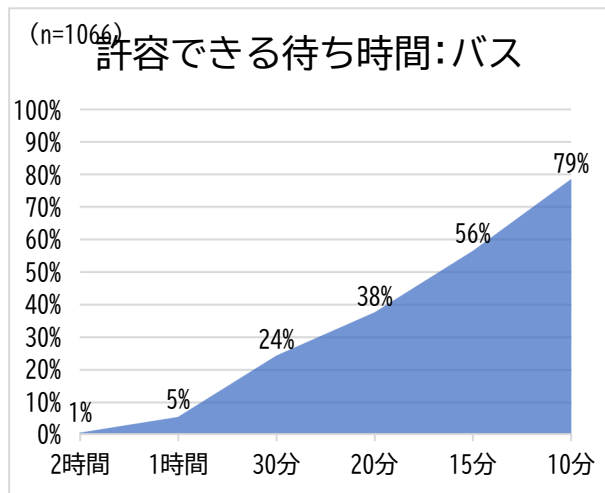
許容できる待ち時間は、南部エリア居住者の方が長い傾向がみられます。

必要な運行時間帯は、南部エリア居住者の方が終了時間帯が早い傾向がみられます。

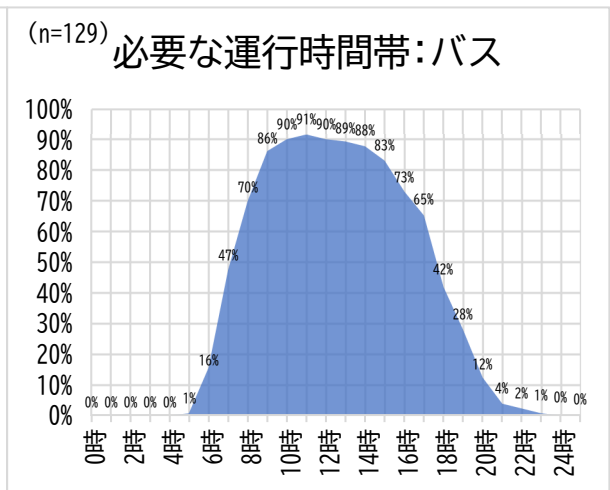
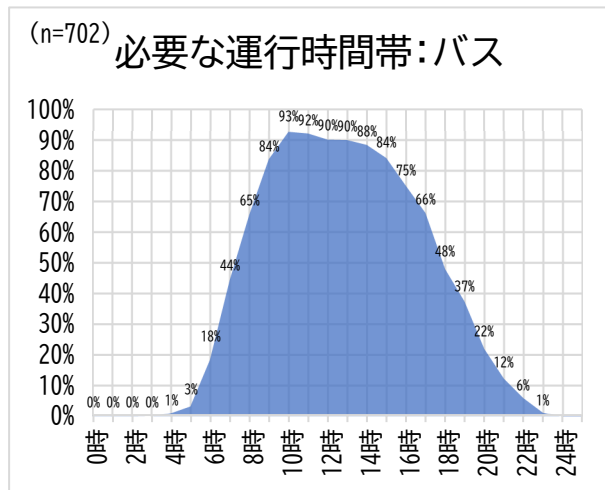
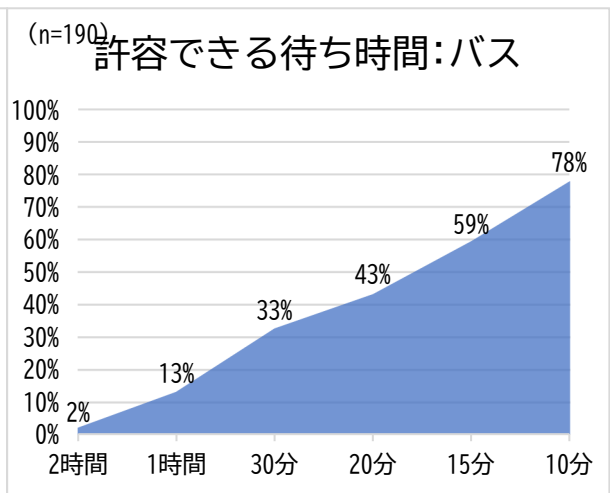
バス停までの徒歩時間の限度は、同程度です。

町内の移動での運賃の限度額は、南部エリア居住者の方が高い傾向がみられます。

<全町的なサービス水準>

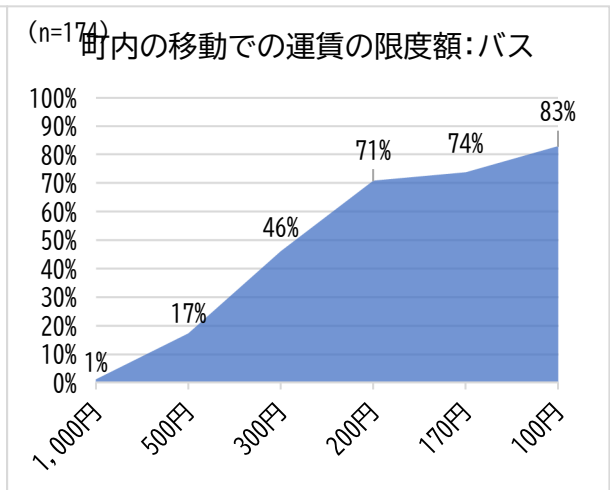
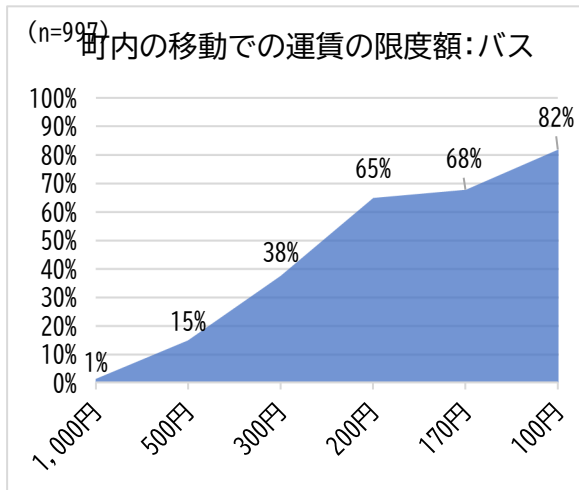
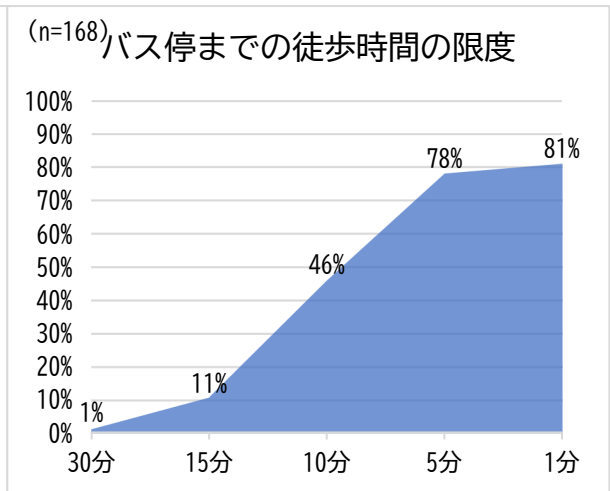
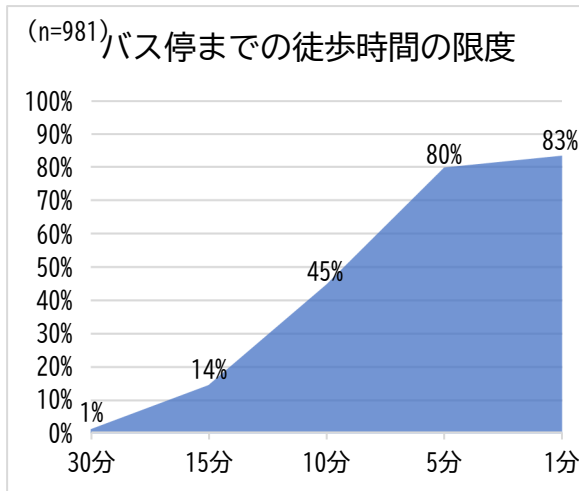


<南部エリアのサービス水準>



<全町的なサービス水準>

<南部エリアのサービス水準>



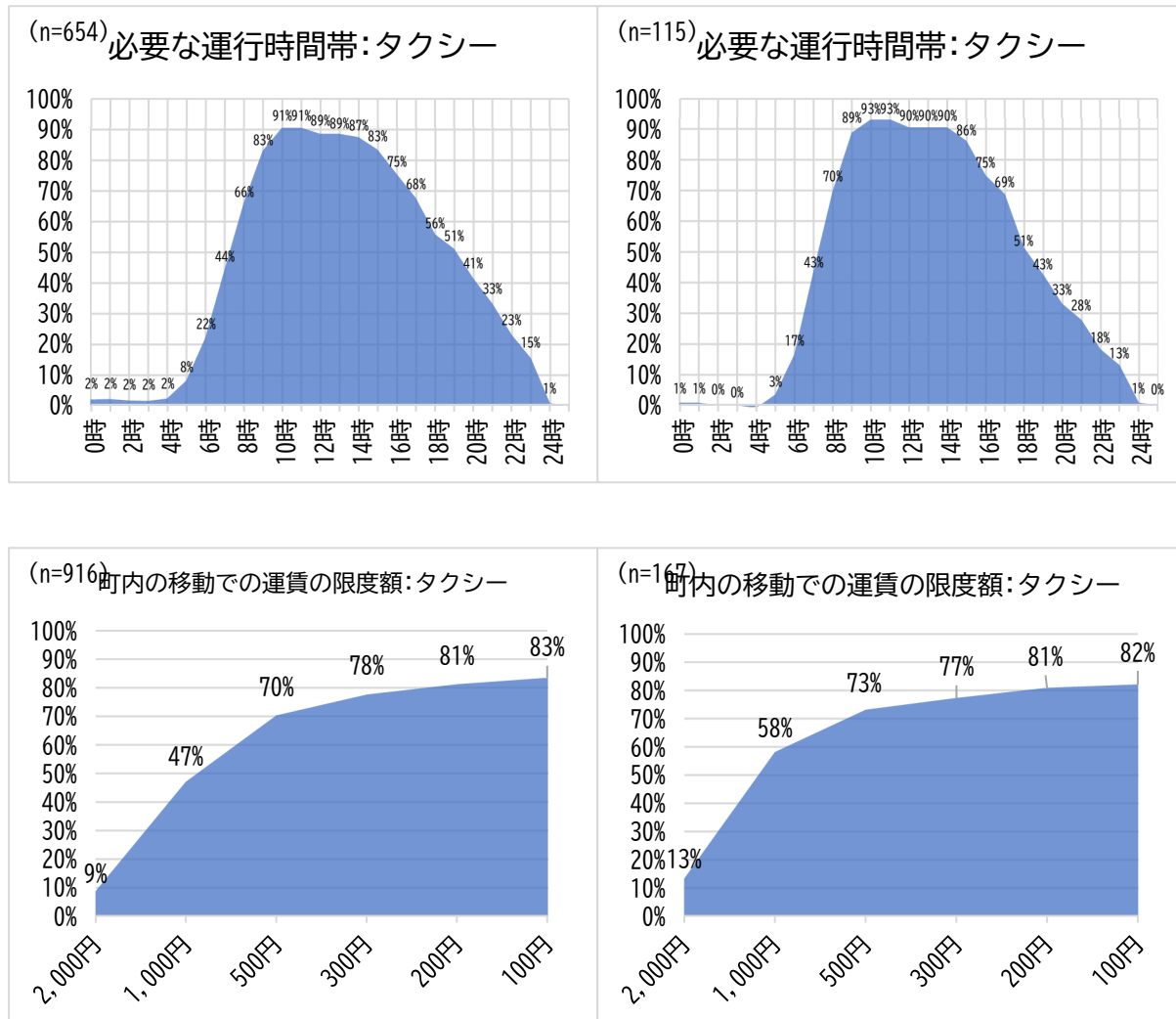
続いてタクシーについて見てみます。

必要な運行時間帯は、南部エリア居住者の方が終了時間帯が早い傾向がみられます。

町内の移動での運賃の限度額は、南部エリア居住者の方が高い傾向がみられます。

<全町的なサービス水準>

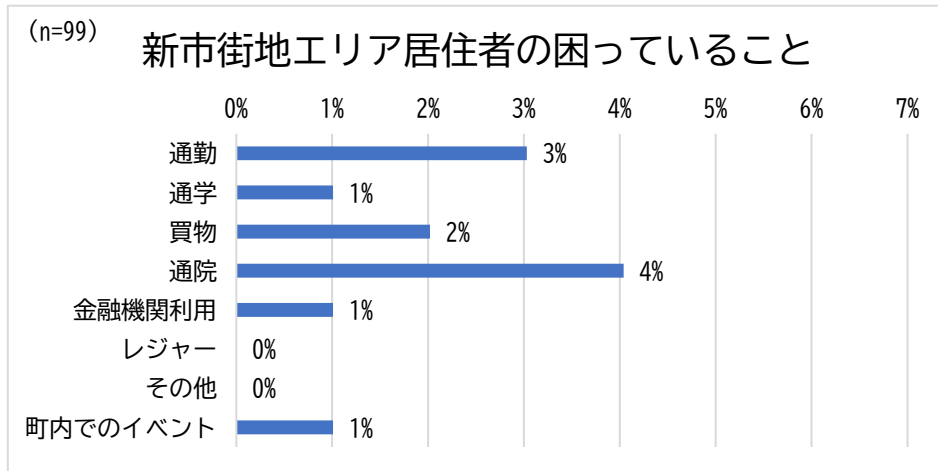
<南部エリアのサービス水準>



5. 3. 新市街地でのバスの運行可能性

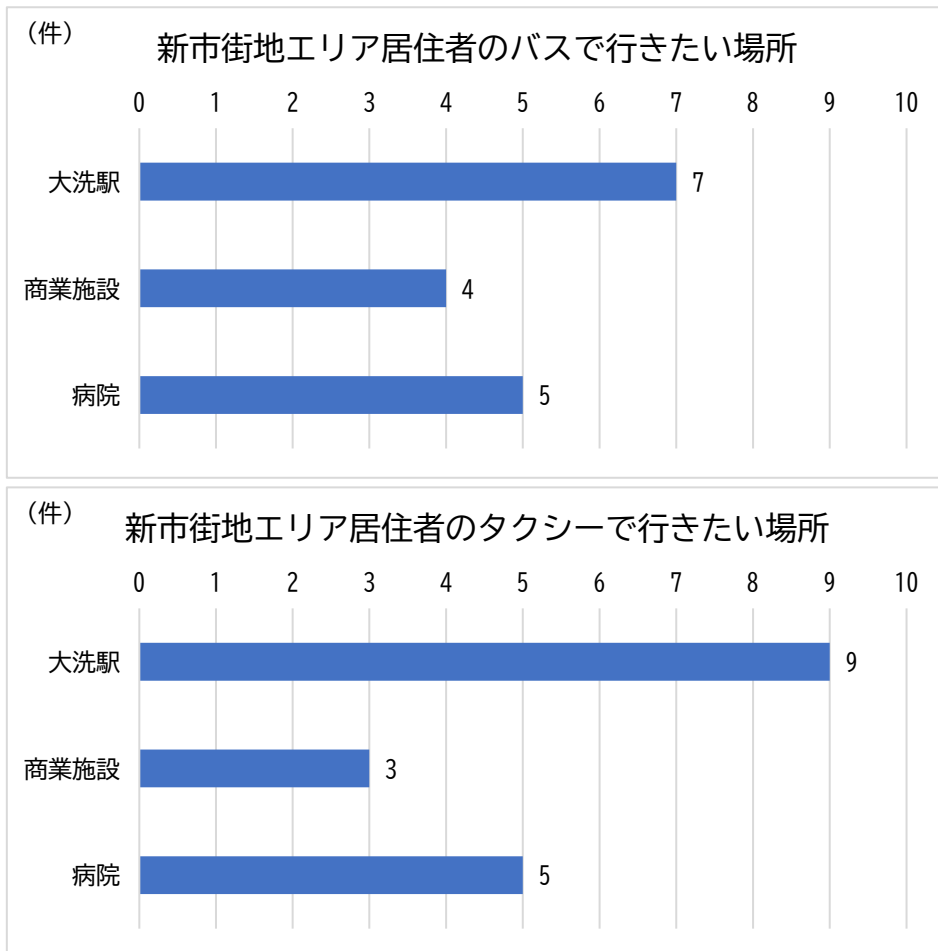
(1) 新市街地エリア居住者の困っていること

人口が増加傾向にあり現在バスが通っていない、新市街地エリア(五反田)居住者が日常的な外出で困っていることを集計すると下図のとおりです。通院や通勤といった回答がみられます。



(2) 新市街地エリア居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所

新市街地エリア居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所を集計すると、いずれも大洗駅が多くなっています。新市街地エリアから大洗駅に行くことのできる交通機関の配置が考えられます。



(3) サービス水準のニーズ

適切なサービス水準で効率的に公共交通を運行するため、サービス水準のニーズについて全町的な集計結果と新市街地エリア居住者の集計結果を比較します。

まずバスについて見てみます。

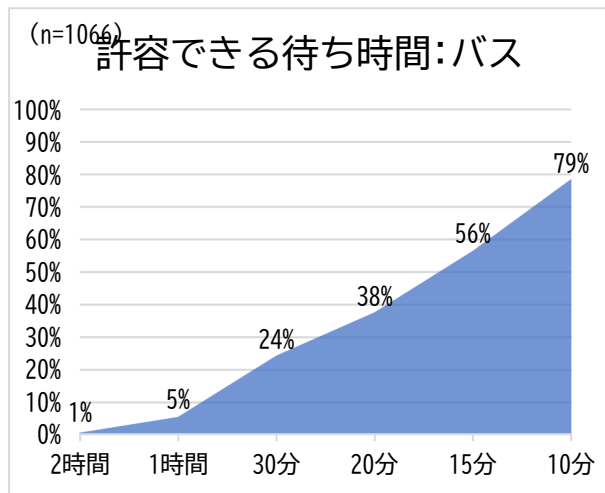
許容できる待ち時間は、新市街地エリア居住者の方が長い傾向がみられます。

必要な運行時間帯は、同程度です。

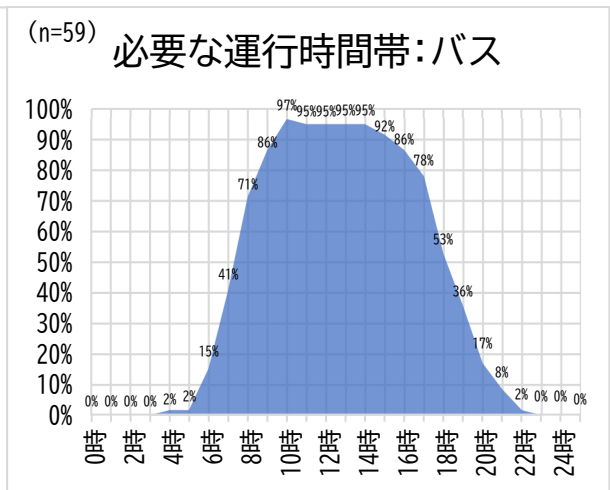
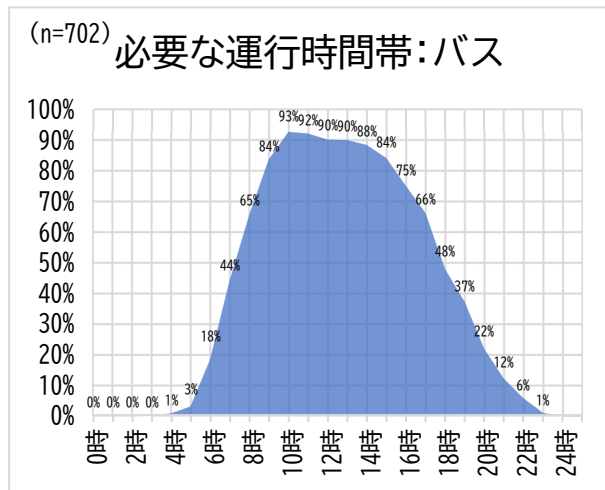
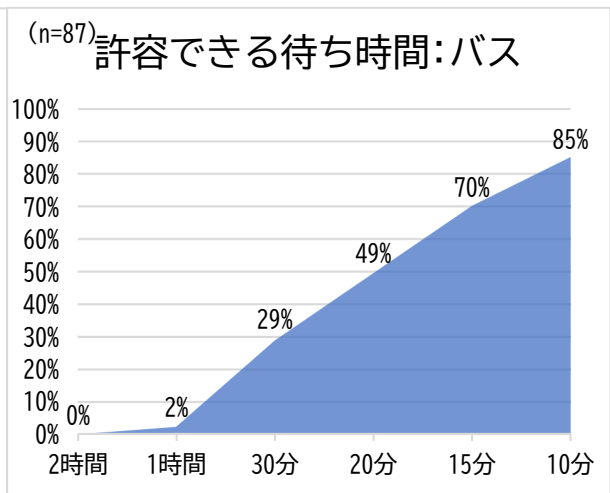
バス停までの徒歩時間の限度は、新市街地エリア居住者の方が長い傾向がみられます。

町内の移動での運賃の限度額は、同程度です。

<全町的なサービス水準>

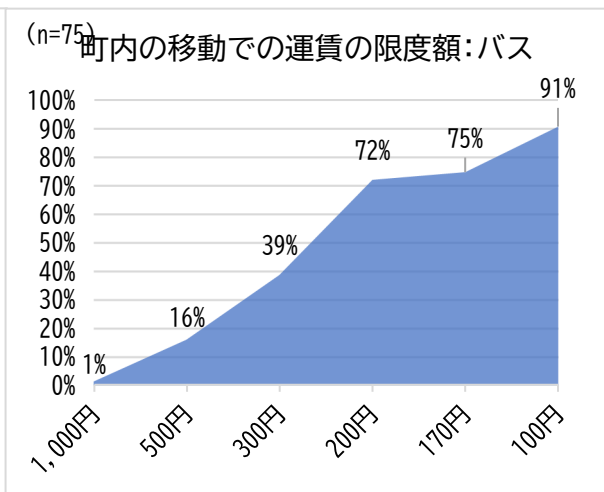
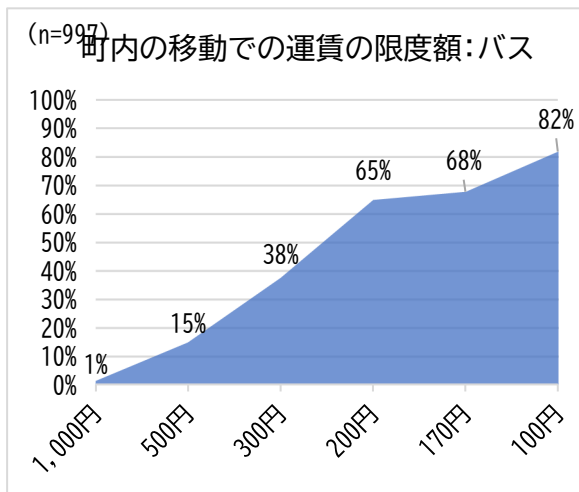
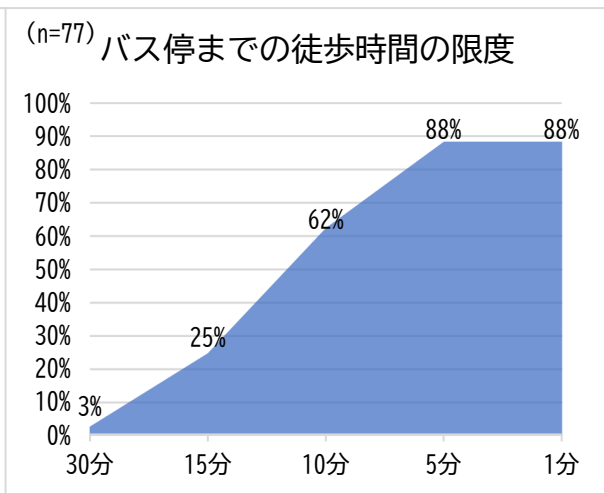
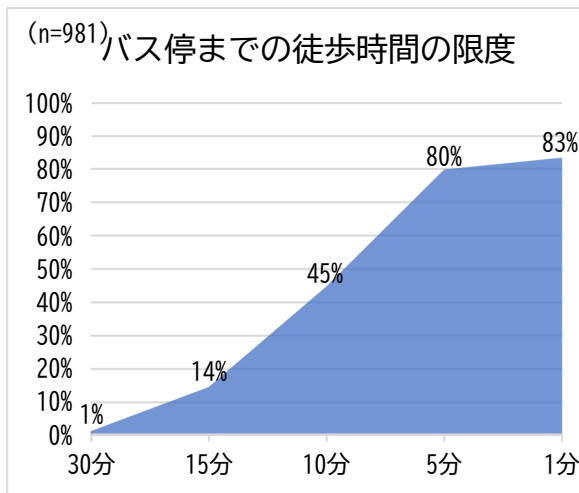


<新市街地エリアのサービス水準>



<全町的なサービス水準>

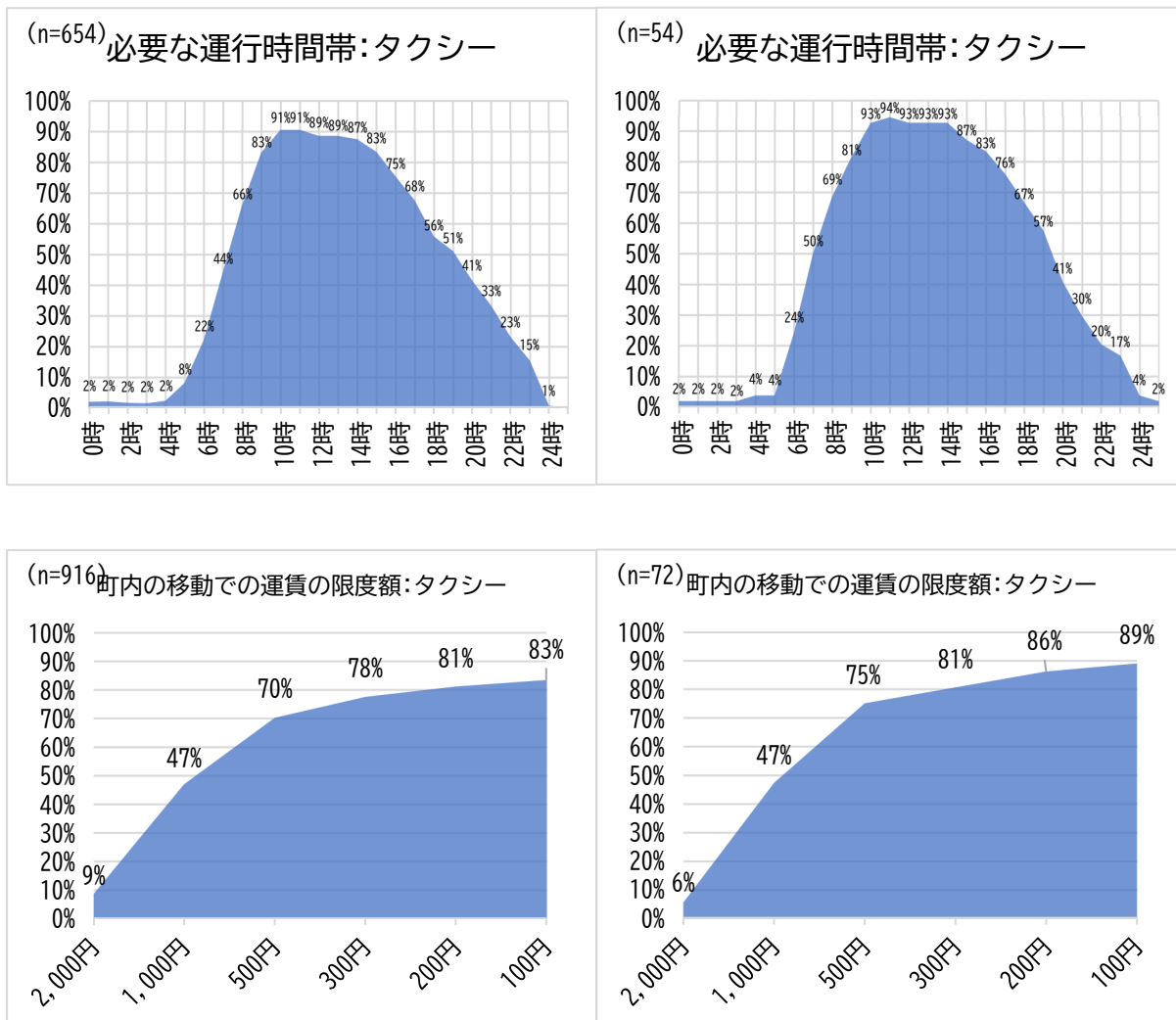
<新市街地エリアのサービス水準>



続いてタクシーについて見てみます。
 必要な運行時間帯は、同程度です。
 町内の移動での運賃の限度額は、同程度です。

<全町的なサービス水準>

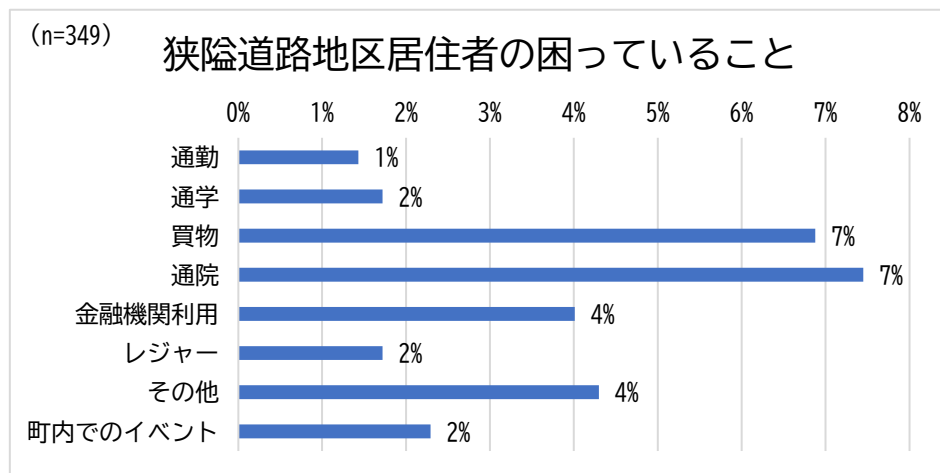
<新市街地エリアのサービス水準>



5. 4. 狭隘道路地区での公共交通の必要性

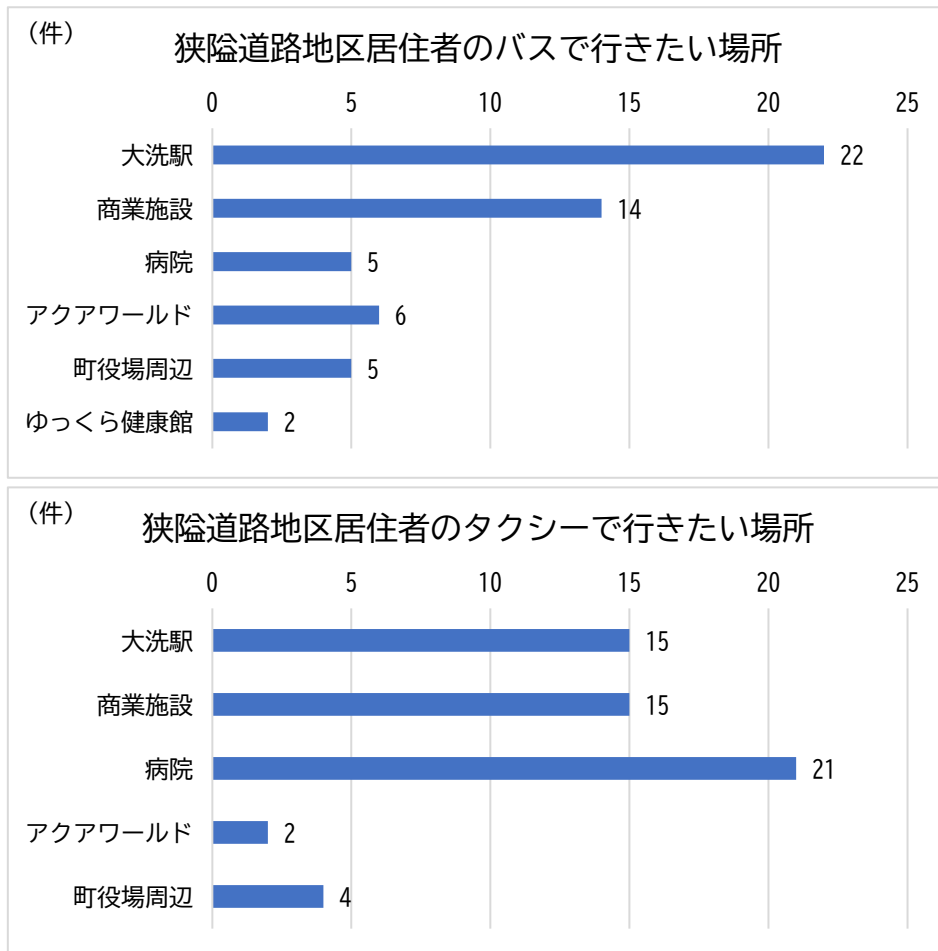
(1) 狭隘道路地区居住者の困っていること

道が狭隘なためバスの運行が難しい、狭隘道路地区の居住者(住んでいる地区の道幅が「バスが入れないほど狭い」と回答した回答者)が日常的な外出で困っていることを集計すると下図のとおりです。通院、買物、その他、金融機関利用が多くなっています。したがって、狭隘道路地区と、病院、スーパー、銀行といった生活サービス施設を結ぶことが求められます。



(2) 狭隘道路地区居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所

狭隘道路地区居住者がバスで行きたい場所・タクシーで行きたい場所を集計すると、バスについては大洗駅や商業施設、タクシーについては病院や大洗駅、商業施設が多くなっています。目的や行先に適した公共交通を配置することが考えられます。



(3) サービス水準のニーズ

適切なサービス水準で効率的に公共交通を運行するため、サービス水準のニーズについて全町的な集計結果と狹隘道路地区居住者の集計結果を比較します。

まずバスについて見てみます。

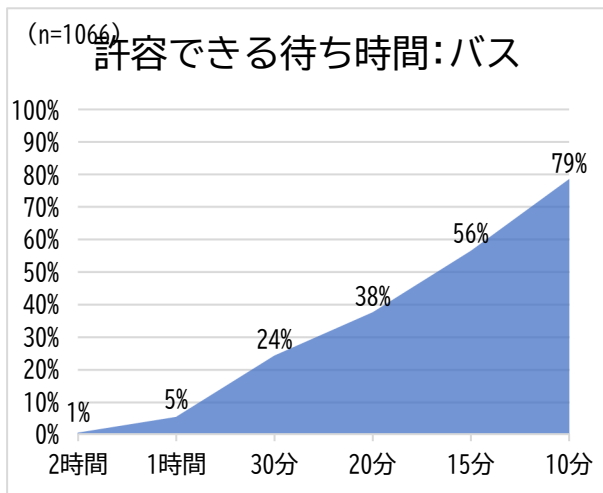
許容できる待ち時間は、狹隘道路地区居住者の方が短い傾向がみられます。

必要な運行時間帯は、同程度です。

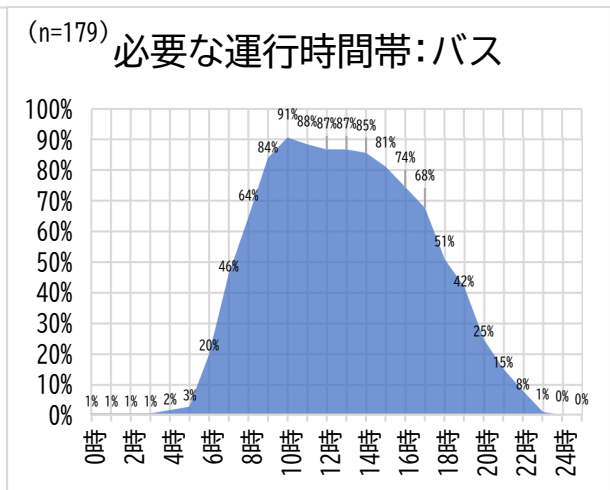
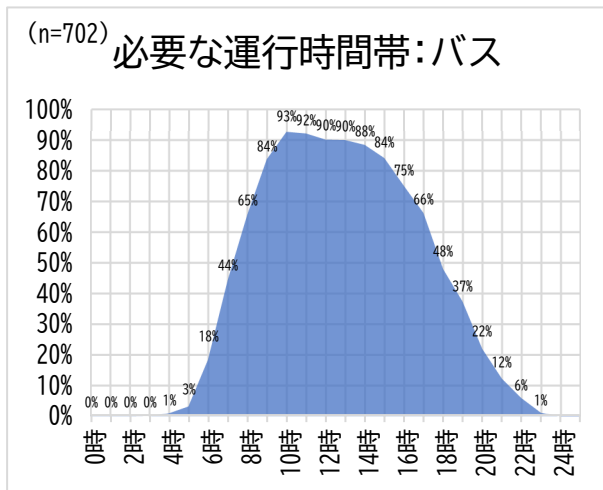
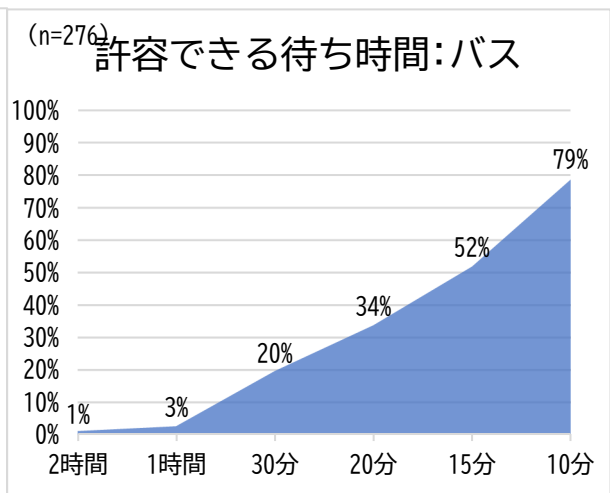
バス停までの徒歩時間の限度は、同程度です。

町内の移動での運賃の限度額は、同程度です。

<全町的なサービス水準>

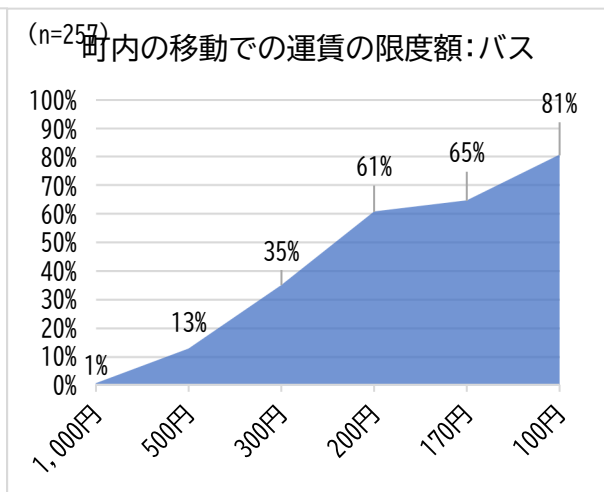
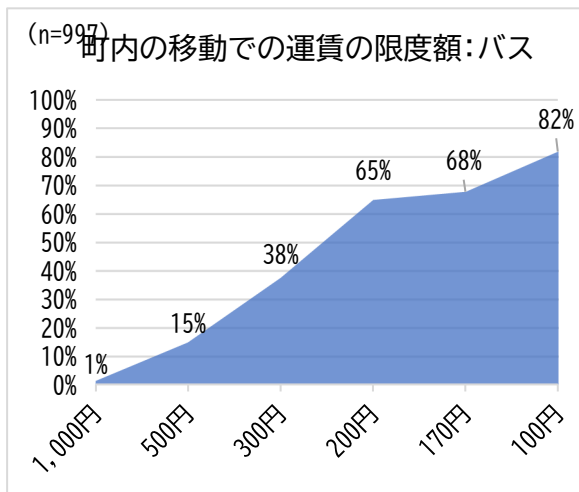
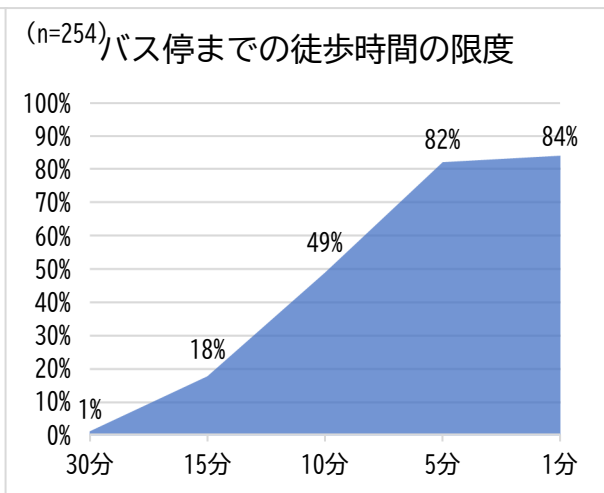
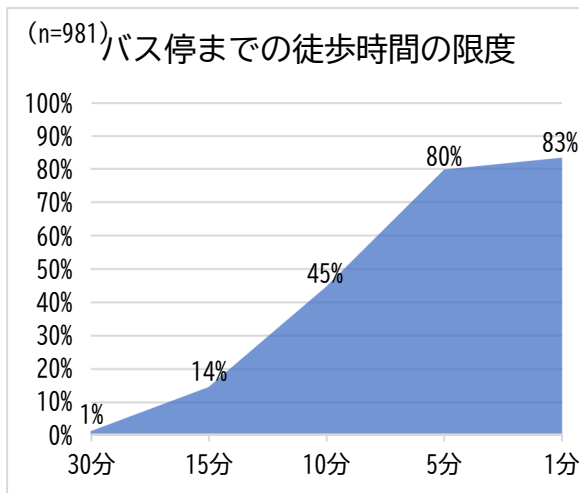


<狹隘道路地区のサービス水準>



<全町的なサービス水準>

<狹隘道路地区のサービス水準>



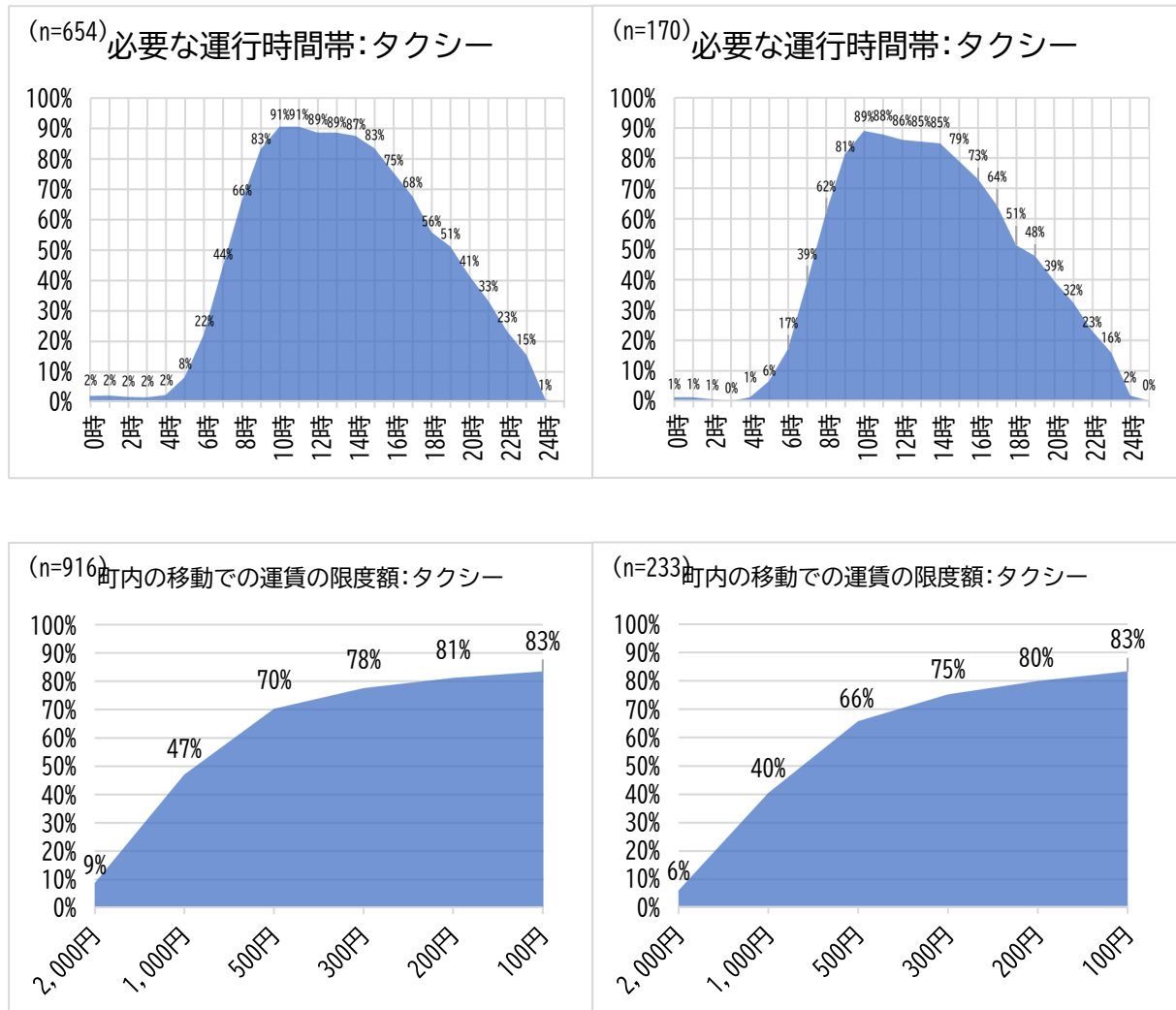
続いてタクシーについて見てみます。

必要な運行時間帯は、同程度です。

町内の移動での運賃の限度額は、狹隘道路地区居住者の方が低い傾向がみられます。

<全町的なサービス水準>

<狹隘道路地区のサービス水準>



5. 5. 地区別居住者特性まとめ

地区別の集計で多かったものや傾向を表形式にまとめます。これらの状況を踏まえながら、各地区と生活サービス施設を結ぶ公共交通を効率よく適切に配置することが求められます。

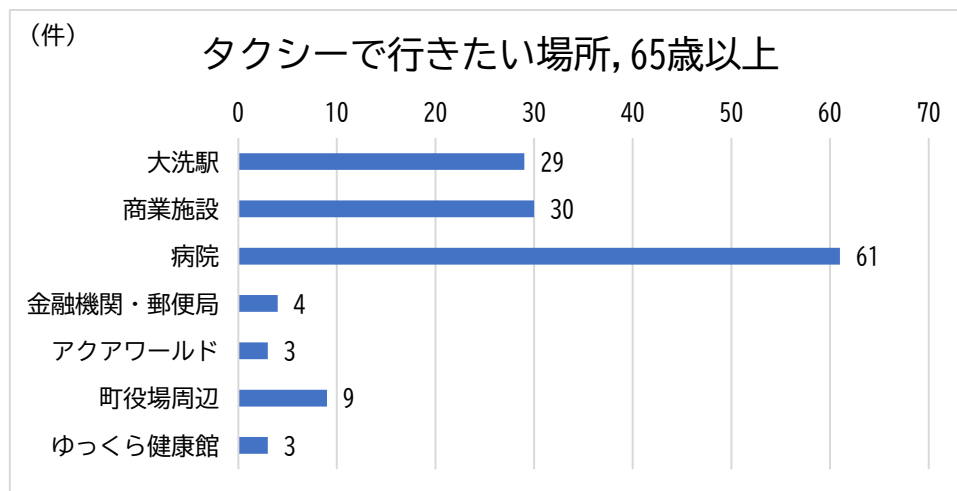
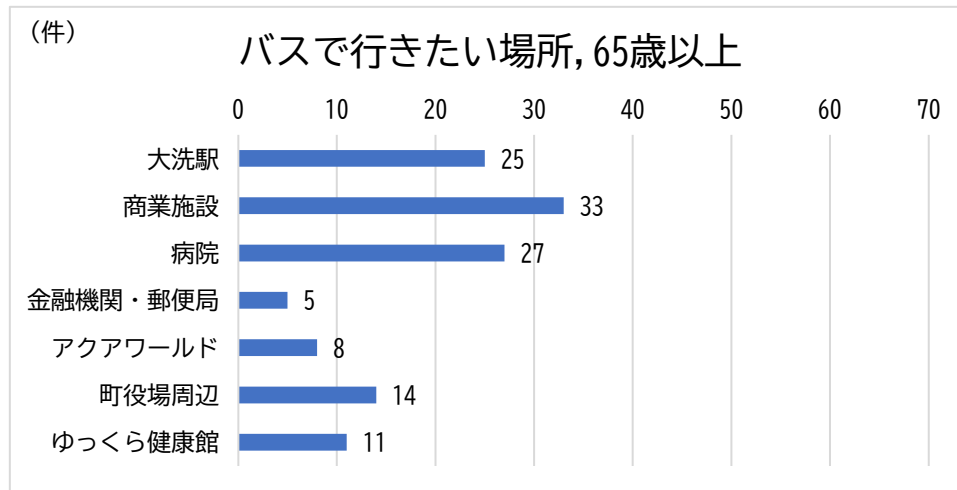
	南部エリア	新市街地エリア	狹隘道路地区
困っていること	通院、買物、通勤、金融機関利用、その他	通院、通勤	通院、買物、その他、金融機関利用
バスで行きたい場所	大洗駅、商業施設	大洗駅	大洗駅、商業施設
タクシーで行きたい場所	病院	大洗駅	病院、大洗駅、商業施設
許容できる待ち時間: バス	全町より長め	全町より長め	全町より短め
必要な運行時間帯: バス	全町より終了時間帯が早め	全町と同程度	全町と同程度
バス停までの徒歩時間の 限度	全町と同程度	全町より長め	全町と同程度
町内の移動での運賃の 限度額:バス	全町より高め	全町と同程度	全町と同程度
必要な運行時間帯: タクシー	全町より終了時間帯が早め	全町と同程度	全町と同程度
町内の移動での運賃の 限度額:タクシー	全町より高め	全町と同程度	全町より低め

5. 6. 高齢者層・若年層のニーズ

(1) 高齢者層のニーズ

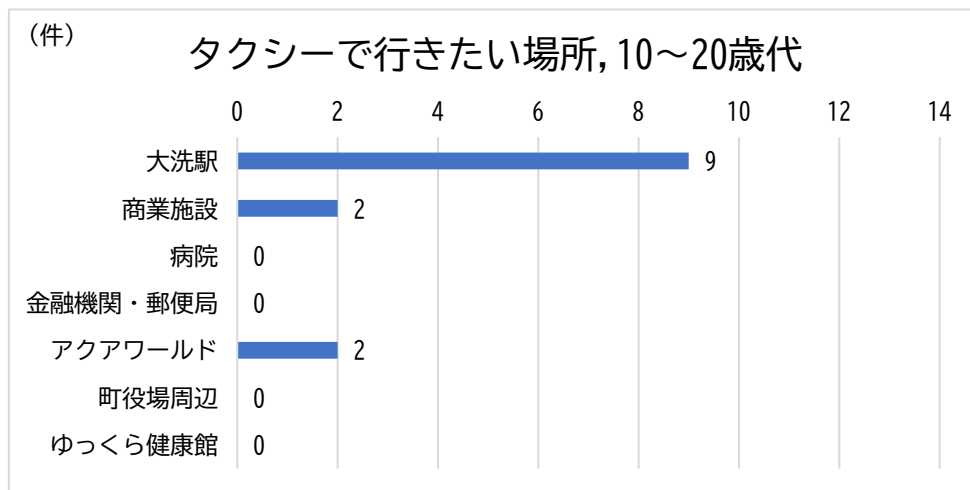
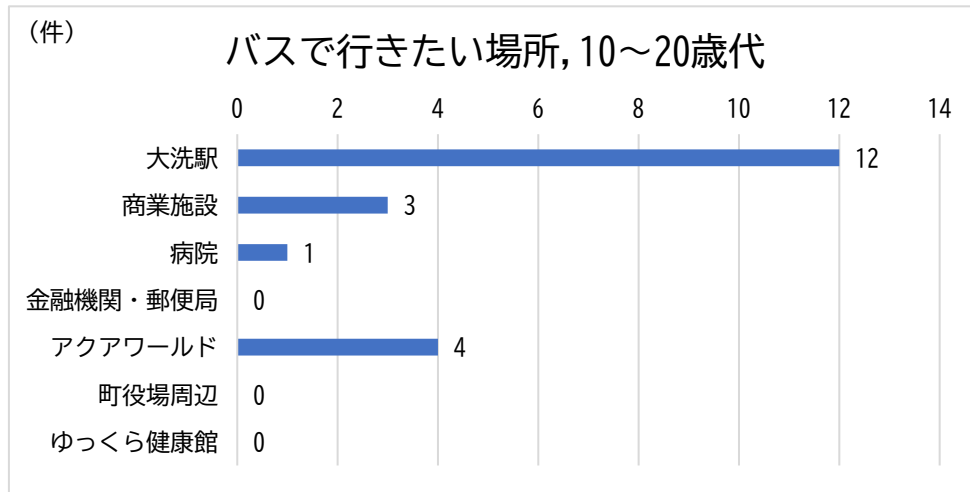
65歳以上の高齢者について、公共交通で行きたい場所の回答を集計します。

バス、タクシーともに、大洗駅、商業施設、病院が多く挙げられています。特に、タクシーについては病院が多く挙げられています。



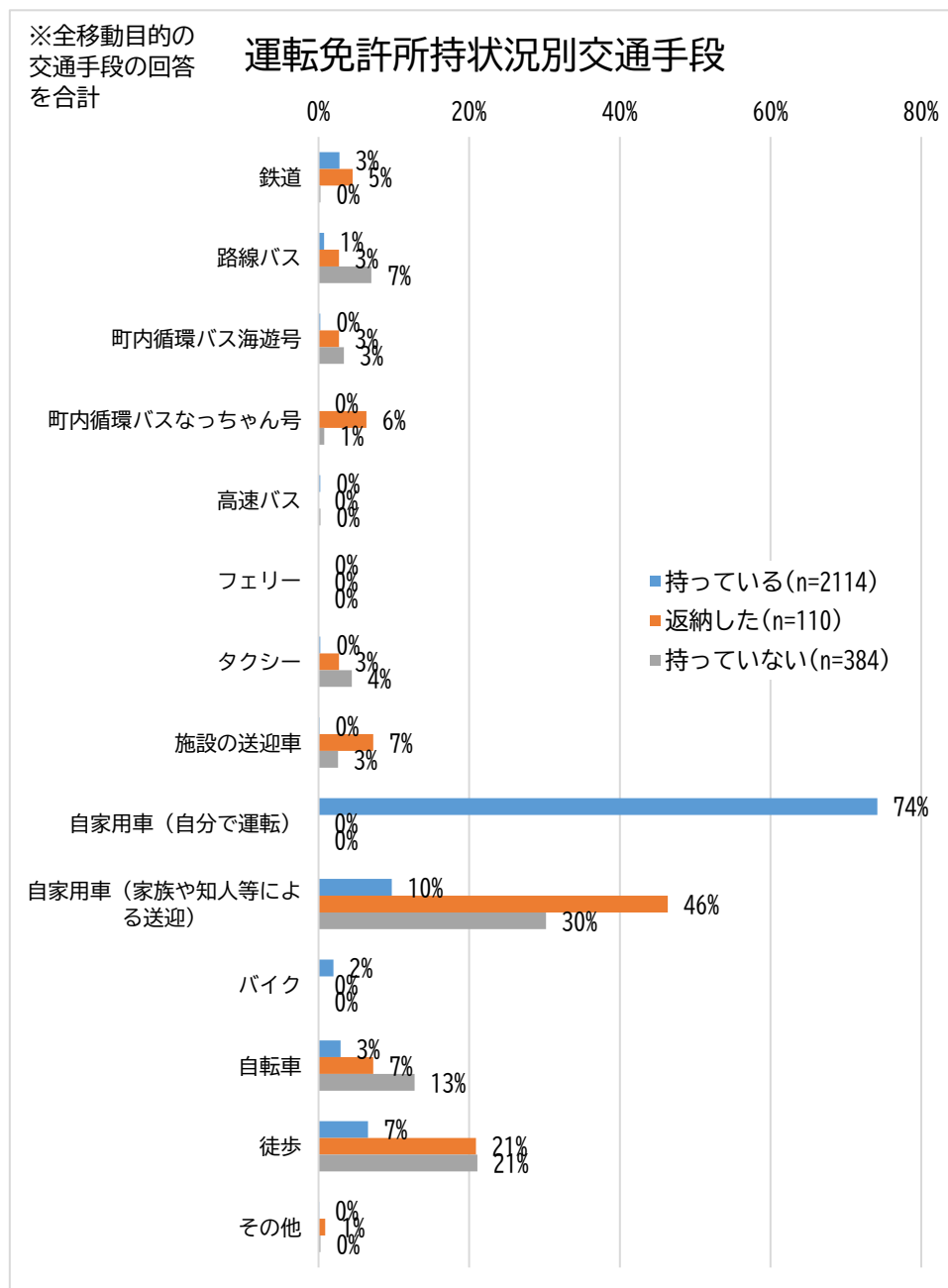
(2) 若年層のニーズ

10～20 歳代の若年層について、公共交通で行きたい場所の回答を集計します。
バス、タクシーともに、大洗駅が多く挙げられています。



(3) 運転免許所持状況別交通手段

運転免許を返納した回答者や持っていない回答者の交通手段をクロス集計すると、自家用車により送迎してもらうことが最も多くなっています。次いで徒歩や自転車の利用が多くなっています。



所持状況	1番目に多い交通手段	2番目に多い交通手段	3番目に多い交通手段
返納した (主に高齢者)	自家用車 (家族・知人等による送迎) (46%)	徒歩 (21%)	自転車 (7%)、 施設の送迎車 (7%)
持っていない (主に若年層)	自家用車 (家族・知人等による送迎) (30%)	徒歩 (21%)	自転車 (13%)

5. 7. 高齢者の移動特性

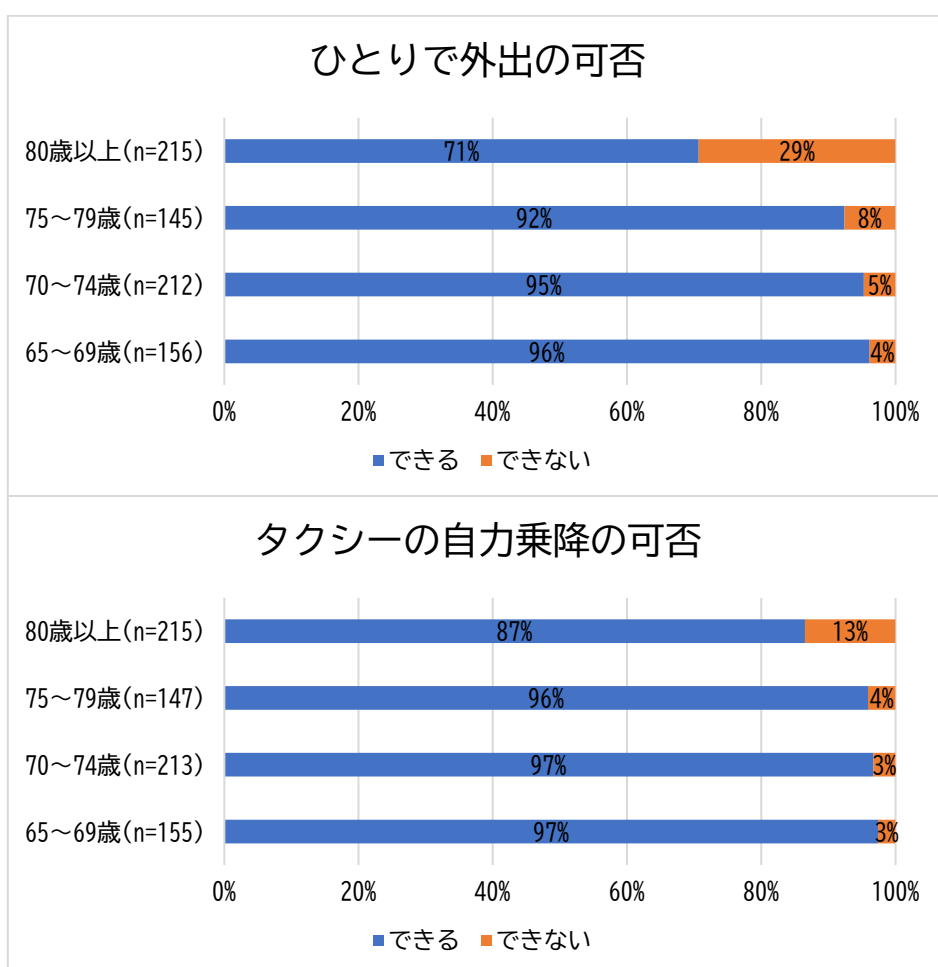
(1) 高齢者の公共交通利用に関する特性

65歳以上の高齢者について、5歳階級別に公共交通利用に関する特性を集計します。

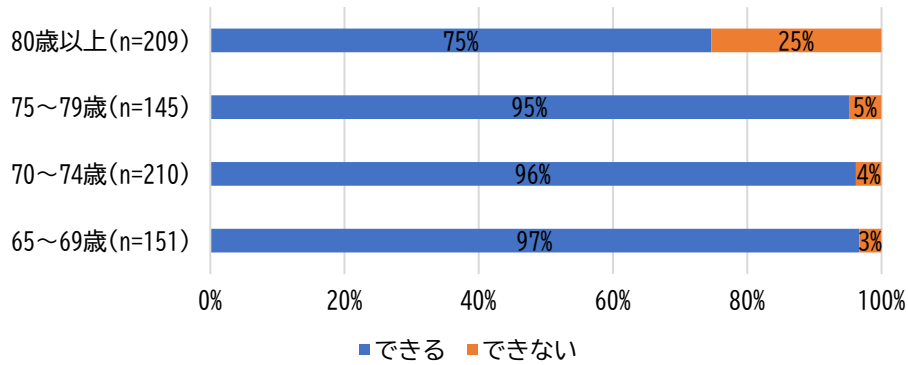
身体的な状況については、ひとりで外出の可否、タクシーの自力乗降の可否、バスの自力乗降の可否、バス停までの徒歩移動とバス待ちの可否について、79歳まではいずれも「できない」という回答者が1割以下ですが、80歳以上では割合が大きく増加しています。また、タクシーの自力乗降は80歳以上の回答者でも9割近くが「できる」という回答ですが、ひとりで外出の可否やバス利用については80歳以上の回答者で「できる」のは7割強となっています。

運転免許の所持については、80歳以上の62%は現在所持していない状況です。

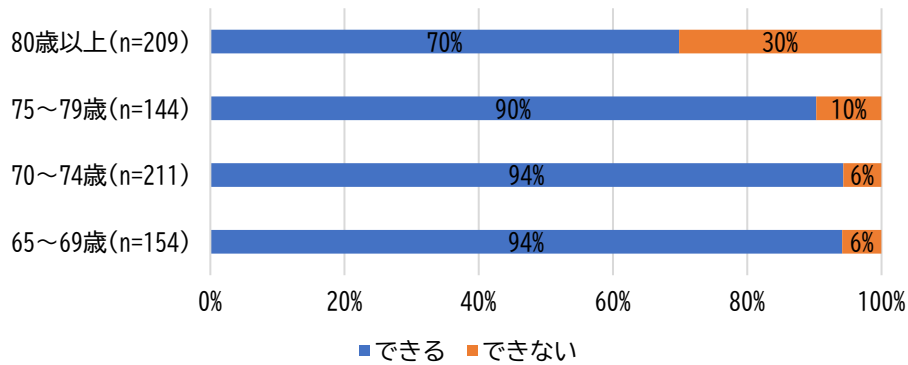
以上より、高齢者については特に80歳以上の方への対応を考慮していく必要があります。



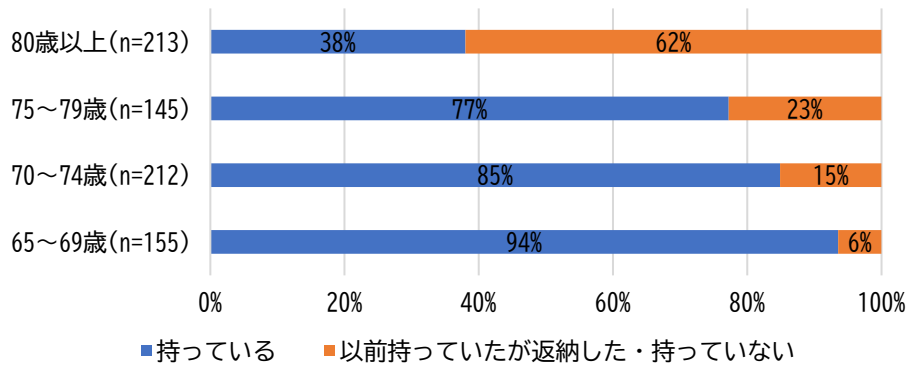
バスの自力乗降の可否



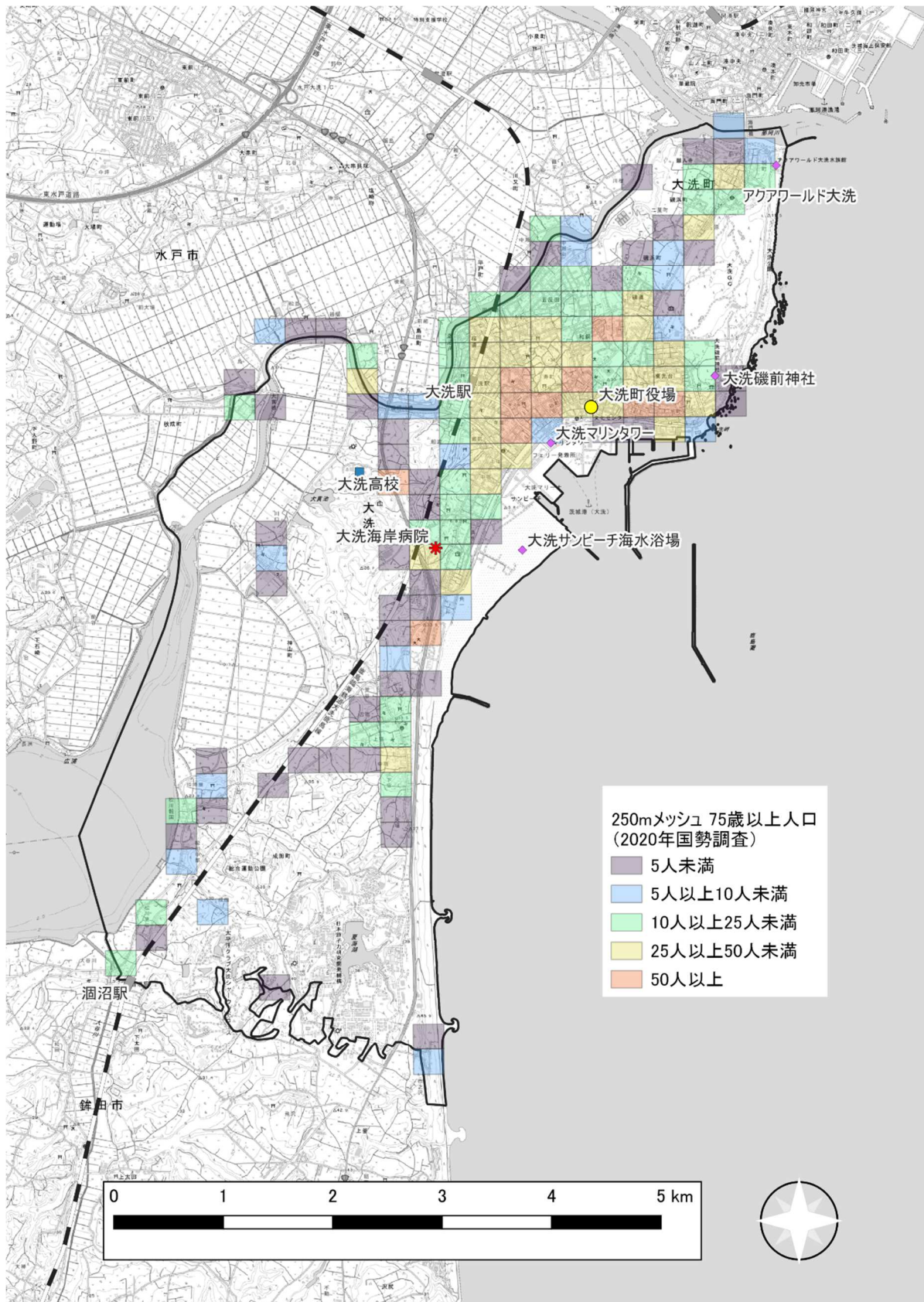
バス停までの徒歩移動、バス待ちの可否



運転免許の所持



参考として、2020年時点での75歳以上の人口分布を以下に示します。

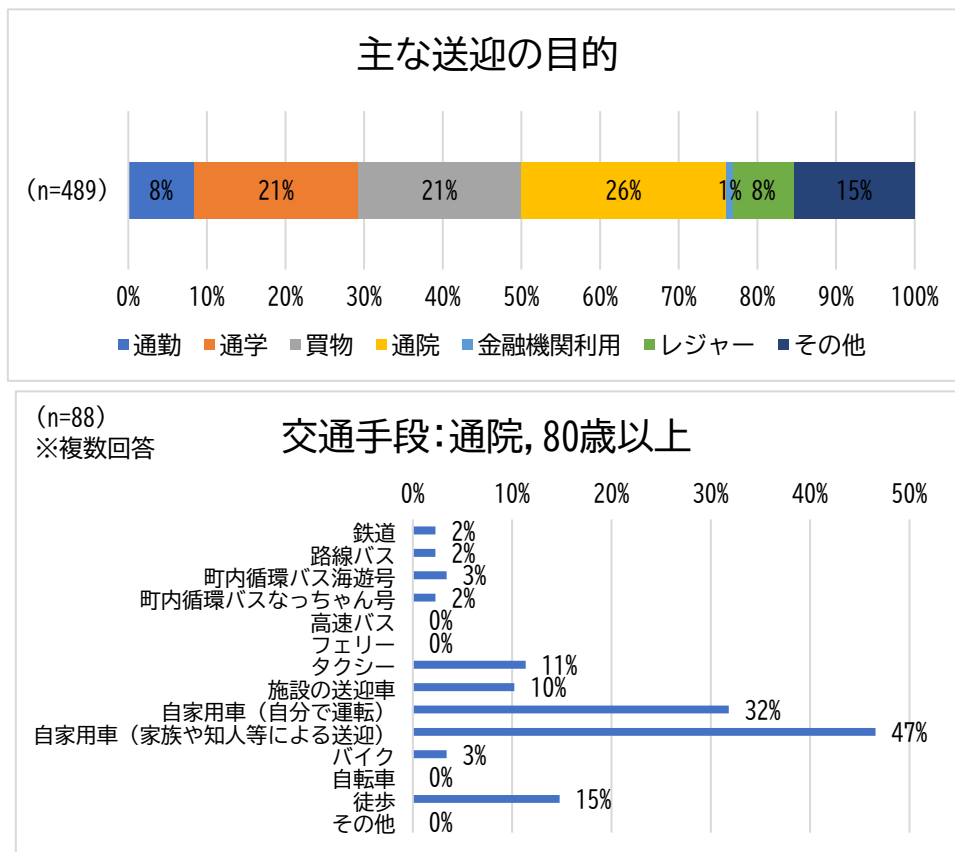


資料：2020年国勢調査

(2) 送迎の状況

家族を送迎している人の主な送迎の目的は、通院が最も多くなっており、高齢者の家族を病院に送迎している状況が想定されます。また、80歳以上の回答者の通院時の交通手段を集計すると、5割近くが送迎により移動していることがわかります。

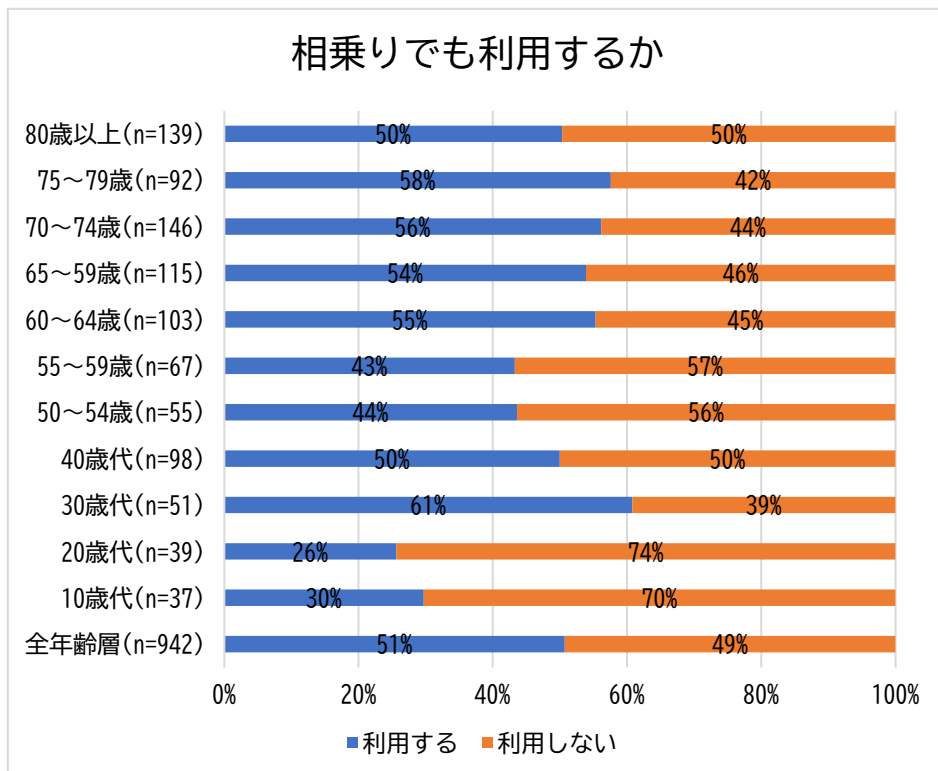
つまり、高齢者の通院に適した交通機関が導入されれば、送迎者の負担を軽減することができる可能性があります。



5. 8. 新たな交通サービス・施策の可能性

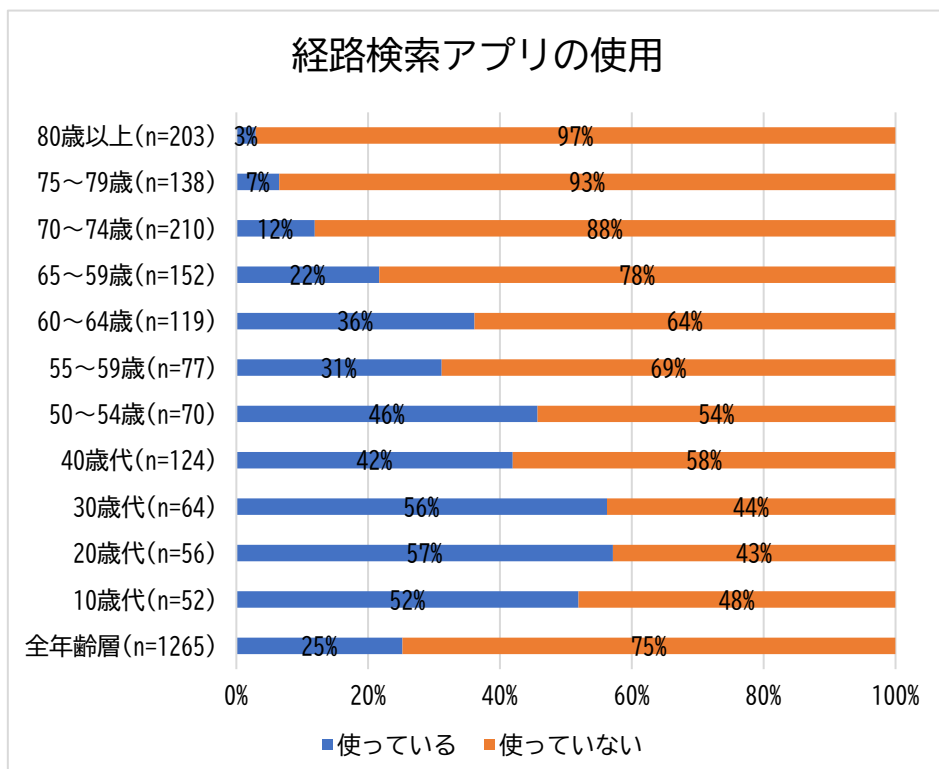
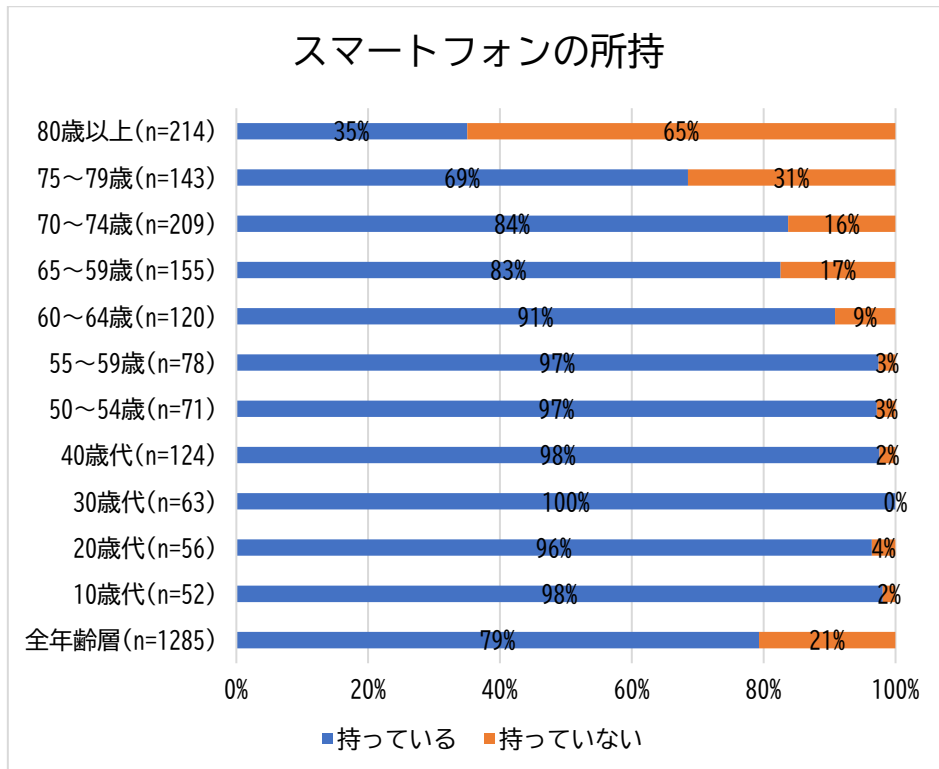
(1) デマンド型乗合タクシーの可能性

「通常のタクシーより安く移動できるなら、相乗りでも利用しますか。」という設問に対する回答を年齢層別に集計します。「利用する」という回答は30歳代と60～79歳で比較的多くなっています。



(2) MaaS等のインターネットを活用した情報提供の可能性

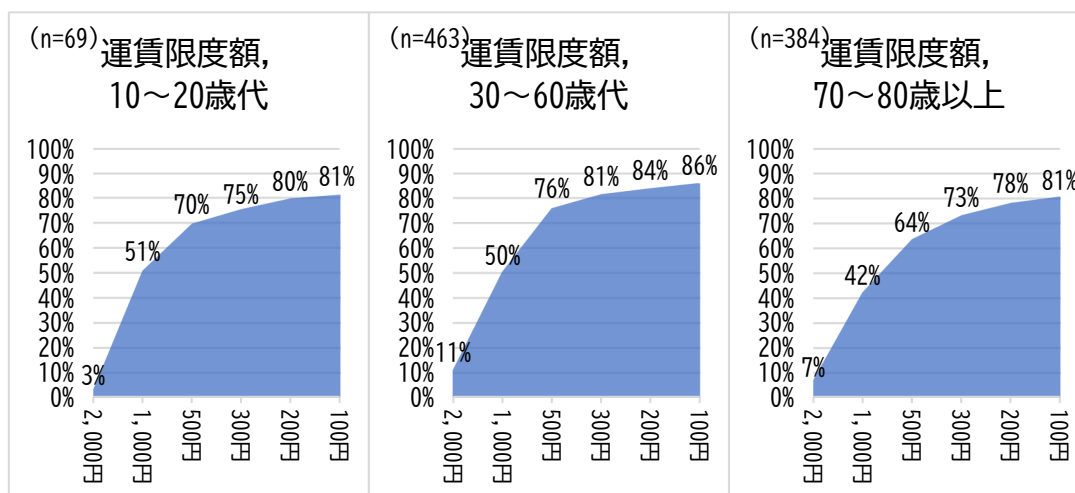
MaaS等の施策を想定し、年齢層別にスマートフォンの利用状況を集計します。スマートフォンの所持状況は、59歳まではほぼ全員、60～74歳は8～9割、75～79歳は7割、80歳以上は3割強となっています。経路検索アプリについては、若年層には使っている人もみられますが、年齢層が高いほど使っている人は少なくなっています。



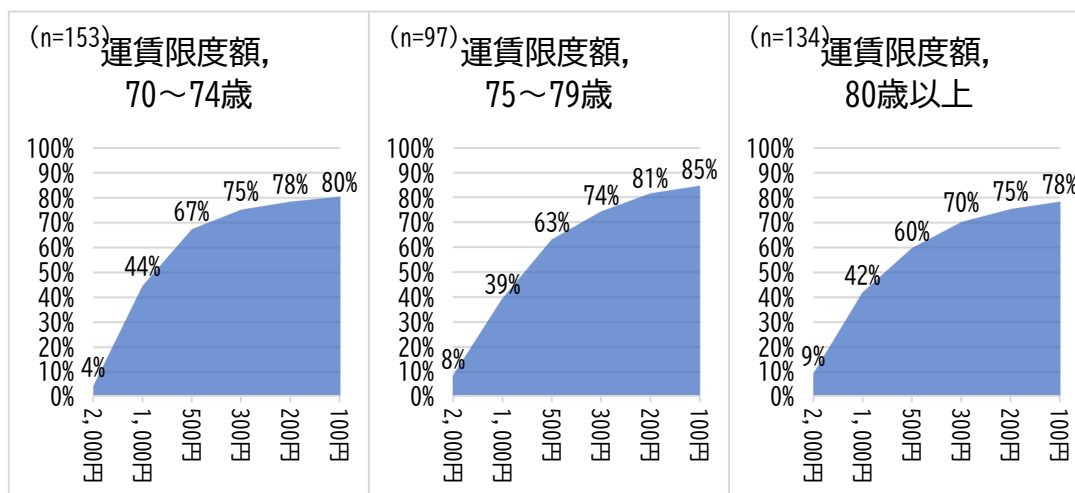
(3) タクシー利用助成制度の検討

タクシー利用助成制度の検討として、年齢層別のタクシーにおける町内の移動での運賃の限度額を集計します。

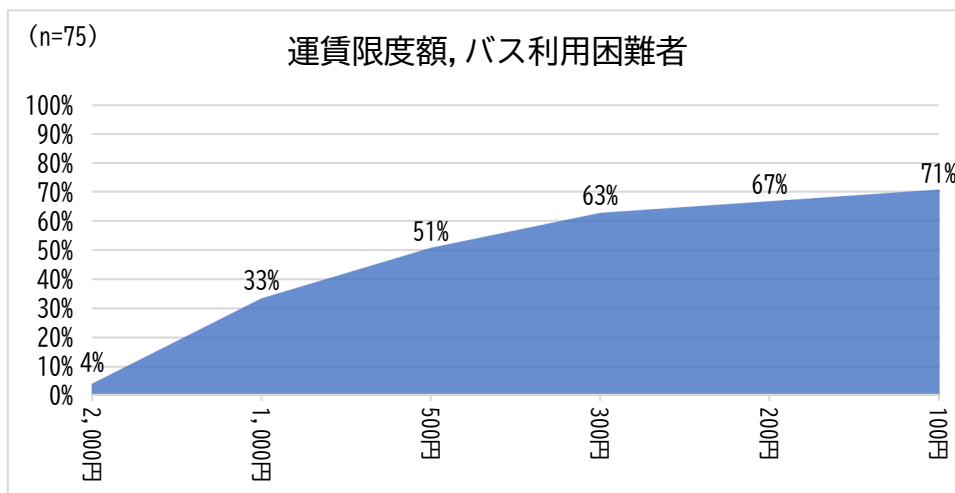
まず、10～20歳代、30～60歳代、70～80歳以上の3区分で集計します。約半数が許容できる額は、10～20歳代、30～60歳代では1,000円ですが、70～80歳以上では500円となっています。



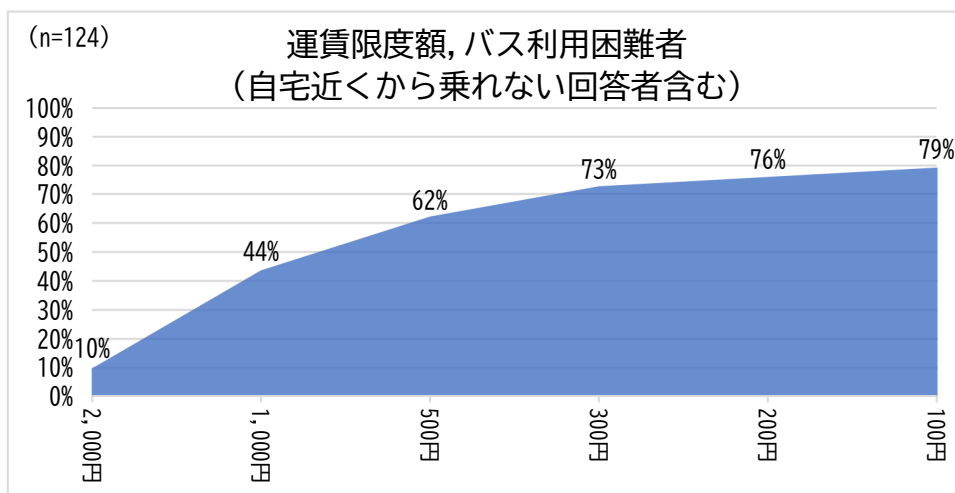
次に、70～80歳以上について、5歳階級別に70～74歳、75～79歳、80歳以上の3層で集計します。500円以下の額において、年齢が高いほど許容率が低下する傾向がみられます。



バスの利用が難しい方に対する補完的な施策としてのタクシー利用助成制度を検証します。問2④の「最寄り(約300m)のバス停まで歩いて行きバスを待つことができるか」という設問に対し、できないと回答した方の、タクシーにおける町内の移動での運賃の限度額を集計します。約半数が許容できる額は、500円となっています。



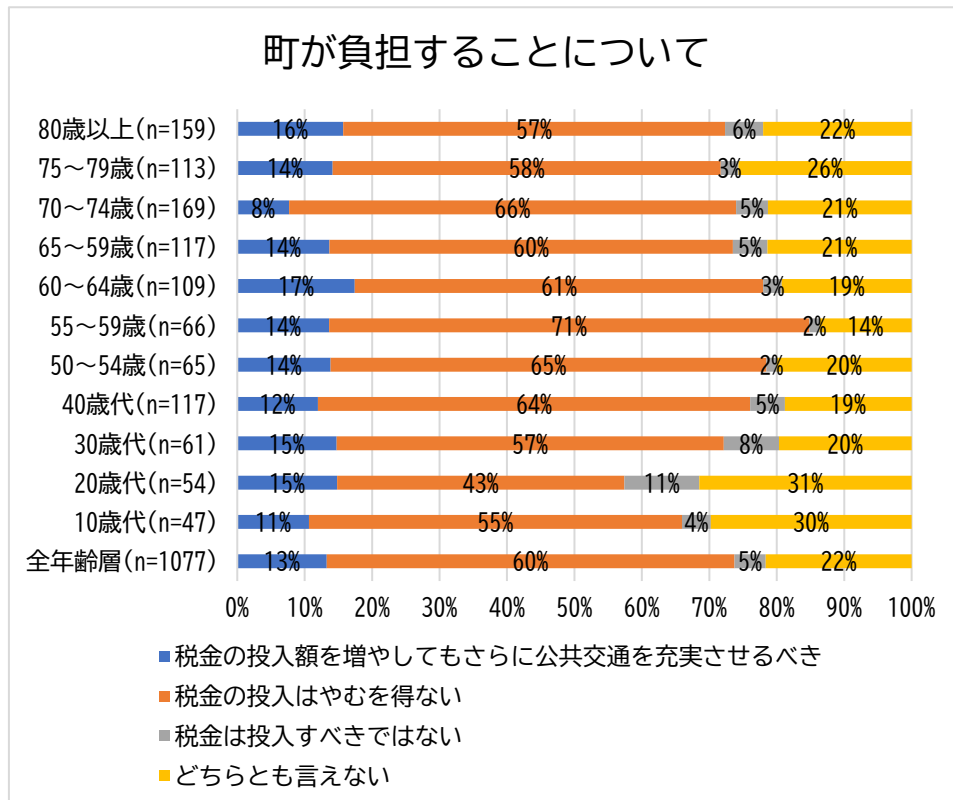
また、上記の回答者に加えて、問7の公共交通の現状に対する評価の設問において路線バスまたは町内循環バスに対する不満な点として「自宅の近くから乗れない」を挙げた回答者を含めた場合の、タクシーにおける町内の移動での運賃の限度額は以下の通りです。許容率が全体に上昇しています。



(4) 町が負担することについての年齢層別の集計

町が公共交通の維持確保のために税金を投入することについての考え方を、年齢層別に集計します。

どの年齢層においても肯定的な考え方が過半数となっていますが、10～20歳代の若年層において「どちらとも言えない」が多くみられます。



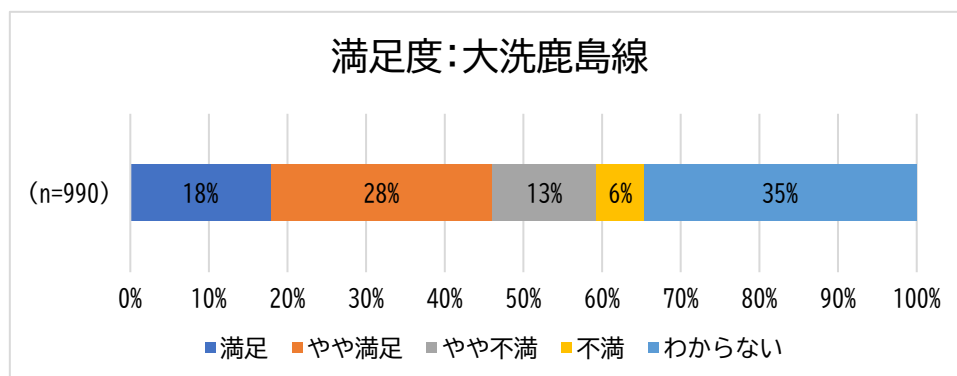
5. 9. 公共交通の利用促進への要件

(1) 交通手段別の満足度と不満な点、自由意見

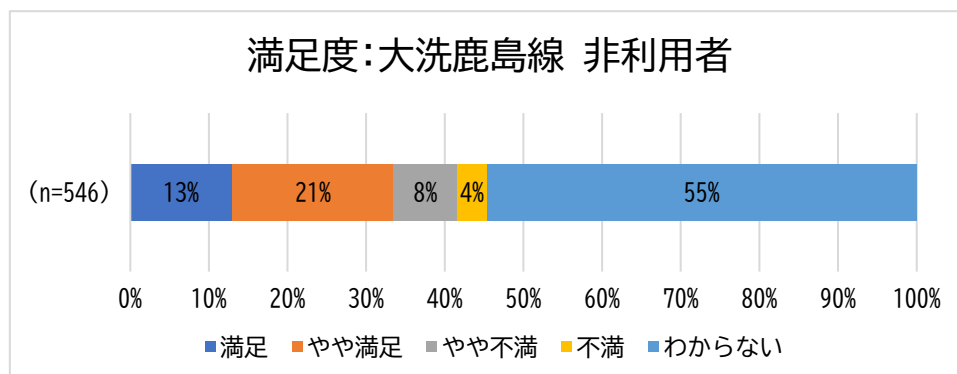
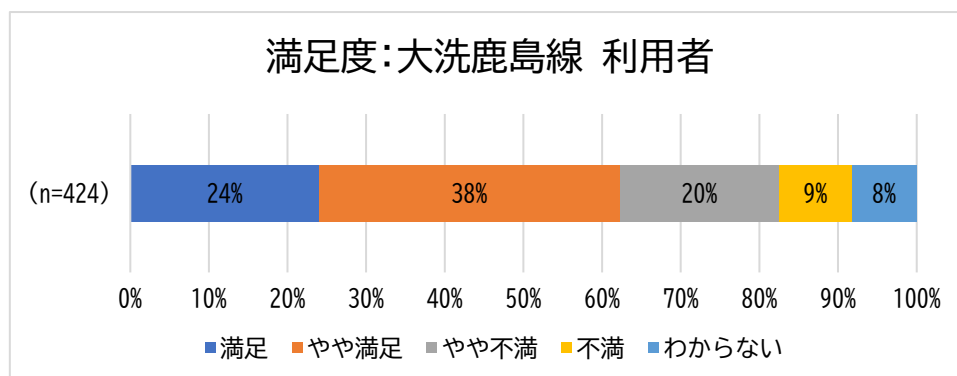
①大洗鹿島線

I. 満足度

大洗鹿島線に対する満足度は、満足・やや満足が合計 46%となっており、やや不満・不満の 19%より多くなっています。

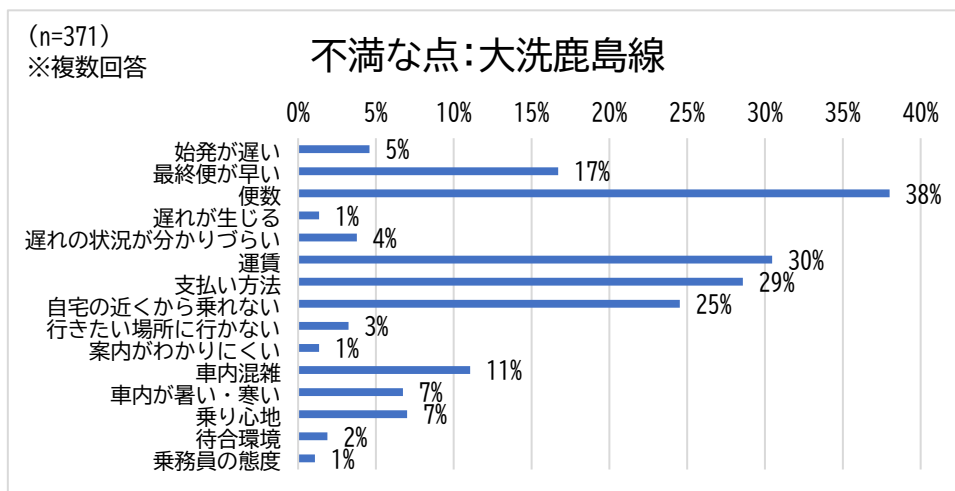


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者では満足・やや満足が合計 62%となっており、やや不満・不満の 29%より多くなっています。非利用者では「わからない」が 55%と多いですが、満足・やや満足が合計 34%となっており、やや不満・不満の 12%より多くなっています。

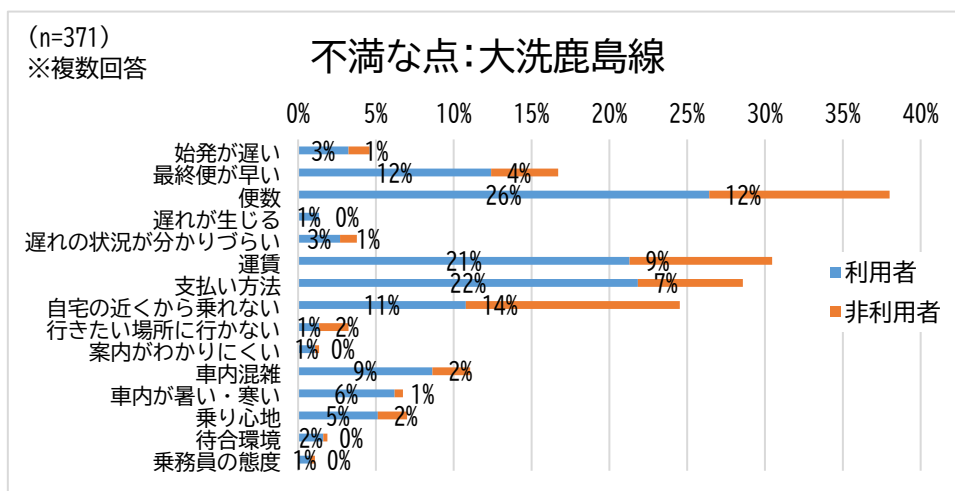


II. 不満な点

大洗鹿島線に対する不満な点は、「便数」「運賃」「支払い方法」「自宅の近くから乗れない」「最終便が早い」「車内混雑」の回答が多くなっています。これらの中から改善を検討することで、利用促進施策に繋がられる可能性があります。

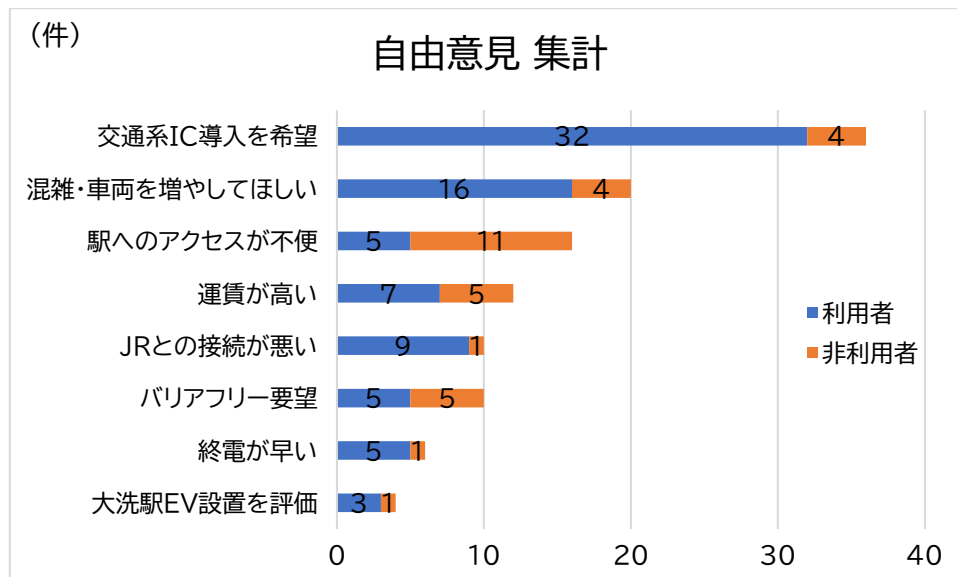


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者からの回答の方が多くなっています。利用者では「便数」「支払い方法」「運賃」「最終便が早い」「自宅の近くから乗れない」「車内混雑」の回答が多く、非利用者では「自宅の近くから乗れない」「便数」「運賃」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

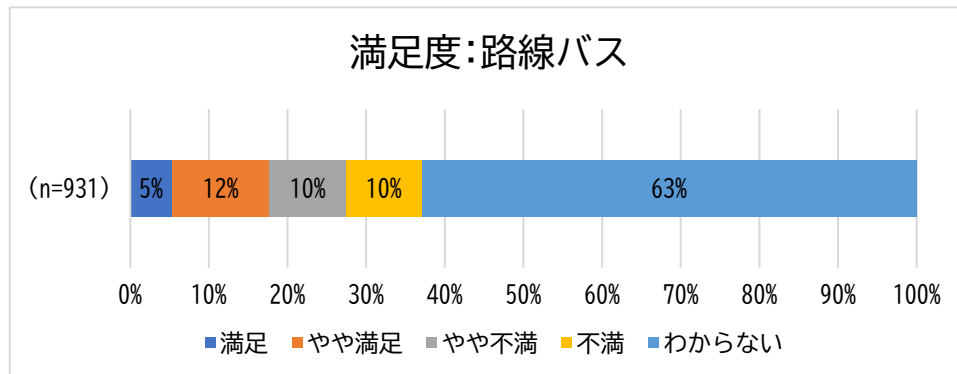
自由意見を利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者からの意見の方が多くなっています。利用者では「交通系 IC 導入を希望」「混雑・車両を増やしてほしい」「JR との接続が悪い」という意見が多く、非利用者では「駅へのアクセスが不便」「運賃が高い」「バリアフリー要望」が多くなっています。



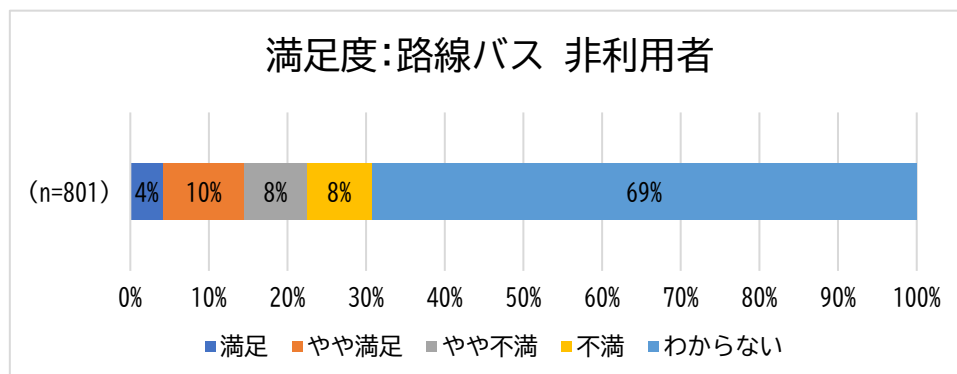
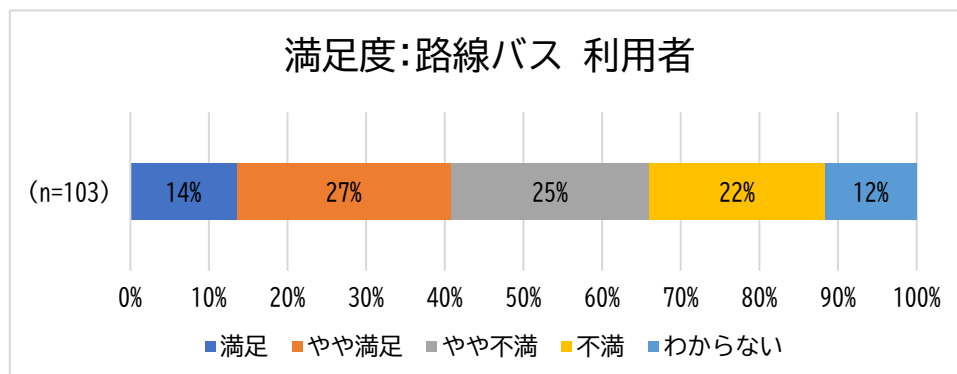
②路線バス

I. 満足度

路線バスに対する満足度は、やや不満・不満が合計 20%となっており、満足・やや満足より多くなっています。サービスの改善が求められています。

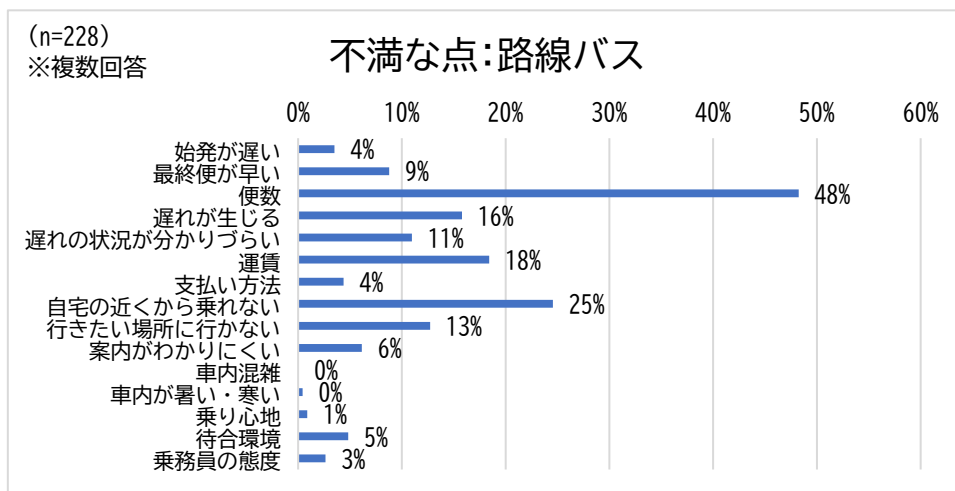


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者ではやや不満・不満が合計 47%となっており、満足・やや満足の 41%より多くなっています。非利用者では「わからない」が 69%と多いですが、やや不満・不満が合計 16%となっており、満足・やや満足の 14%より多くなっています。

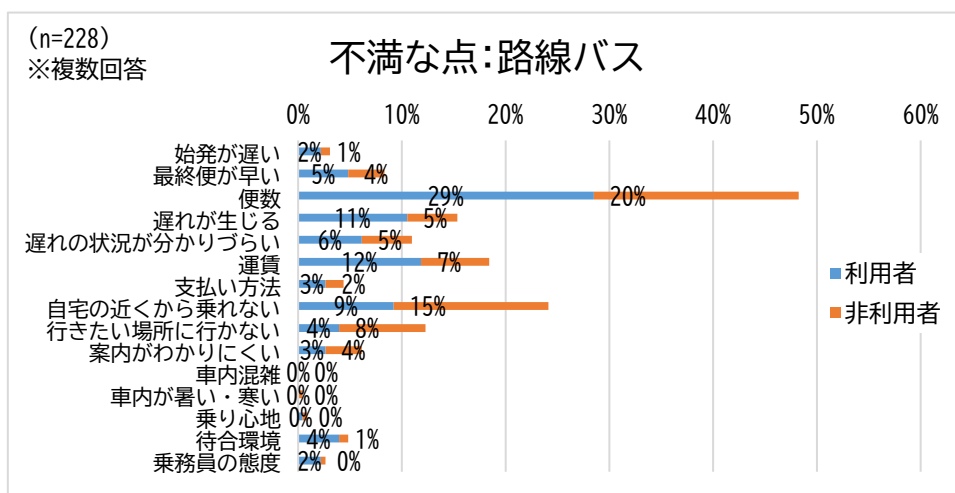


II. 不満な点

路線バスに対する不満な点は、「便数」「自宅の近くから乗れない」「運賃」「遅れが生じる」「行きたい場所に行かない」「遅れの状況が分かりづらい」の回答が多くなっています。これらの中から改善を検討することで、利用促進施策に繋がられる可能性があります。

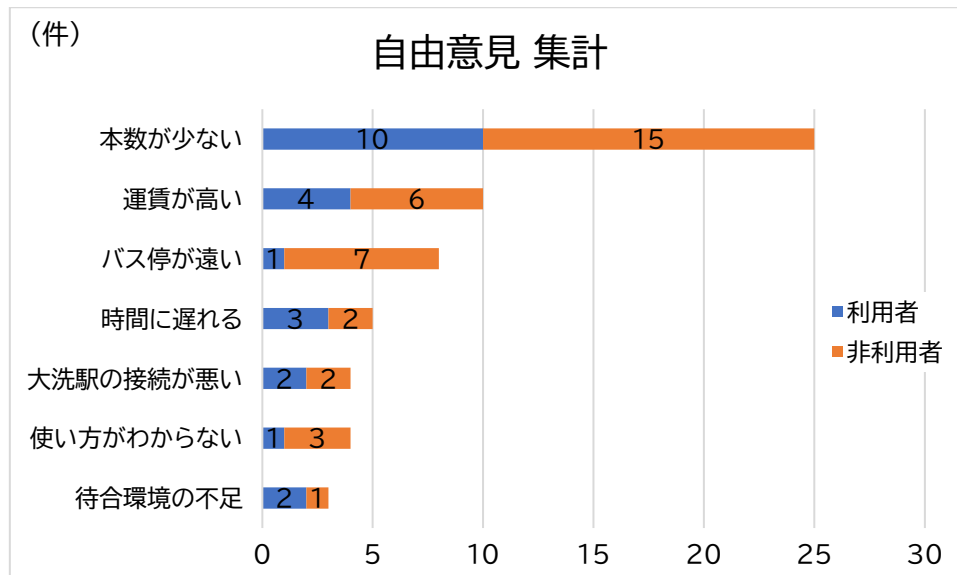


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者からの回答の方が多くなっています。利用者では「便数」「運賃」「遅れが生じる」「自宅の近くから乗れない」の回答が多く、非利用者では「便数」「自宅の近くから乗れない」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

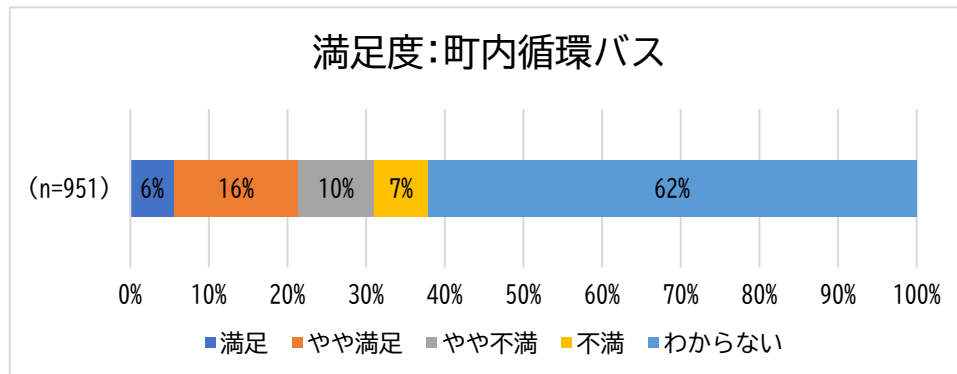
自由意見を利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、非利用者からの意見の方が多くなっています。利用者では「本数が少ない」「運賃が高い」「時間に遅れる」という意見が多く、非利用者では「本数が少ない」「バス停が遠い」「運賃が高い」が多くなっています。



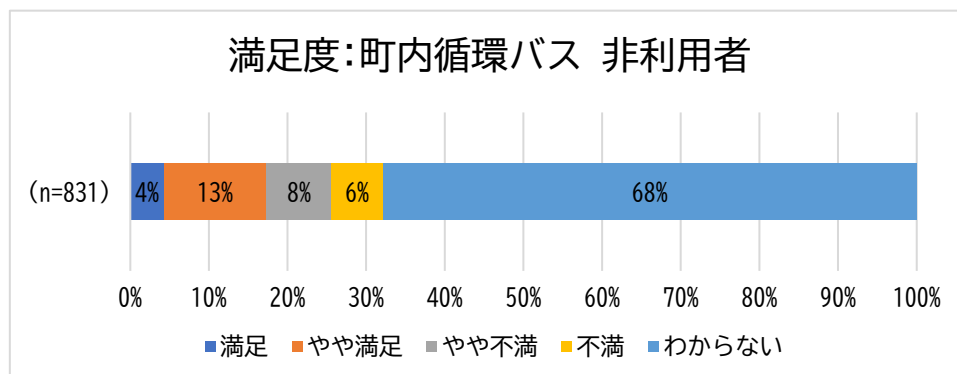
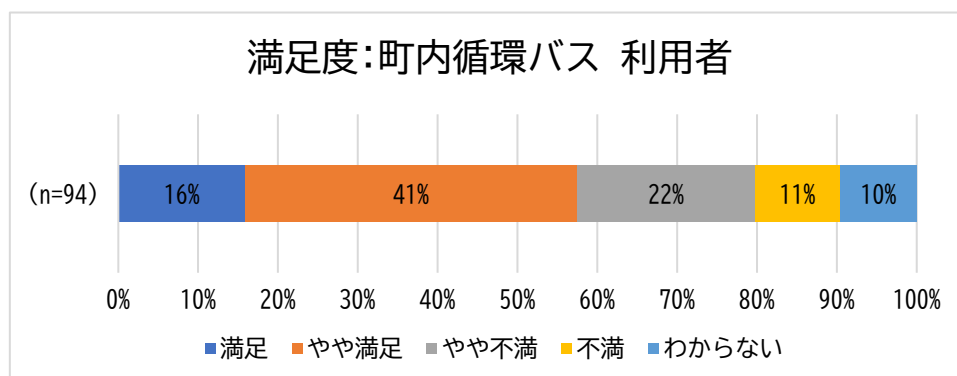
③町内循環バス

I. 満足度

町内循環バスに対する満足度は、満足・やや満足が合計 22%となっており、やや不満・不満の 17%より多くなっています。

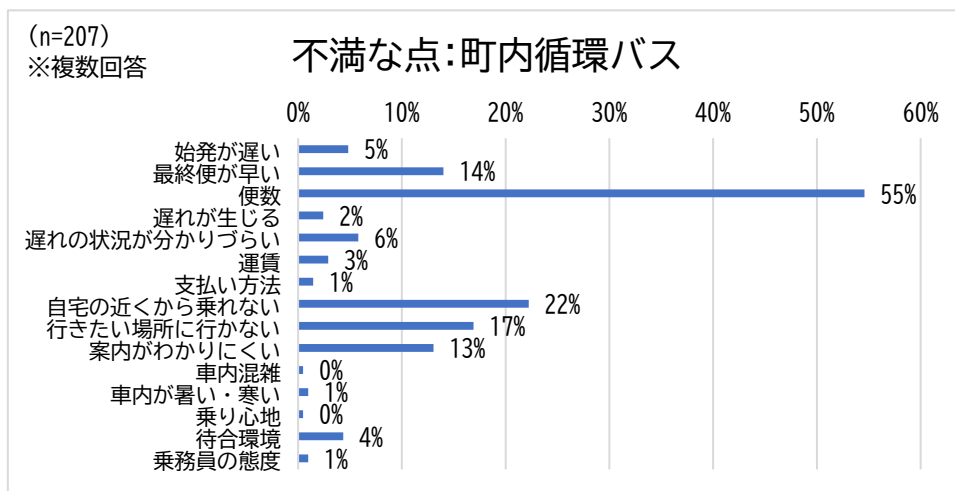


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者では満足・やや満足が合計 57%となっており、やや不満・不満の 33%より多くなっています。非利用者では「わからない」が 68%と多いですが、満足・やや満足が合計 17%となっており、やや不満・不満の 14%より多くなっています。

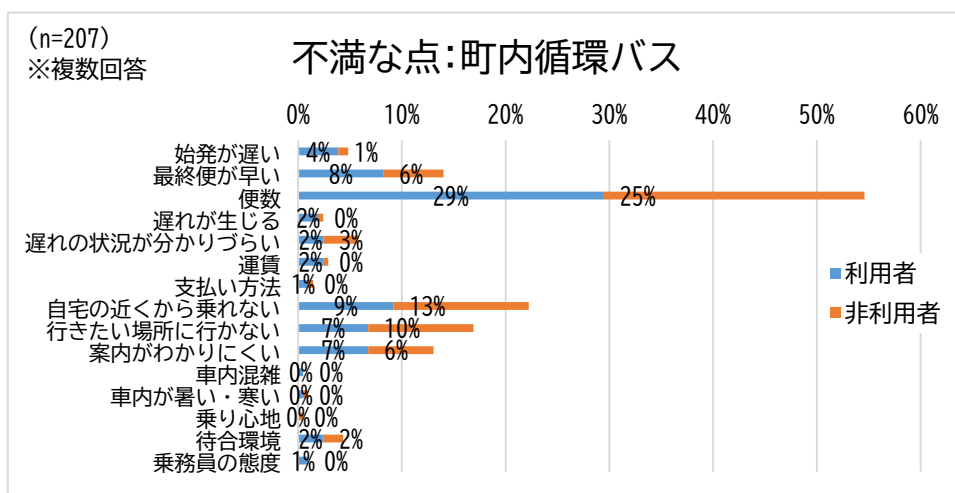


II. 不満な点

町内循環バスに対する不満な点は、「便数」「自宅の近くから乗れない」「行きたい場所に行かない」「最終便が早い」「案内がわかりにくい」の回答が多くなっています。これらの中から改善を検討することで、利用促進施策に繋がられる可能性があります。

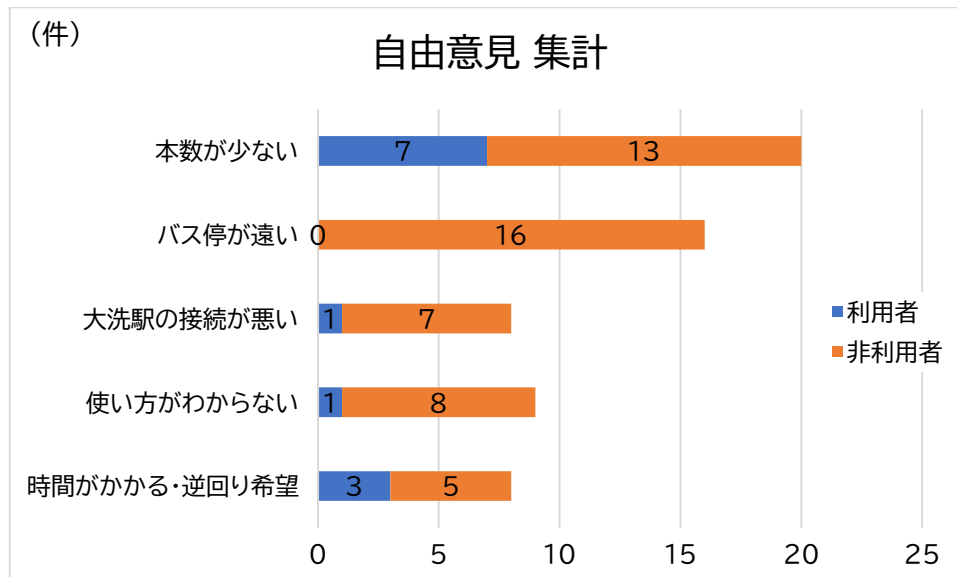


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者からの回答の方が多くなっています。利用者では「便数」「自宅の近くから乗れない」の回答が多く、非利用者では「便数」「自宅の近くから乗れない」「行きたい場所に行かない」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

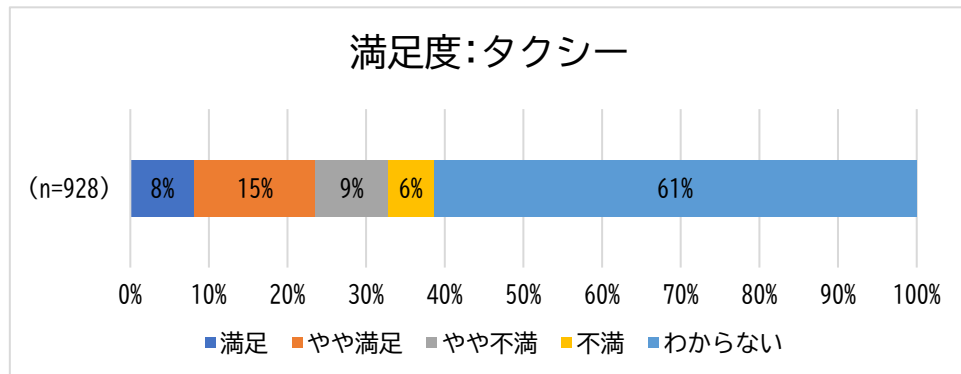
自由意見を利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、非利用者からの意見の方が多くなっています。利用者では「本数が少ない」「時間がかかる・逆回り希望」という意見が多く、非利用者では「バス停が遠い」「本数が少ない」「使い方がわからない」が多くなっています。



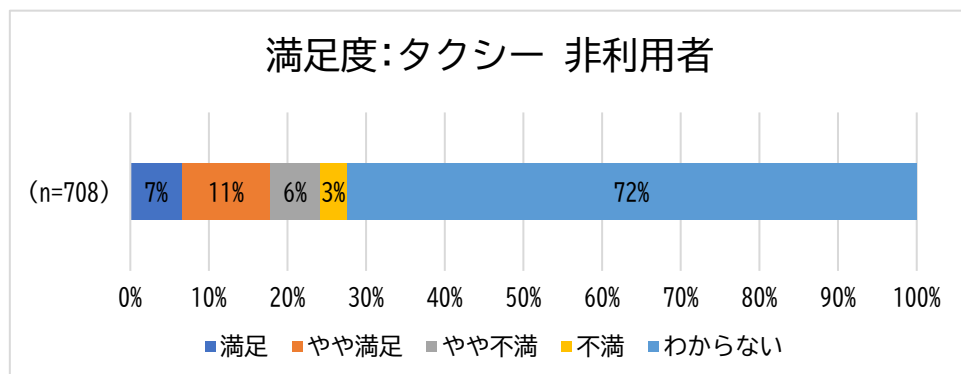
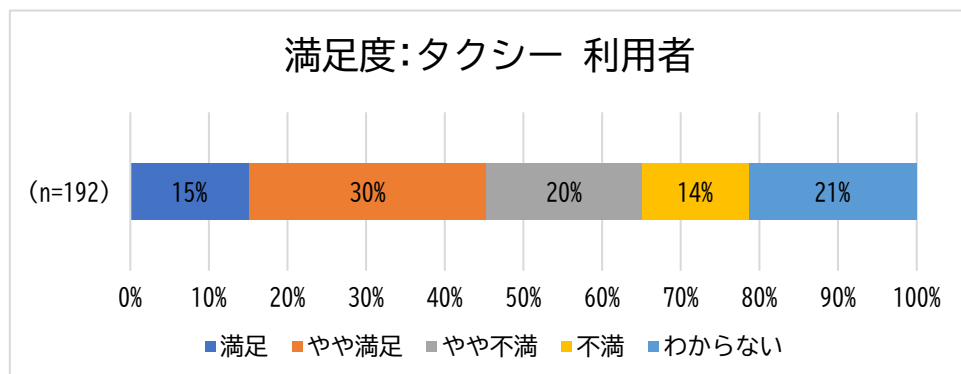
④タクシー

I. 満足度

タクシーに対する満足度は、満足・やや満足が合計 23%となっており、やや不満・不満の 15%より多くなっています。

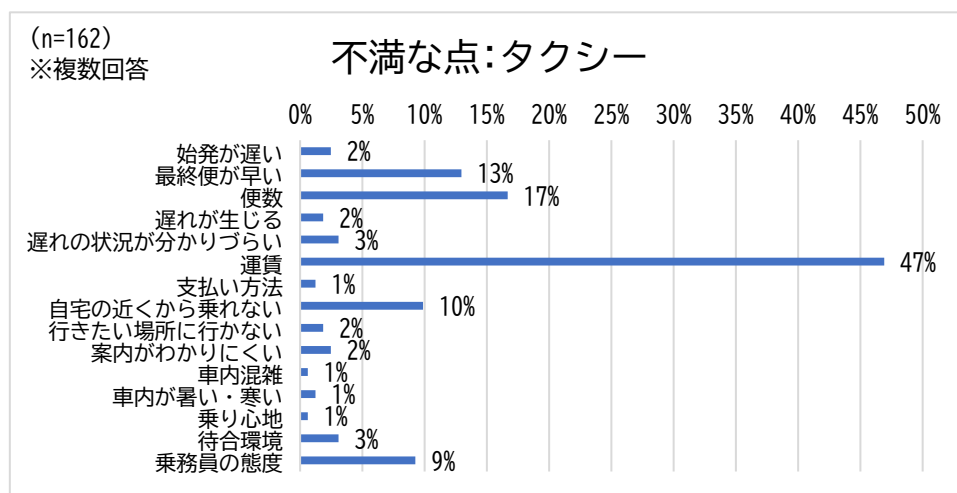


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者では満足・やや満足が合計 45%となっており、やや不満・不満の 34%より多くなっています。非利用者では「わからない」が 72%と多いですが、満足・やや満足が合計 18%となっており、やや不満・不満の 9%より多くなっています。

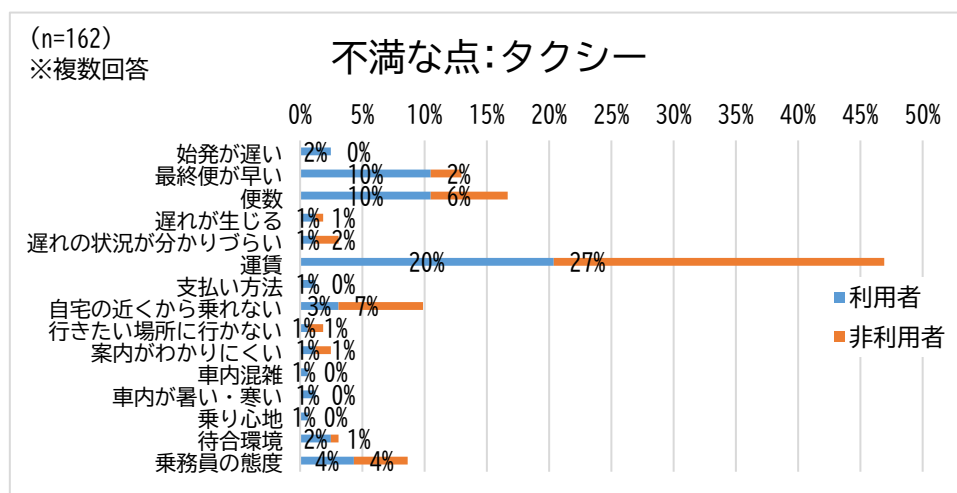


II. 不満な点

タクシーに対する不満な点は、「運賃」「便数」「最終便が早い」「自宅の近くから乗れない」の回答が多くなっています。これらの中から改善を検討することで、利用促進施策に繋がられる可能性があります。

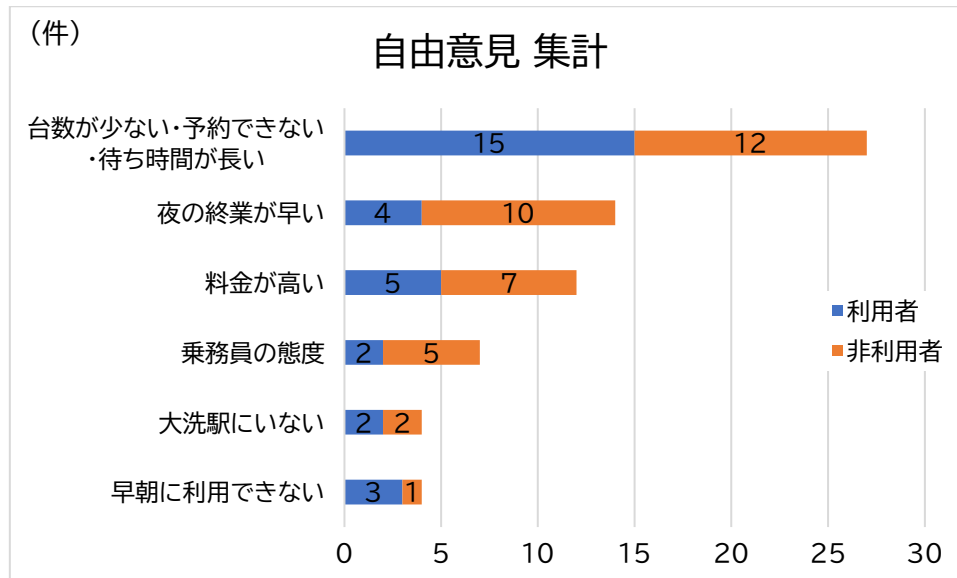


利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、利用者からの回答の方が多くなっています。利用者では「運賃」「最終便が早い」「便数」の回答が多く、非利用者では「運賃」の回答が多くなっています。



Ⅲ. 自由意見

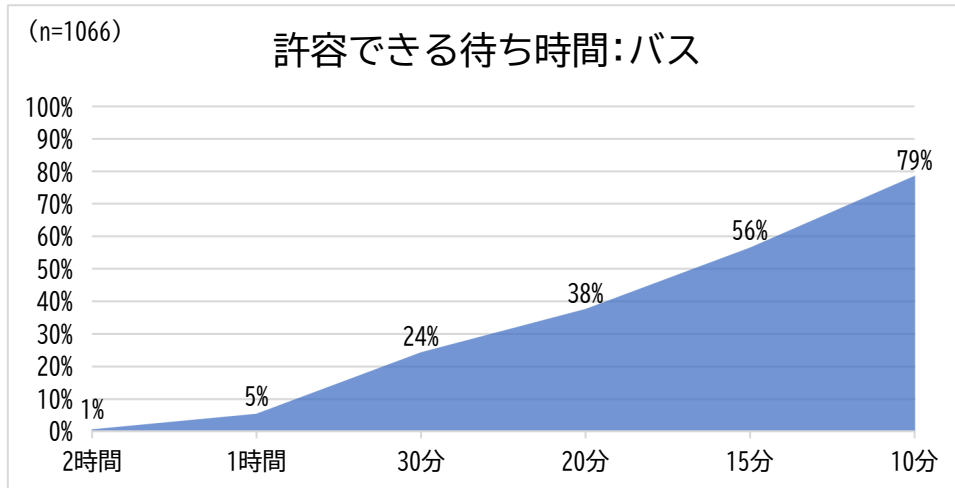
自由意見を利用者(年1回以上利用)と非利用者を分けて集計すると、非利用者からの意見の方が多くなっています。利用者では「台数が少ない・予約できない・待ち時間が長い」「料金が高い」「夜の終業が早い」という意見が多く、非利用者では「台数が少ない・予約できない・待ち時間が長い」「夜の終業が早い」「料金が高い」が多くなっています。



(2) サービス水準のニーズ

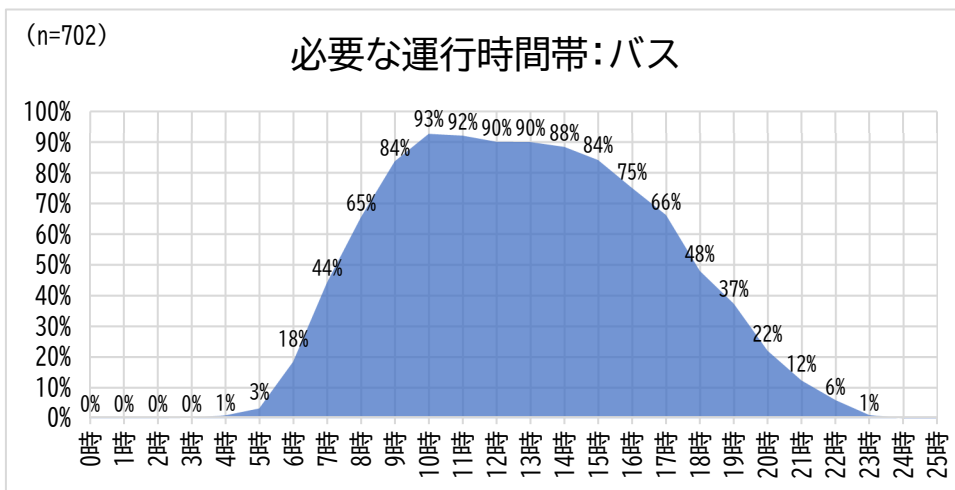
①許容できる待ち時間:バス

10分で許容率79%、15分で許容率56%となっています。可能な範囲でなるべく運行頻度を高めることが求められます。



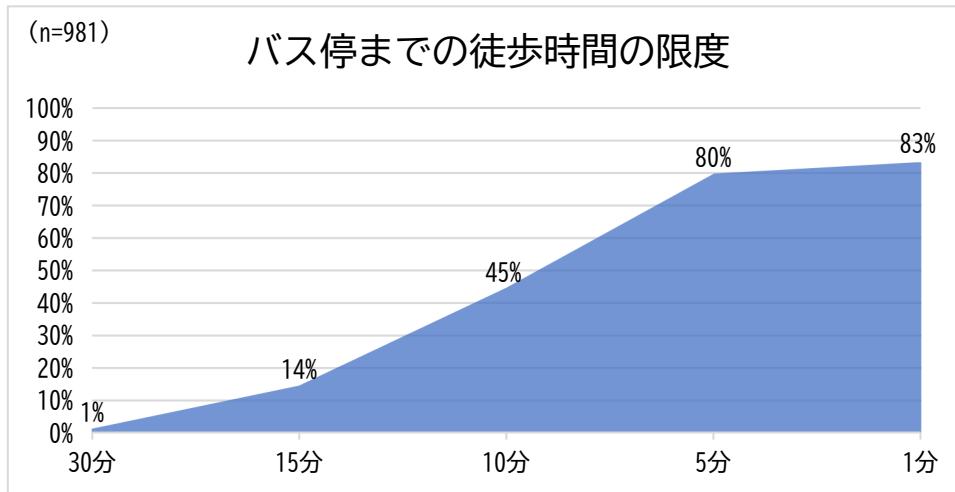
②必要な運行時間帯:バス

許容率50%での運行時間帯は8時から17時となります。終了時間帯については遅くまでを希望する回答者も多くみられます。



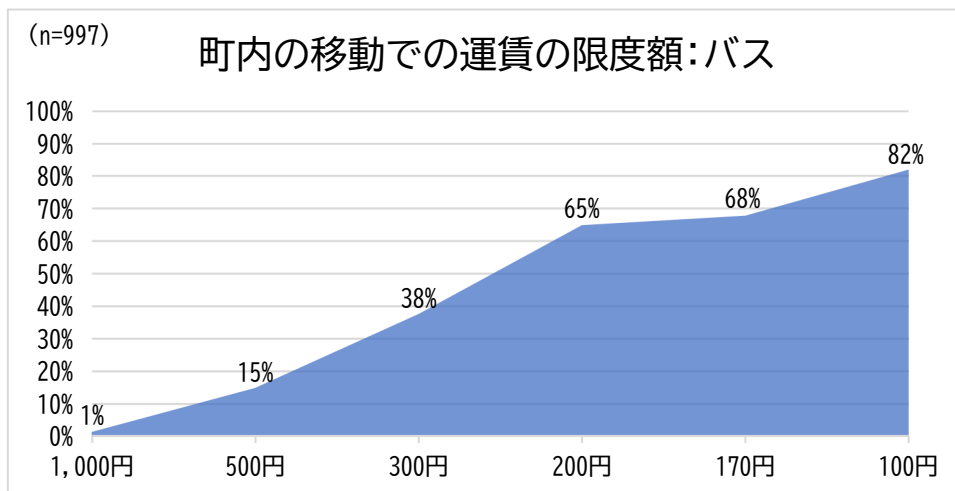
③バス停までの徒歩時間の限度

5分で許容率80%、10分で許容率45%となっています。生活サービス施設の入口至近など、バス停の配置を工夫しバス停までの徒歩時間をなるべく短くすることが求められます。



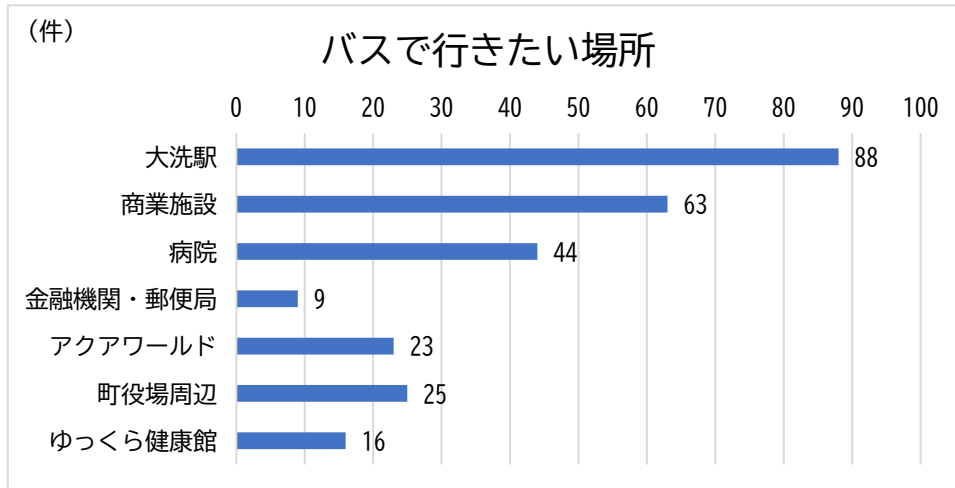
④町内の移動での運賃の限度額:バス

100円で許容率82%、200円で許容率65%、300円で許容率38%となっています。許容率50%を基準に考えると、200円とすることが考えられます。



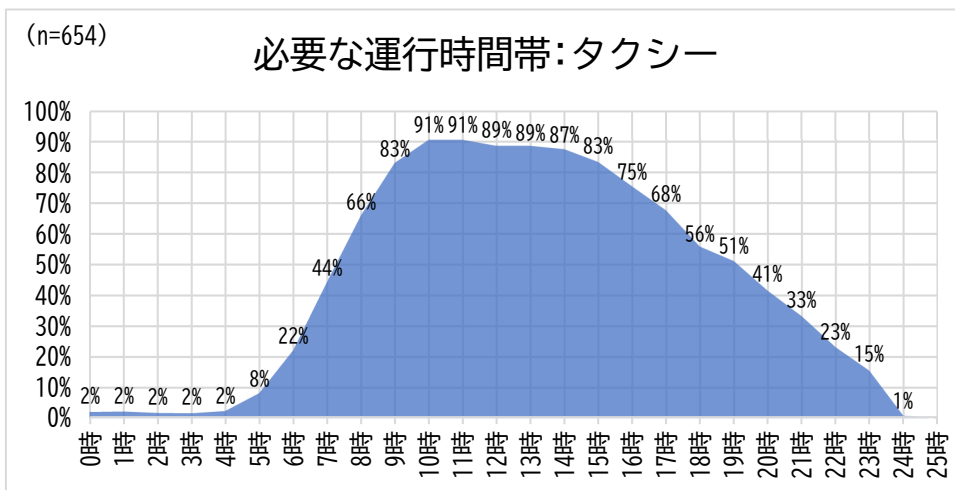
⑤バスで行きたい場所

バスで行きたい場所は、多かったものを集計すると、大洗駅が 88 件、商業施設が 63 件、病院が 44 件等となりました。これらの施設を通るようにすることで、町民がバスを利用しやすくなると考えられます。



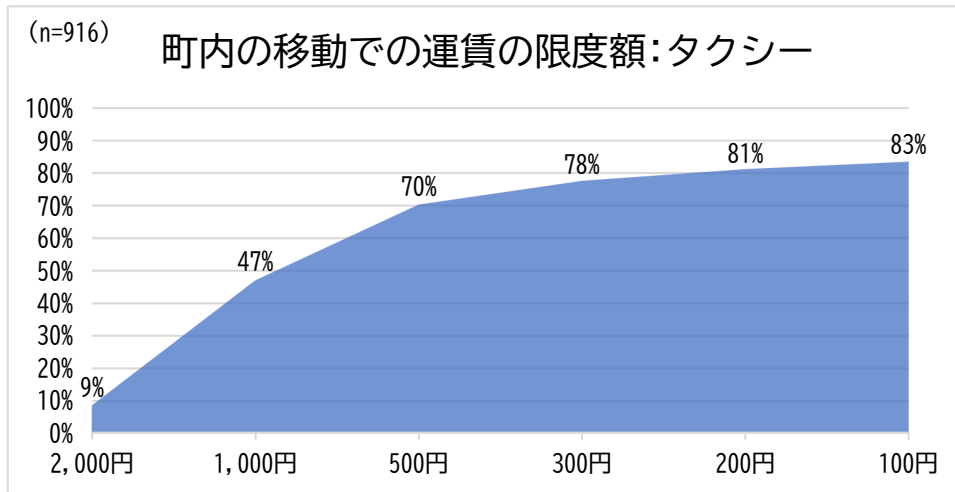
⑥必要な運行時間帯: タクシー

許容率 50%での運行時間帯は8時から19 時となります。終了時間帯については遅くまでを希望する回答者も多くみられます。



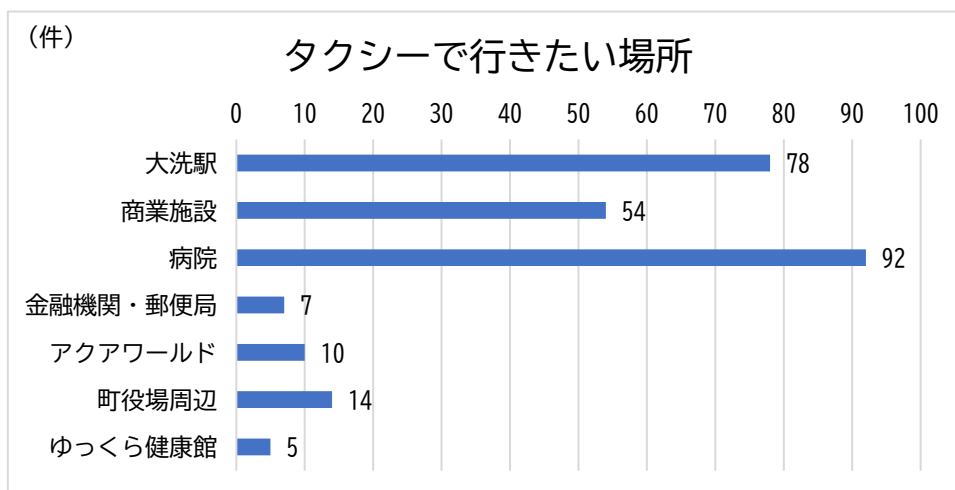
②町内の移動での運賃の限度額:タクシー

200 円で許容率 81%、300 円で許容率 78%、500 円で許容率 70%、1,000 円で許容率 47%となっています。許容率 50%を基準に考えると、1,000 円以下が望ましいと考えられます。



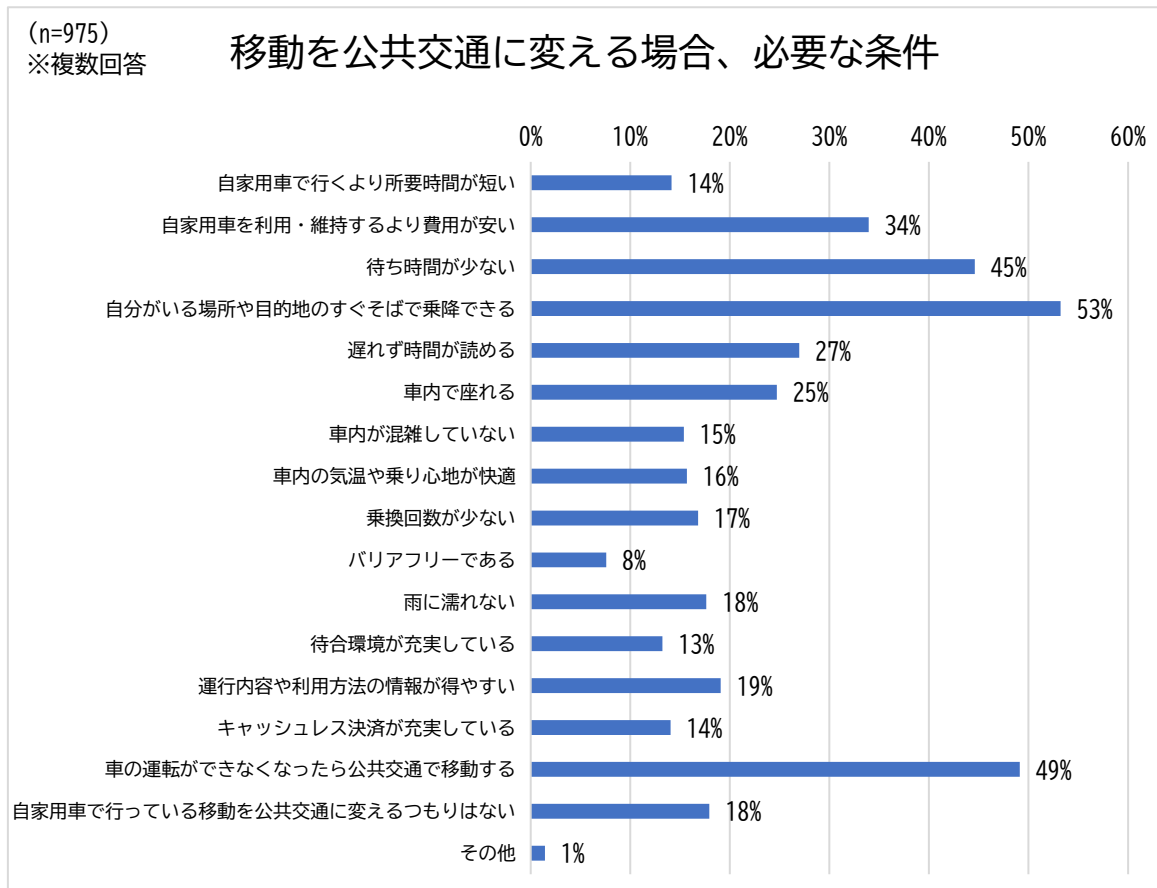
③タクシーで行きたい場所

タクシーで行きたい場所は、多かったものを集計すると、病院が92件、大洗駅が78件、商業施設が54件等となりました。これらの施設にタクシーで行きやすくする施策が考えられます。



(3) 公共交通に変える場合、必要となる条件

自家用車でやっている移動を公共交通に変える場合に必要な条件は、「自分がいる場所や目的地のすぐそばで乗降できる」「車の運転ができなくなったら公共交通で移動する」「待ち時間が少ない」「自家用車を利用・維持するより費用が安い」が多くなっています。バス停等の乗降場の配置の工夫や便数の確保、またはモビリティ・マネジメントといった施策が考えられます。



5. 10. まとめ

町民アンケートの調査結果から明らかになったことをまとめると、以下の通りです。

(1) 生活サービス施設間の移動性

町民が日常生活で訪れるサービス施設は、水戸市への玄関口となる大洗駅を含め、中心部に集中しています。一方で、そうした生活サービス施設は近くにバス停がなかったりバス路線が限られていたりするなど、公共交通で容易に訪れることができるとは限らない状況です。中心部内及び中心部と町内各地を結ぶ公共交通を確保することが、町民の生活利便性につながります。

(2) エリア別居住者特性

南部エリア(神山町・成田町)は、人口密度が低く高齢化率が高いエリアで、町内循環バス「なっちゃん」が運行していますが、平日の朝夕のみで運行本数が少ない状況です。通院、買物、通勤、金融機関利用、その他に困っている方が多く、またバスでは大洗駅や商業施設、タクシーでは病院に行きたいニーズが高くなっています。

新市街地エリア(五反田)は、人口が増加傾向にありますが現在バスが通っていないエリアです。通院や通勤に困っている方が多く、大洗駅に行きたいニーズが高くなっています。

狭隘道路地区(住んでいる地区の道幅が「バスが入れないほど狭い」と回答した回答者、明神町や東光台などを想定)は、道が狭隘なためバスの運行が難しく、また高齢化率が高いと目されるエリアです。通院、買物、その他、金融機関利用に困っている方が多く、またバスでは大洗駅や商業施設、タクシーでは病院や大洗駅、商業施設に行きたいニーズが高くなっています。

上述したエリア別の課題やニーズを踏まえ、バスやタクシーといった交通資源を組み合わせながら適切に配置することが求められます。

(3) 高齢者層・若年層のニーズ、特性

高齢者層は、大洗駅、商業施設、病院に行きたいニーズが高くなっています。

若年層は、大洗駅に行きたいニーズが高くなっています。

交通手段においては、免許返納者(主に高齢者)や免許を持っていない方(主に若年層)は、自家用車により家族や知人等に送迎してもらうことが最も多く、次いで徒歩や自転車の利用が多くなっています。

高齢者の特性として、80歳以上になると公共交通の利用が難しくなり、また運転免許を所持していない方が6割以上となるため、特に対応を考慮していく必要があります。こうした方々は5割近くが送迎により移動しており、送迎者の送迎目的では通院が最も多いことから、送迎の代わりにこうした方々の通院に適した交通機関が導入されれば、送迎者の負担も軽減することができる可能性があります。

(4) 新たな交通サービス・施策の可能性

新たな交通サービスや施策の可能性を探ります。

デマンド型乗合タクシーを想定し、「通常のタクシーより安く移動できるなら、相乗りでも利用しますか。」という設問をしました。「利用する」という回答者は全体では5割で、年齢層別においては3～6割程度と多くはない状況です。

MaaS等の施策を想定し、スマートフォンの所持状況を集計すると、50歳代まではほぼ全員が所持していますが、60歳以上では年齢層が高いほど所持していない方が多くなり、80歳以上では65%が所持していない状況です。また、経路検索アプリに使用状況については、若年層では5割程度が使用していますが、年齢層が高いほど使用していない方が多くなり、65歳以上の高齢者では8～9割が使用していない状況です。

タクシー利用助成制度を想定し、タクシーでの町内の移動での運賃の限度額を集計すると、約半数が許容できる水準は、60歳代以下では1,000円ですが、70歳代以上では500円となっています。また、バスの利用が難しい方の約半数が許容できる運賃の限度額も500円となっています。

なお、町が公共交通の維持確保のために税金を投入することについては、7割以上が肯定的な考え方を回答しています。

以上の調査結果を踏まえ、既存の公共交通を強化、補完するような新たな交通サービス・施策の可能性を検討していきます。

(5) 公共交通の利用促進への要件

大洗鹿島線については、満足している回答者の方が多くなっていますが、便数の少なさ、運賃の高さ、交通系ICの未導入、駅へのアクセスの不便、車内混雑について不満や要望が多くあります。

路線バスについては、不満な回答者の方が多くなっています。便数の少なさ、運賃の高さ、バス停の遠さ、遅れについて不満や要望が多くあります。

町内循環バスについては、満足している回答者の方が多くなっていますが、便数の少なさ、バス停の遠さ、経路が迂遠なことによる所要時間の長さ、案内のわかりにくさについて不満や要望が多くあります。

タクシーについては、満足している回答者の方が多くなっていますが、運賃の高さ、台数の少なさ、夜の終業の早さについて不満や要望が多くなっています。

上述した不満や要望を踏まえ、改善を図っていくことで、公共交通の利用促進につながる可能性があります。